

2020



可児市小中学生の男女共同参画 に関するアンケート調査

【結果報告書】

令和3年3月

岐阜県可児市

も く じ

I 調査の概要	2
1 調査の目的	3
2 調査概要	3
3 報告書の見方	4
II アンケート 調査総括	5
III アンケート 調査結果	18
1 回答者について	19
2 学校生活について	20
3 家のことについて	42
4 経験や考えについて	61
5 将来のことについて	72
IV 男女共同参画について(自由意見)	81
VI アンケート調査票	86

I 調査の概要

3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

Ⅱ アンケート調査総括

◆学校生活について

1 クラスでの役割について

児童生徒の34%が「性別で係の役割が決まっている」と認識しています。(問2 P20)

係の役割における性別について、「ない」が最も高くなっています。しかし、「ある」「どちらかといえばある」を合わせた割合は、小中学校ともいまだ3割を超えており、性別で係の役割が決まっていると児童生徒が認識している現状を変えていく必要があります。

2 教師からの働きかけについて

児童生徒は、「先生が性別によって異なる対応しているか」については、「どちらともいえない」と認識しています。(問3 a-f P21)

先生が性別によって異なる対応しているかについては「どちらともいえない」と多くの児童生徒が認識していますが、学校生活における様々な場面で、小学5年生と中学3年生に差が確認できました。

まず、教師からの働きかけについて、「a 先生から厳しく注意されたり、叱られたりする」は、「男子の方が多いい」が性別に関わらず小中学校とも圧倒的に高くなっています。「女子の方が多いい」は、中学3年生はほとんどありませんが、小学校5年生では、少数ながらも一定数「女子の方が多いい」と回答しています。「b 先生からていねいな言葉で話しかけられる」「c 先生からやさしくされる」は、小中学校とも性別に関係なく「どちらともいえない」が高くなっています。

次に、教室での日常活動については、「d 机やいすを運ぶなどの仕事をたのまれる」については、中学校3年生では「男子の方が多いい」が約5割と高くなっています。小学校5年生は、性別に関わらず「どちらともいえない」「男子の方が多いい」がそれぞれ約3割となっており、学年が低い方が教室内の日常活動において、性別による差を感じていないことが確認できます。

3 委員会やクラスのリーダーについて

学年が上がるにつれ、リーダーに性別を意識することが少なくなっています。しかし、学年が上がるとともに、男女ともにリーダーに「女子が向いている」が減少し、特に女子では 1/3 に激減し、リーダーへの自信が揺らいているとも考えられます。(問 4 a-h P26)

学校の行事や委員会、係についても、つぶさにみると性別による偏りが確認できます。

まず、小学5年生と中学3年生の全体で、「男子に向いている」が高いのは、順に「g 重いものを運ぶこと」が 72%、「d 運動会の応援団長」が 58.3%でした。逆に、「女子に向いている」が高いのは、順に「e 合奏・合唱の指揮者」が 47.8%、「f 合奏・合唱の伴奏」が 43.6%、「h 整理整頓や植物の世話」が 42.3%でした。ここからは、重労働や運動面におけるリーダーは男性、文化的な行事や身の回りを整えるといったことは女性、という一般社会の通年が児童生徒たちのなかにも存在することが確認できます。

学年別にみると、「e 合奏・合唱の指揮者」において、小学5年生では全体の 63%が「女子に向いている」と答えていたのが、中学3年生になると 31.4%と約半分になっています。

リーダーの補完役である「b 児童会・生徒会の副会長や委員会の副委員長」については、性別に関わらず中学3年生で「どちらでもよい」が増加しています。

最近では、社会で生き生きと活躍する女性の姿をメディアや SNS を通して見かけるようになりまし
た。教室内では、児童生徒がまだまだ「女子に向いている」、または「男子に向いている」と感じている
事柄もありますが、本アンケート結果を見る限り、以前と比べ性別を強く意識することが少なくなり、
「どちらでもよい」と考える子どもたちが増えていることが分かりました。

4 性別による認識について

一般社会の通念とさほど変わりませんが、ほとんどの項目で「性別に関係ない」と認識しています。
(問5 a-h P34)

能力や性格について、全体で「女子」が高いのは、順に「d おしゃれ」「h かわいい」「b クラスのま
とめ役」で、逆に「男子が」高いのは、順に「c ケンカが強い」「g たくましい」「e スポーツが得意」で
す。女子と男子で意識の差が大きいのは「e スポーツが得意」で、特に顕著なのが中学3年生です。
「性別とは関係ない」が 58.1%であるものの、「男子」の 35.2%に対して、「女子」はわずか 0.4%
で、「スポーツは男」との意識が確認できます。一方、「a やさしい」「d おしゃれ」「h かわいい」は、
小学5年生女子が「女子」と答えている割合が高くなっています。

学年別の変化として、「b クラスのまとめ役」は小学5年生では女子が全体の 27.5%であったの
が中学3年生では 13.3%に減少し、「性別とは関係ない」が増加しています。また、「f 頭がいい」に
ついては、小学5年生では「女子」が 19%であったのが、中学3年生では 8.2%に減少し、「性別と
は関係ない」が増加しています。学年が高くなるにつれ、クラスのとめ役や頭のよさについて「性別
による差はない」と認識していることが確認できます。

◆家のことについて

5 家のことについて

60%を超える家庭が、共働きであることが分かりました。（問6・問7のI P42.55）

小学5年生・中学3年生共に、約20%の家庭が3世代で暮らしていることが分かりました。同居家族は、「お母さん」「お父さん」「姉妹兄弟」がいずれも8割を超えています。学年が高くなるにつれて、共働きをする家庭が増加していることが確認できました。

6 家庭での役割について

母親の役割分担の現状は「仕事も家事も」となっています。（問7のa-k P43）

家事等の担当について、「j いっしょに出かけたり、あそびにつれていったりしてくれる」「k 悪いことをしたら叱る」については、「お母さん、お父さんどちらも同じくらいやっている」が高くなっています。しかし、「a 夕食のしたく」「b 夕食のかたづけ」「c 家の中の掃除」「d 庭や玄関の掃除」「e 風呂やトイレの掃除」「f せんたく物を干す」「g せんたく物の取り入れやたたむこと」「h ごみを出す」「i 買い物」とほとんどの項目で、「お母さん」が最も高くなっています。

以上のことから、家事のほとんどを母親が担っていることがうかがえます。多くの家庭が共働きであることが分かりましたが、母親の役割分担の現状は「仕事も家事も」となっているといえるでしょう。

7 子どものお手伝いについて

女子の方がより多くお手伝いしていることが分かります。（問8 P56）

お手伝いについては、「夕食のしたく」は小学5年生・中学3年生共に「女子」が高く、男子との差が大きくなっています。「買い物」「ごみを出す」については、中学3年生は男女に関わらず5割以上の子どもたちがお手伝いをしていることが分かりました。

問7で家庭内での家事分担が母親である女性に偏っていることが分かりましたが、母親と子どもたちが接する時間が長いこともあり、それが子どもたちのお手伝いの状況に少なからず影響しているといえます。

学年で見ると、「何もしていない」と回答した児童生徒は、小学5年生で7.9%であったのが、中学3年生は54%に増加しています。手伝いについて、手伝いを「する子」と「しない子」に二極化していることが読み取れます。

8 家事の役割分担について

まだ約 15%の児童生徒が「家事は女の役割」という意識を持っています。(問 9 P58)

食事のしたくや掃除、せんたくのような家事はだれがやるのがよいかと思うかについては、小学5年生、中学3年生いずれも「女の人と男の人が協力してやるのがよい」が高くなっています。しかし、「女の人が主にやるのがよい」が全体で 14.5%であるのに対し、「男の人が主にやるのがよい」は 1%と「家事は女の役割」との意識を持っていることも分かります。中学3年生では、「女の人と男の人が協力してやるのがよい」がさらに高くなり、特に女子は 76.1%となっています。一方で、「女の人が主にやるのがよい」が中学3年生女子の 10.6%、男子では 13.1%あります。

一般社会においても、性別分業や結婚をめぐる男性と女性の意識の差から、男性の意識改革の必要性がいられていますが、子どもたちについても、女子以上に男子の意識改革が必要といえるのかもしれませんが。

9 家庭での言葉がけについて

児童生徒たちは、性別によって違う言葉がけを受けながら育っているといえます。(問 10 P59)

家の人からいわれたことについては、小学5年生、中学3年生ともに「勉強しなさい」「部屋をかたづけなさい」「行儀や言葉づかいに気をつけなさい」が高くなっています。

性別で見ると、男子に比べて女子がいわれているのが高いのが、順に「部屋をかたづけなさい」「行儀や言葉づかいに気をつけなさい」「手伝いなさい」「家に帰る時間を言いなさい」です。小学校5年生より中学3年生の方が、男子に比べて女子が「手伝いをしなさい」といわれることが多くなっています。まだまだ家庭のなかで、「女の子だから」「男の子だから」と、子どもたちは性によって違う言葉がけを受けながら育っているといえます。親や祖父母の日常の在り方は、子どもたちにとって最も身近なロールモデルです。大人たちこそが固定的な性別分業を見直し、意識を変革していく必要があります。

◆経験や考えについて

10 性別について

生徒児童の約5%が、自らの性(体の性、心の性)に悩みや違和感を持っている可能性があります。
(問 11 P61)

性別について、小学5年生では「答えたくない」「分からない」が5.4%、中学3年生は5.7%でした。自らの性に違和感を持ったり、心と体の性が一致しないこと(性同一性障害)に悩んだりしていることも考えられ、教育現場ではもちろんのこと、家庭・社会全体で適切に対応し、支援を行っていくことが必要です。

11 性別への肯定感・否定感について

男子と比べて女子で性別への肯定感・否定感は微妙に分かれます。(問 12・13 P62.63)

女に生まれて、男に生まれてよかったと思うことについては、小学5年生では男女いずれも「ある」が高くなっていますが、中学3年生では男女とも「ある」と答える割合が減少しています。小学5年生より中学3年生では男女ともに「ある」が減少し、「あまりない」が増加しています。また、「ある」と答えた女子は小学5年生で41.6%、中学3年生は34.6%で、学年が高くなるにつれて女子の自己肯定感が低くなる傾向が見られました。

自由記述をみると、女に生まれて、男に生まれてよかったと思うときの場面については、女子では「おしゃれができる」、男子では「身支度に時間がかからない」が比較的多くなっています。小学5年生・中学3年生ともに多くの男子が「女子は人間関係が複雑で面倒」と回答しています。

12 自尊感情について

男子と比べて女子が自己肯定できない傾向が確認できます。(問 14 P64)

自分のことが好きかについては、小学5年生、中学3年生いずれも「どちらともいえない」が高くなっています。中学3年生においては、小学5年生と比べて「あまり好きではない」「きらい」が高くなり、逆に「とても好き」「まあまあ好き」は低くなっています。

「自分のことが好き」と答えた女子は小学5年生で20.4%でしたが、中学3年生では4.8%と大きく減少しています。男子においても同様の傾向がみられますが、男子の減少率が約50%に対し、女子の減少率は約76%と非常に高くなっています。学年が高くなるにつれ、男子よりも女子で自己肯定できない傾向がみられます。

13 「女の子だから」「男の子だから」と言われることについて

家庭で、約 60%の女子が「女の子だから」「女の子のくせに」と言われています。

(問 15～17 P65-67)

「女の子だから」「女の子のくせに」「男の子だから」「男の子のくせに」といわれた経験の有無については、小学5年生・中学3年生の女子の半数以上が、ともに「言われる」(「よく言われる」+「たまに言われる」)と回答しています。また、言われた相手は「お母さん」が最も高く、次いで「お父さん」となっていますが、女子では「おばあさん」も約3割を占めています。

「女の子だから」「男の子だから」と区別する言葉を母親の方が多く口にしている背景には、母親自身がかつて“女の子”として「女の子だから」「女の子のくせに」といわれて厳しく躰られてきたからとも考えられます。また、母親の方が子どもと接する時間が多いことも、理由の一つとして考えられます。

「言われたときの気持ち」については、小学5年生では「そのとおりだと思った」が高いのに対して、中学3年生では「何も思わなかった」が高くなっています。中学3年生では、男子よりも女子で「何も思わなかった」が高くなっており、性別による扱いの違いに対する疑問をあまり抱かなくなっていることが確認できます。まずは、性別による扱いの違いに疑問を持ち、その気付きをきっかけとして、自らを、そして社会を変えていく第一歩になるように、大人たちの意識を改革していく必要があります。

14 ライフスタイルの考え方について

児童生徒の約 27%が、固定的役割分担意識を持っていることがうかがえますが、性別分業について女子の方に違和感を持っていることが多いことが分かります。(問 18.19 P68.69)

「女性は家庭で家の仕事や子どもを育て、男性は外で仕事をして収入を得る」という考え方については、小学5年生の男女、中学3年生の男子では「賛成」(「そう思う」+「どちらかというと思う」)が高くなっており、固定的な性別役割分担意識を持っている人が多いことがうかがえます。しかし、中学3年生の女子のみ「反対」(「あまりそう思わない」「そう思わない」)が 56.3%と高く、また小学5年生女子においても、「反対」(「あまりそう思わない」「そう思わない」)は女子の方が高くなっています。一般社会における意識調査結果と同様に、性別分業について女子の方に違和感を持っている人が多いことが分かります。

また「女は女らしく」「男は男らしく」という考え方については、「あまりそう思わない」「そう思わない」は、小学5年生男子を除いて全体的に高くなっており、「女は女らしく」に否定的な意識を持つ児童生徒も多いことが分かります。

15 LGBT(性的少数者)のことについて

児童生徒の40%が身近な人がLGBTであった場合、これまでと変わりなく接することができるかと回答しています。(問 20.21 P70.71)

小学5年生については、約77%の児童が「LGBT(性的少数者)」という言葉について「知らない」と回答しているのに対して、中学3年生では約23%となり、大きな開きが確認できました。性別で見ると、小学校5年生・中学3年生ともに男子より女子で、「言葉も意味も知っている」が高くなっています。

家族や友人などの身近な人がLGBTだった場合、変わりなく接することができるかについては、「分からない」が全体の47.5%と高いものの、40%の児童生徒が「できる」と回答しています。また、学年が上がるにつれて「できない」との回答が減少し、「できる」が増加しています。

16 将来のことについて

中学3年生は、具体的な職業を示す生徒が多くいる一方で、将来つきたい仕事が「分からない」「なりたない仕事がない」と回答する生徒が小学5年生より増えています。(問 22 P72)

小学5年生は、SNSの影響もあり、男女ともに「スポーツ選手」「ユーチューバー」が高くなっていますが、中学3年生では男女ともに「スポーツ選手」「ユーチューバー」と回答する生徒が減少し、小学5年生と比較して「分からない」「なりたない仕事がない」が高くなっています。

17 ワーク・ライフ・バランスと女性の生き方について

児童生徒男女ともに「仕事も家庭も大切にしたい生活」スタイルを希望しています。(問 23~25 P77-79)

男女ともに「仕事も家庭のことも大切にしたい生活」が高くなっています。女性の生き方については、「結婚して子どもができたなら仕事をやめて、子どもが大きくなったら再び仕事をする生き方」が高くなっています。しかし、「結婚や出産をしても、仕事を継続していく生き方」については、学年に関係なく男子と女子の回答に開きがあり、ここにも男女の意識の差が確認できます。

さらに、「結婚して子どもができたなら仕事をやめて、子どもが大きくなったら再び仕事をする生き方」も「結婚や出産をしても、仕事を継続していく生き方」も、ともに男子より女子に高く、女子の二極化が確認できます。あこがれの人やお手本にしている人はいますかについて、小学5年生・中学3年生ともに女子で「お母さん」が最も高くなっています。

18 自由意見について

児童生徒男女ともに、男女平等への肯定的な意見とともに「その人の好きなようにすればよい」という意見が多くみられました。(問 26 P81)

自由意見の傾向として、男女平等、男女の固定的概念については「互いに協力し認め合う」「個性を認める」や「男女関係なく能力を認める」といった男女平等への肯定的な意見が多くみられます。また、「自分がやりたいことをする、好きなようにすればいい」など、本人の意思を尊重すべきだとの意見が学年性別に関わらず多くみられ、性別ではなく「個性」を大切にすることを重んじた意見が多くみられました。意見の中には、「平等」「差別」「区別」という基本的な言葉が様々な解釈されて使われており、「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約(女子差別撤廃条約)」に明記されているこれらの意味をきちんと教える必要があります。

また、数は少ないものの「男に生まれたかった」などと回答した女子がいた一方で、「女に生まれたかった」と答えた男子はいませんでした。中学3年生の男子では、「平等にしようとしなくてもいいと思う」「時間、労力の無駄」「国で取り組まなければ、男女協力することは無理」など、男女平等に対して否定的な意見もみられました。

監修: 可児市男女共同参画推進審議会 会長 中島美幸

自己肯定感の大切さ

可児市は、平成 22 年 7 月に「可児市女子と男子に関するアンケート調査」として、本調査と同項目の調査を実施しました。今回の調査結果と比較すると、10 年前より、多くの児童生徒が日常生活のいろいろな場面で「性別による差はあまりない」と感じていることが分かりました。また、「自分のことが好きか」という自己肯定感を確認する間に、「とても好き」「まあまあ好き」と回答する児童生徒が 10 年前より増加しましたが、学年が上がるにつれて「とても好き」「まあまあ好き」と回答する生徒が大きく減少する傾向に変化はありませんでした。この傾向は、特に女子に顕著であり、全国的な調査でも同様の傾向が確認できます。

平成 25 年度、岐阜県が高校・大学生等の生徒を対象に実施した「若年層における交際相手からの暴力に関する調査」結果をみると、自己肯定感の高い子どもは、暴力を振るう可能性も、振られる可能性も低いという結果がでています。デート DV や JK ビジネス等現代の子どもたちが巻き込まれやすい事案については、適切に予防教育を行うとともに、子どもたちを見守ることのできる体制の構築が必要です。そして、全ての子どもたちが自分を認め、本来の能力を発揮することができるよう、子どもたちの自己肯定感を育てていくことが大切です。

男女間の格差が大きい日本

2019 年 12 月、世界経済フォーラム (WEF) が「2019 年版ジェンダー・ギャップ指数」を発表しました。日本は 2018 年の 110 位から 11 順位下げ、世界 153 カ国中 121 位でした。これは、女性の社会的障壁が男性よりも圧倒的に多く存在するということを示しています。日本社会も少しずつ男女平等の方向に進んではいませんが、他国のスピードについていくことができずにいます。

世界経済フォーラムがなぜ男女平等度 (ジェンダー平等度) を問題とし指数を発表するかというと、「男女平等度の高い国ほど一人当たりの GDP も高い」という傾向が確認されているからです。経済成長のためには、男女平等が必須であるということを示しています。

さらに、深刻な少子高齢化と急速に進む人口減少という日本独自の課題もあります。未来を担う子どもたちが当たり前のように男女対等に労働参画できる社会の中で暮らしていく必要があります。

男女共同参画と持続可能な開発目標 (SDGs)

持続可能な開発目標 (SDGs) は、地球上に住む誰もが安心して暮らせるために掲げられた、世界共通の目標です。2015 年 9 月に国連で採択され、2030 年までの達成を目指しています。その 17 の国際目標の 5 番目が「ジェンダー平等を実現しよう」です。世界人口の半数を占める女性と女兒への差別をなくすことは、基本的人権であり、それとともに SDGs のすべての目標の基礎と言えます。そして、男女問わず、誰もが能力を発揮できる世の中をつくる必要があります、それが、持続可能な社会を築くために必要な基盤にもなります。

この国際的な動きのなかで、今、大人たちに求められていること、できることは、子どもたちのために「男女格差のない社会」へ向かって舵を切り、進めていくことです。男女共同参画社会の実現は、持続可能な開発目標 (SDGs) へとつながる大きな取組みです。

【参考：日本の男女平等教育について】

女子差別撤廃条約にうたわれた「平等」

1979年に国連が採択し、1985年に日本が批准した「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約（女子差別撤廃条約）」の第1条には、「この条約の適用上、“女子に対する差別”とは、性に基づく区別、排除または制限であって、政治的、経済的、社会的、文化的、市民的その他いかなる分野においても女子（婚姻をしているかいないかを問わない。）が男女の平等を基礎として人権及び基本的自由を認識し、享有し又は行使することを害し又は無効にする効果又は目的を有するものをいう。」とあります。具体的にすると次のとおりです。

- ①性に基づく「排除」「制限」だけでなく、「区別」も「差別」になる。
- ②女性が人権や基本的自由を「享有」「行使」することだけでなく「認識」することを妨げる行為も「差別」⇒男女が同じ人権や自由を持っていることを知ることを妨げる男女の区別は差別になる。
- ③人権や自由を害したり無効にする「目的」を持つ行為だけでなく、そのような「効果」を持つ行為も「差別」つまり、意味もなく男女で分けたり、男女が同等に扱われる権利があることを認識させないことも差別にあたると定義しています。

国際社会から見た日本の男女平等教育

ジェンダー・ギャップ指数（Gender Gap Index）とは、世界経済フォーラムが、各国内の男女間の格差を数値化しランク付けしたもので、経済分野、教育分野、政治分野及び保健分野のデータから算出したものであり、性別による格差を明確に提示されています。

日本は、2019年の結果では、153ヶ国中121位と史上最低の順位となりました。極めて男女の格差の大きい国であるといえます。経済、政治への女性の進出が遅れていることが順位低迷の大きな要因ですが、教育分野だけの比較でも91位と見落とせない課題があります。

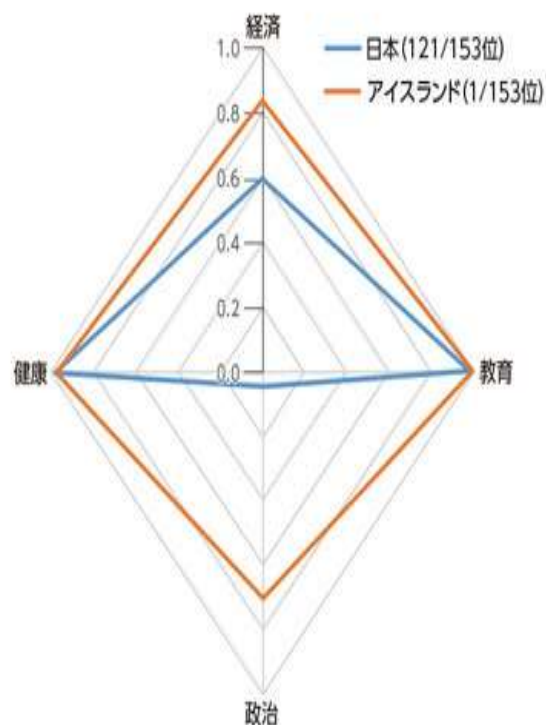
教育分野の調査対象は識字率、初等教育在学率、中等教育在学率、高等教育在学率の4項目です。そのうちの識字率、初等教育在学率、中等教育在学率はともに1位と、世界で最も男女格差が少ないのですが、短大・大学の在学率を示す高等教育在学率については108位と、先進国ばかりか開発途上国よりも見劣りする現状です。先進国においては、現在は男女同等数、あるいは少し女子の方が高等教育の在学率は高いです。

実際に、令和元年度の学校基本調査において大学進学率を確認してみると、男子が56.6%に対し、女子は50.7%とその差が5.9%で過去最少となりました。しかし、調査開始の昭和29年以来、一度として女子の高等教育在学率が男子を上回ったことがありません。近年は女性有業者の高学歴化が進んでいますが、大学・大学院卒業者は男性の半分となっており、工学、理学分野ではなお女子の割合が低くなっています。大学卒業者の仕事の男女差は縮小されつつありますが、高卒者の男女差はなお大きくなっています。日本は、読み書き能力、初等教育（小学校）、出生率の分野では、男女間に不平等は見られないという評価を受け、ジェンダー・ギャップ指数において世界1位となっています。ところが、初等教育以降の教育分野や政治分野等その他の項目において、いずれもランクが低く、特に国会議員、政治家・経営管理職、教授・専門職、高等教育（大学・大学院）等、社会のリーダーシップを発揮すべき分野で活躍する女性の割合が低く、著しく評価が低い状態が続いています。男性と同等の教育を受ける機会が確保されつつありますが、結果をみると、まだまだ女性が活躍できる環境が整っていないといえます。これは、日本社会全体にとって大変な損失であるといえます。女性が持ち備えている有能な能力・才能を伸ばし、活かすことができる社会環境整備が必要です。

GGI(2020)
上位国及び主な国の順位

順位	国名	スコア
1	アイスランド	0.877
2	ノルウェー	0.842
3	フィンランド	0.832
4	スウェーデン	0.820
5	ニカラグア	0.804
6	ニュージーランド	0.799
7	アイルランド	0.798
8	スペイン	0.795
9	ルワンダ	0.791
10	ドイツ	0.787
15	フランス	0.781
19	カナダ	0.772
21	英国	0.767
53	米国	0.724
76	イタリア	0.707
81	ロシア	0.706
106	中国	0.676
108	韓国	0.672
121	日本	0.652

GGI(2020)各分野の比較

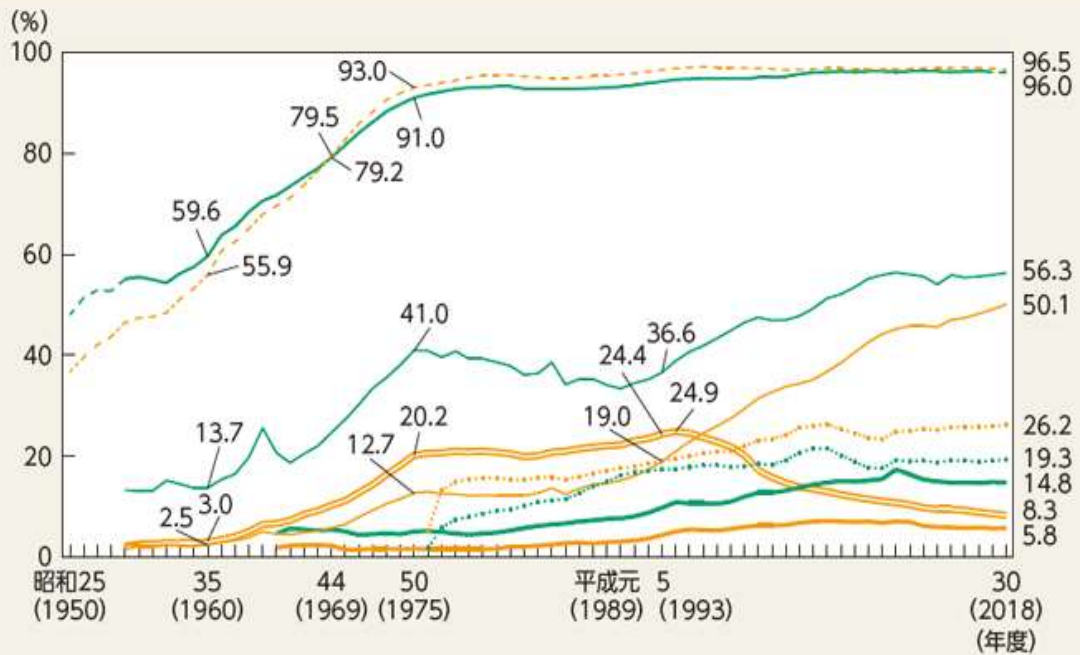


分野	スコア(順位)	昨年のスコア(順位)
経済	0.598(115位)	0.595(117位)
政治	0.049(144位)	0.081(125位)
教育	0.983 (91位)	0.994(65位)
健康	0.979 (40位)	0.979(41位)

ジェンダー・ギャップ指数 (Gender Gap Index : GGI)

資料: Global Gender Gap Report 2020 世界経済フォーラム(World Economic Forum)

I-特-1図 学校種類別進学率の推移



--- 高等学校等 (女子) 専修学校 (専門課程, 女子) — 大学 (学部, 女子) — 大学院 (女子)
 - - - 高等学校等 (男子) 専修学校 (専門課程, 男子) — 大学 (学部, 男子) — 大学院 (男子)
 — 短期大学 (本科, 女子)

(備考) 1. 文部科学省「学校基本統計」より作成。

- 高等学校等への進学率は、「高等学校，中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部の本科・別科並びに高等専門学校に進学した者（就職進学した者を含み，過年度中卒者等は含まない。）」／「中学校・義務教育学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者」×100により算出。ただし，進学者には，高等学校の通信制課程（本科）への進学者を含まない。
- 専修学校（専門課程）進学率は，「専修学校（専門課程）入学者数（過年度高卒者等を含む。）」／「3年前の中学卒業生及び中等教育学校前期課程修了者」×100により算出。
- 大学（学部）及び短期大学（本科）進学率は，「大学学部（短期大学本科）入学者数（過年度高卒者等を含む。）」／「3年前の中学卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数」×100により算出。ただし，入学者には，大学又は短期大学の通信制への入学者を含まない。
- 大学院進学率は，「大学学部卒業後直ちに大学院に進学した者の数」／「大学学部卒業生数」×100により算出（医学部，歯学部は博士課程への進学者）。ただし，進学者には，大学院の通信制への進学者を含まない。

資料：令和2年版 男女共同参画白書

【用語解説】

※ デートDV(P13)

恋人間で起きるあらゆる暴力（身体的・精神的・性的・経済的暴力）

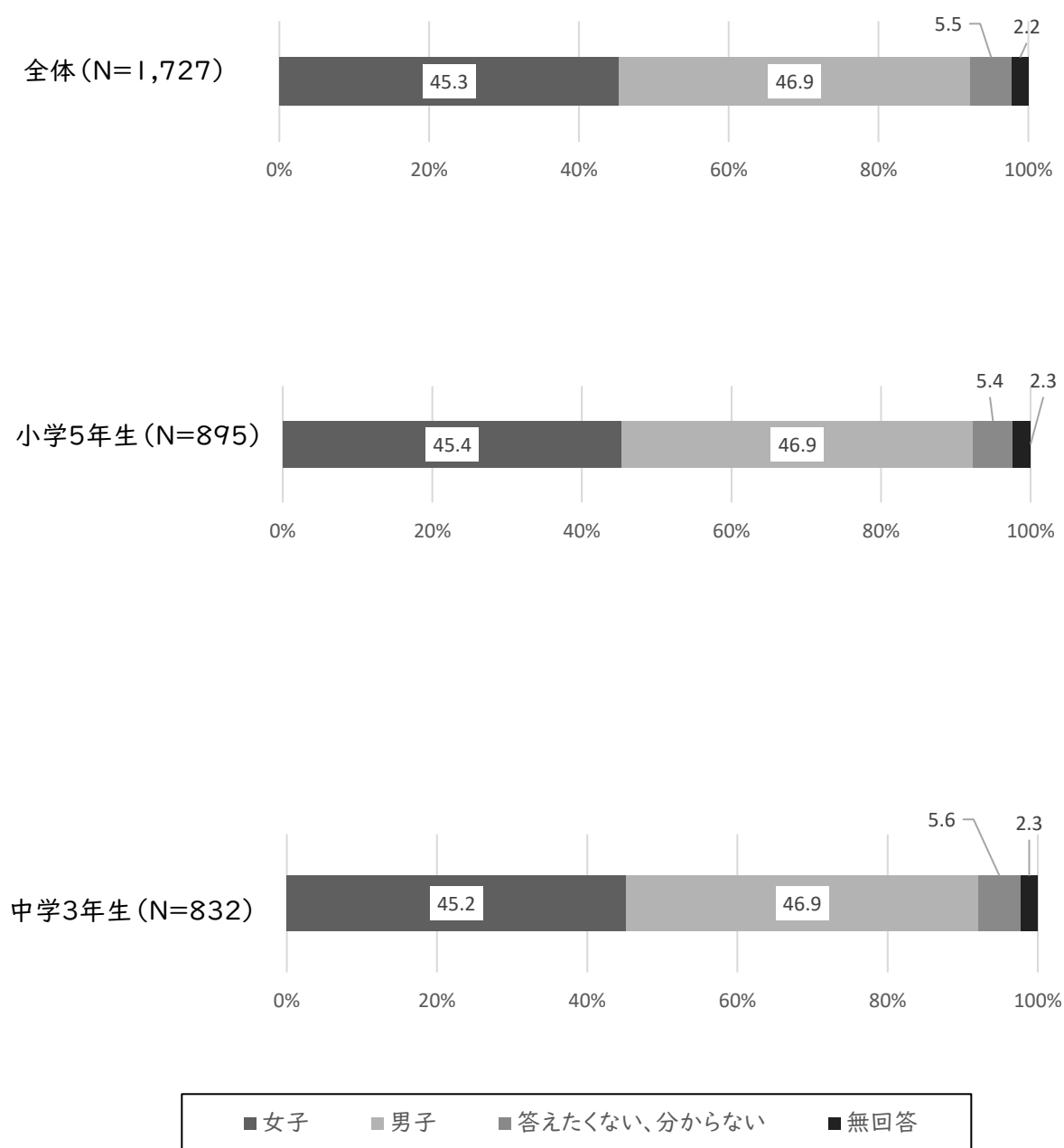
※ JKビジネス(P13)

女子高生（JK）など、児童の性を売り物とする営業

Ⅲ アンケート調査結果

1 回答者について

問1 あなたの学年に ○ をつけてください。

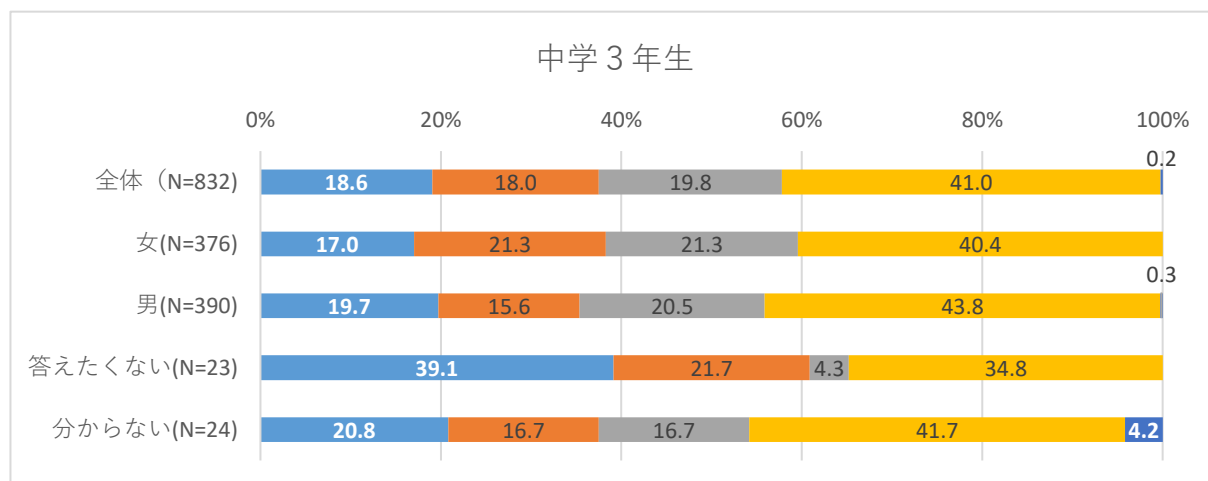
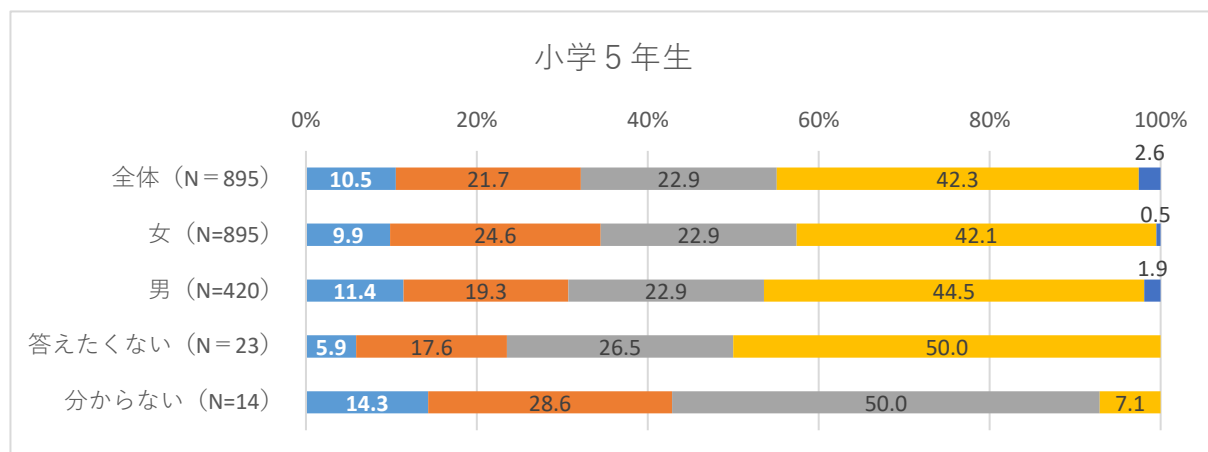
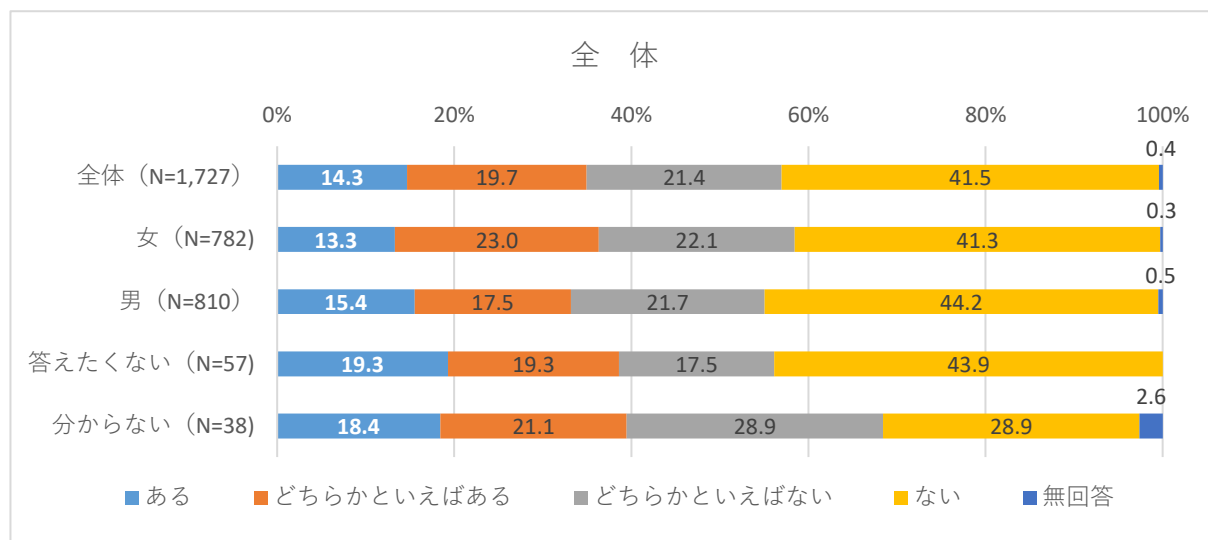


2 学校生活について

あなたの学校生活について教えてください。

問2 あなたのクラスでは、係の仕事の役割が、なんとなく女子の係・男子の係と決まっているものがありますか。

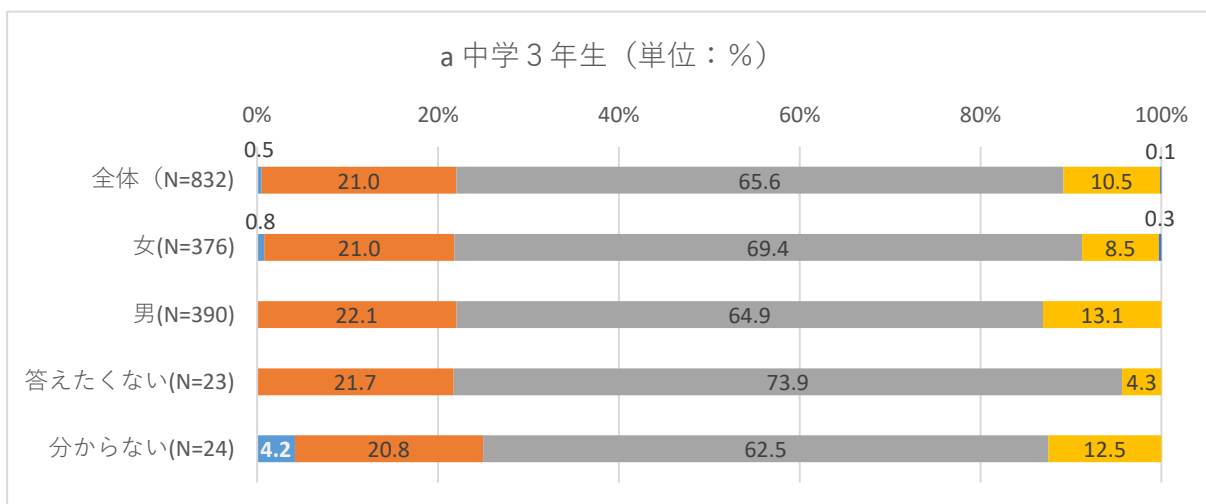
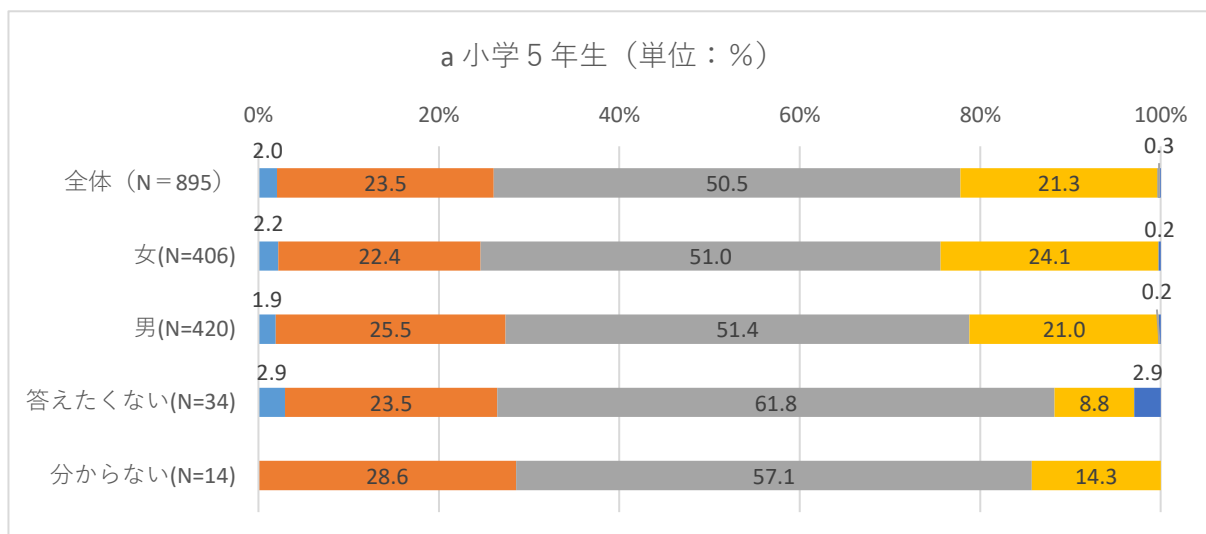
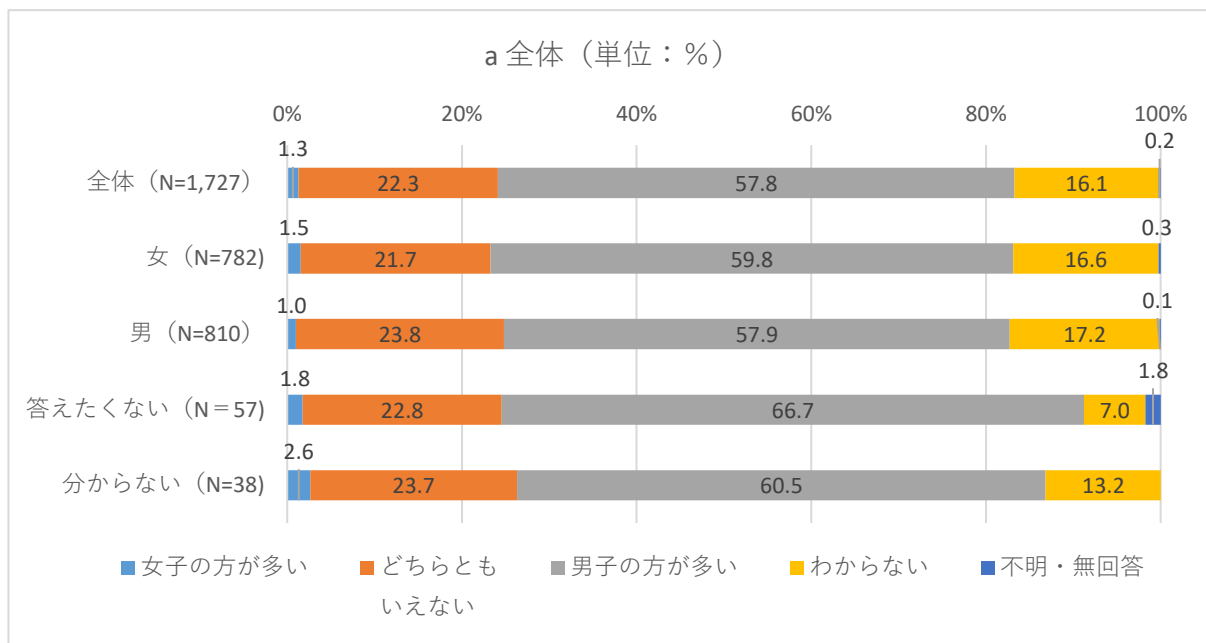
全体では、「ない」が41.5%と最も多く、次いで「どちらかといえばない」が21.4%になっています。学年で見ると、中学3年生より小学5年生で「どちらかといえばある」が高くなっています。学年ごとに性別でみると小学校5年生、中学校3年生ともに男子で「ない」が高くなっています。



問3 あなたはクラスで次のようなとき、女子と男子のどちらが多いと思いますか。

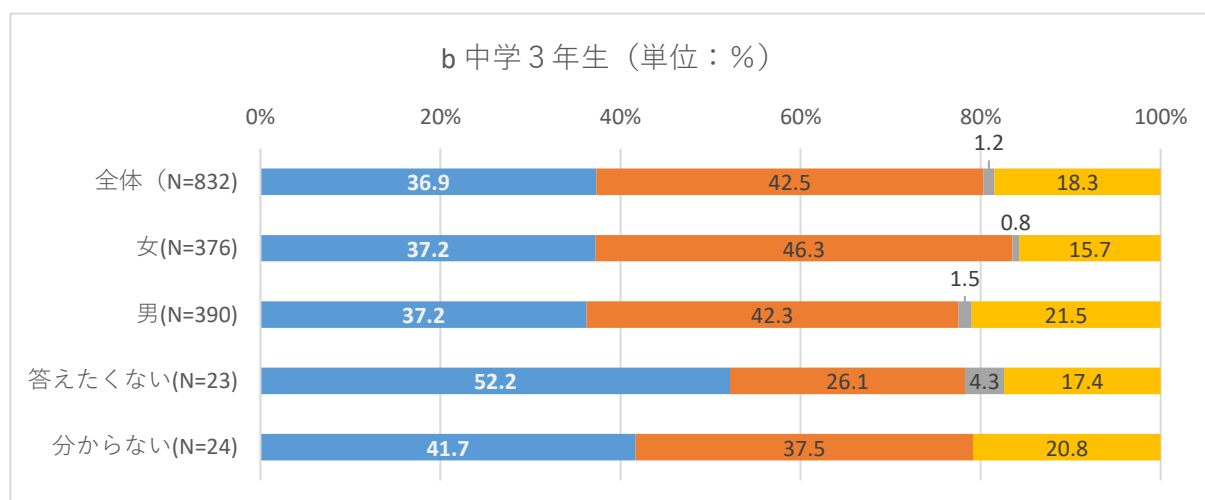
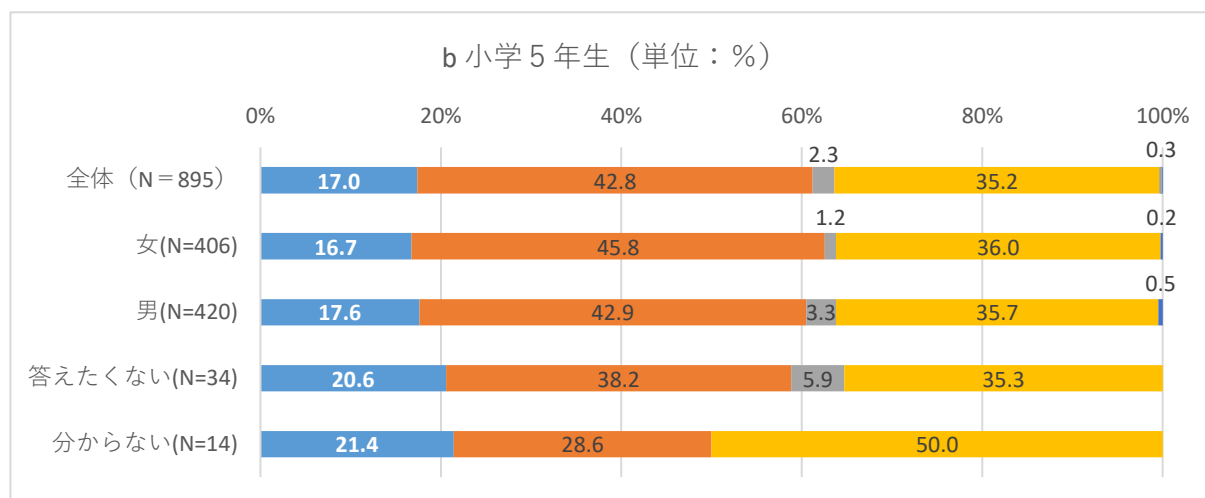
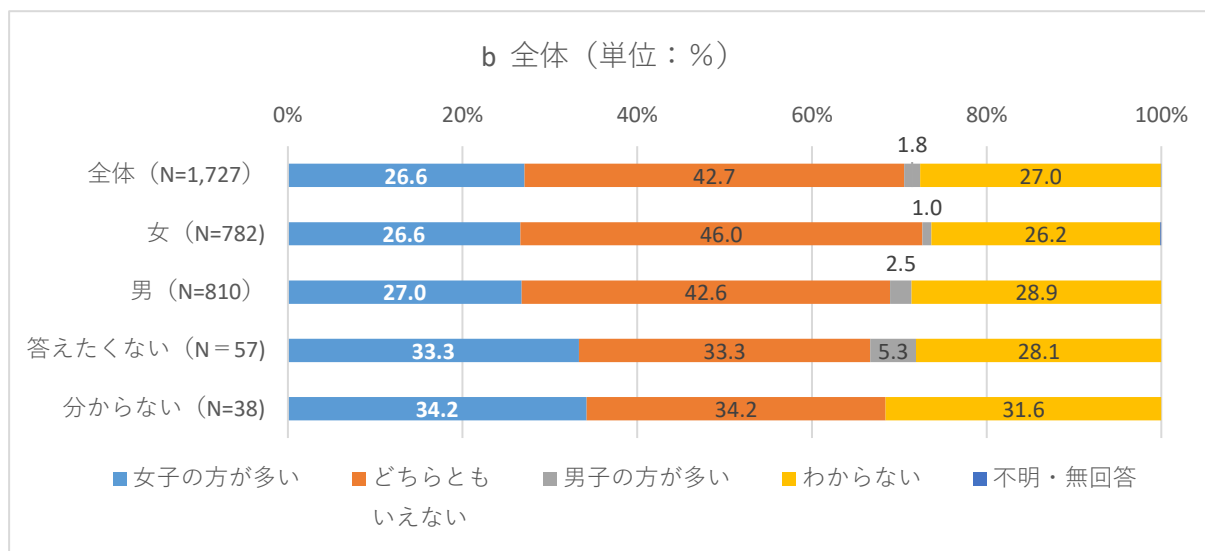
a 先生から厳しく注意されたり、叱られたりする

全体では、「男子の方が多い」が57.8%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が22.3%となっています。学年・性別ごとにみても、「男子の方が多い」次いで、「どちらともいえない」となっています。



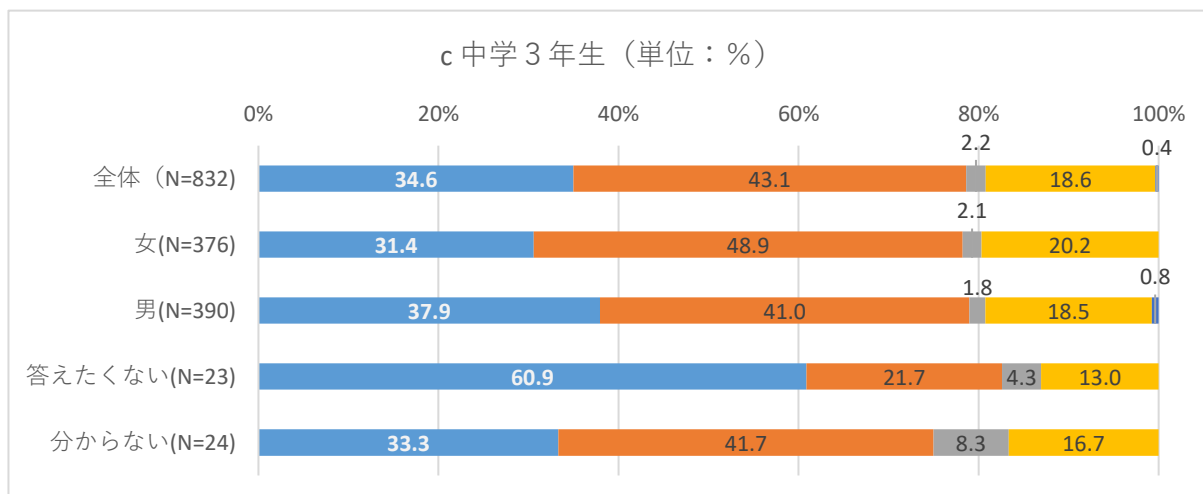
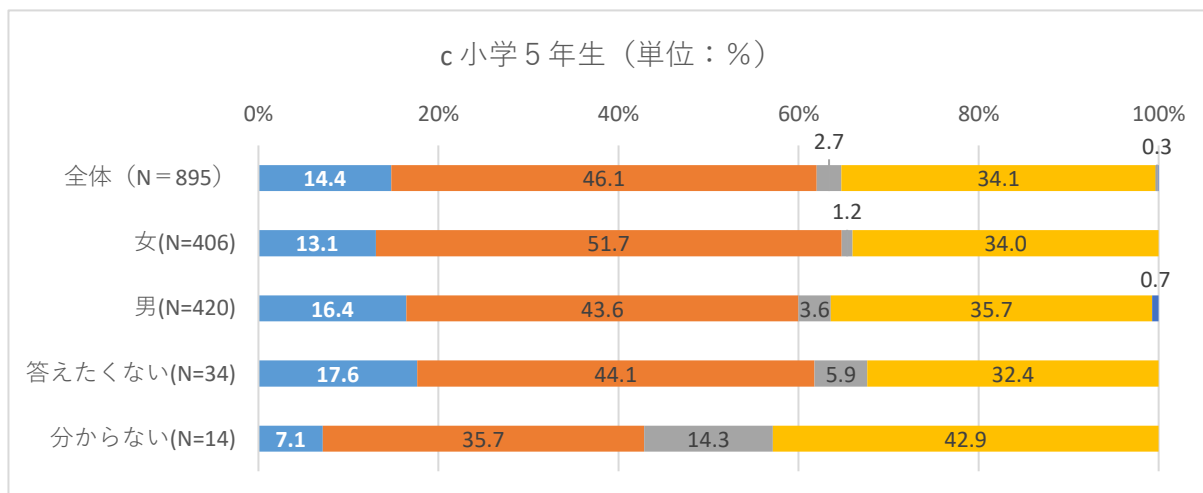
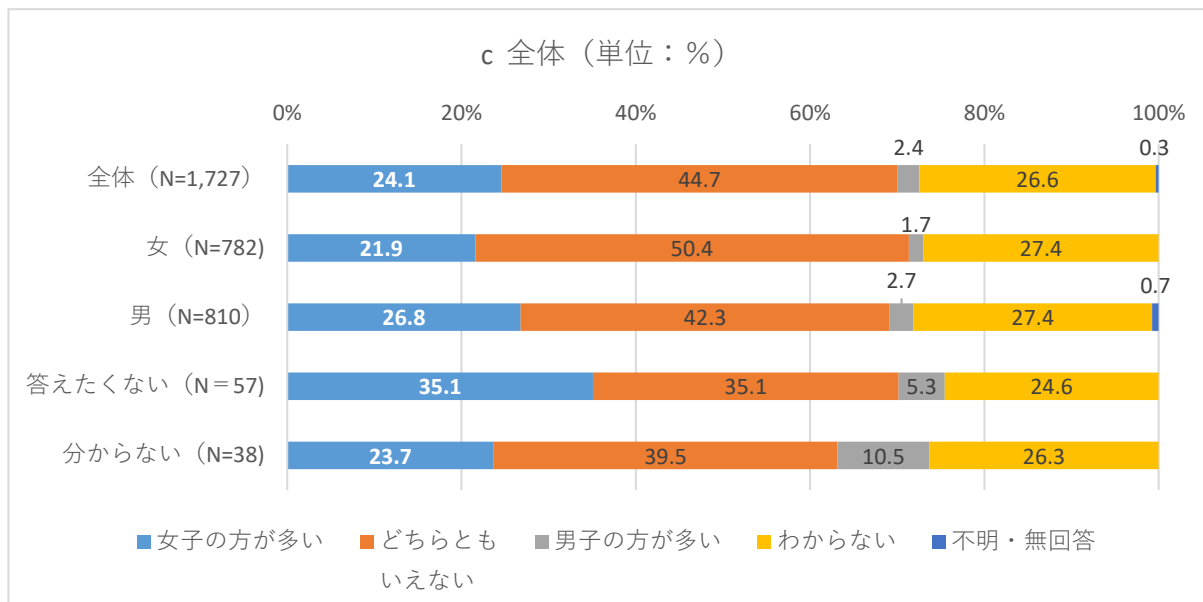
b 先生からていねいな言葉で話かけられる

全体では、「どちらともいえない」が 42.7%と最も高く、次いで「分からない」が 27%となっています。学年でみると、小学校5年生、中学校3年生共に「どちらともいえない」が最も高く、次いで小学校5年生は「わからない」が 35.2%、中学校3年生は「女子の方が多い」が 36.9%になっています。性別ごとにみると「どちらともいえない」が多いが、中学校3年生で「答えたくない」「分からない」と回答した生徒は「女子の方が多い」との回答が 52.2%、41.7%と高くなっています。



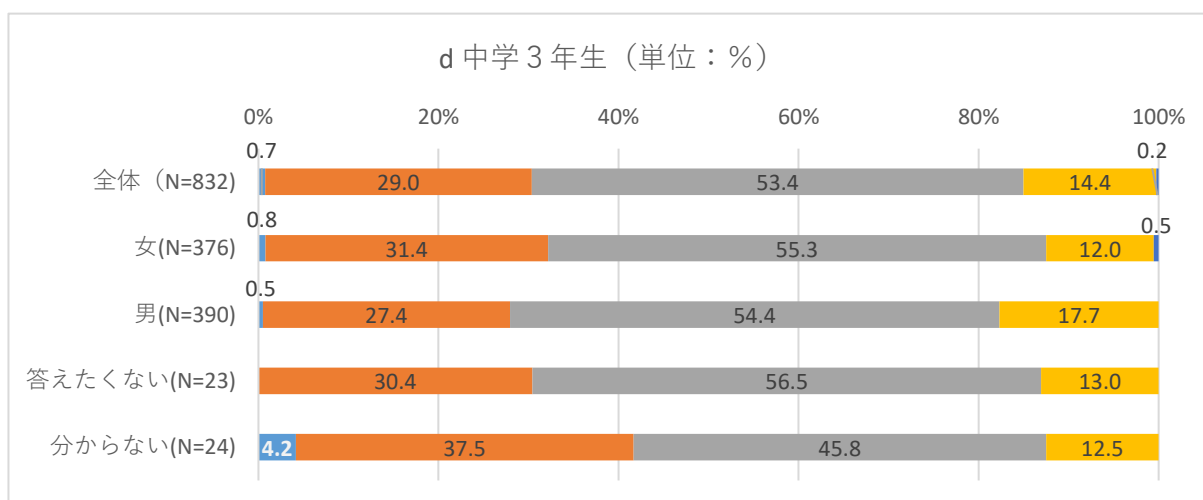
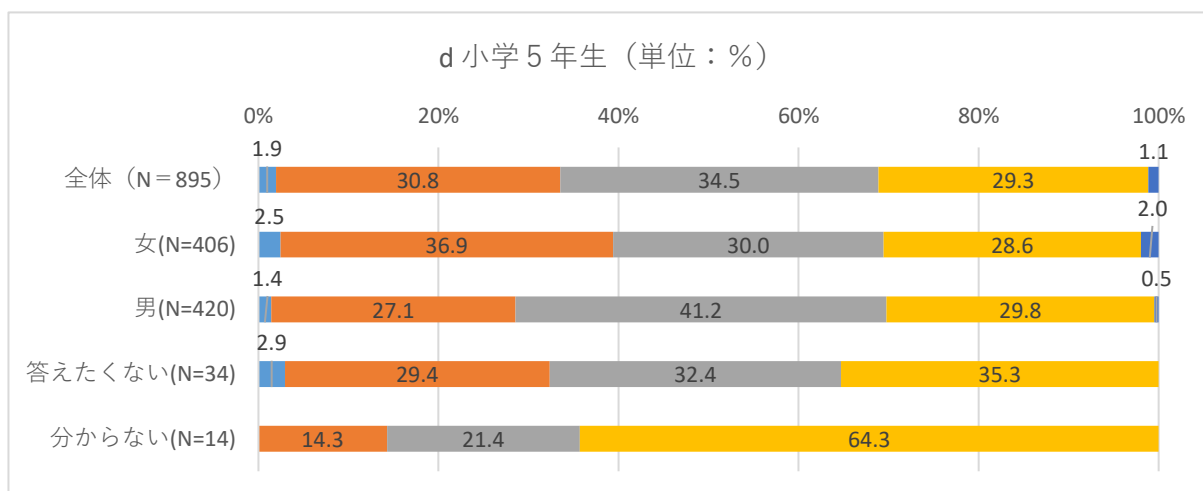
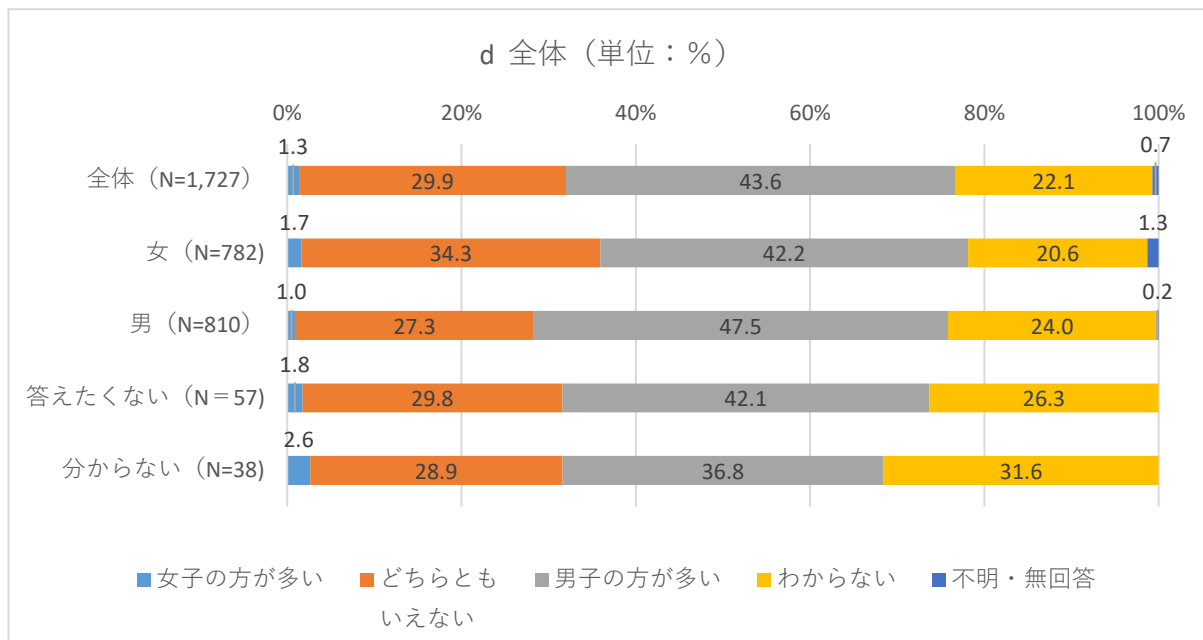
c 先生からやさしくされる

全体では、「どちらともいえない」が 44.7%と最も高く、次いで「分からない」が 26.6%となっています。学年で見ると、小学5年生より中学3年生で「女子の方が多い」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると小学5年生・中学3年生共に「どちらともいえない」が高くなっています。中学校3年生では、全体的に「女子の方が多い」との回答が高くなっています。



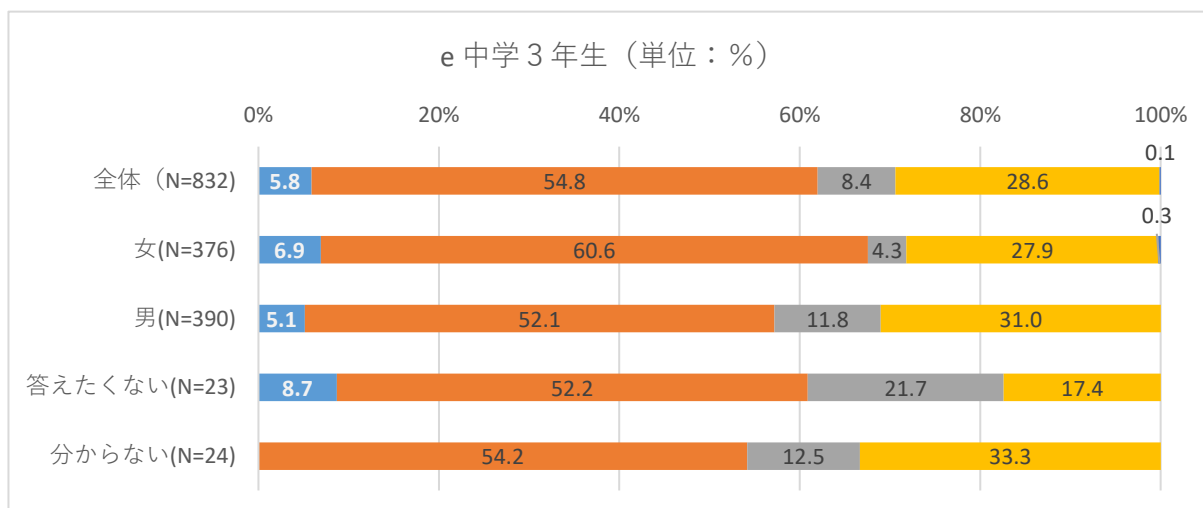
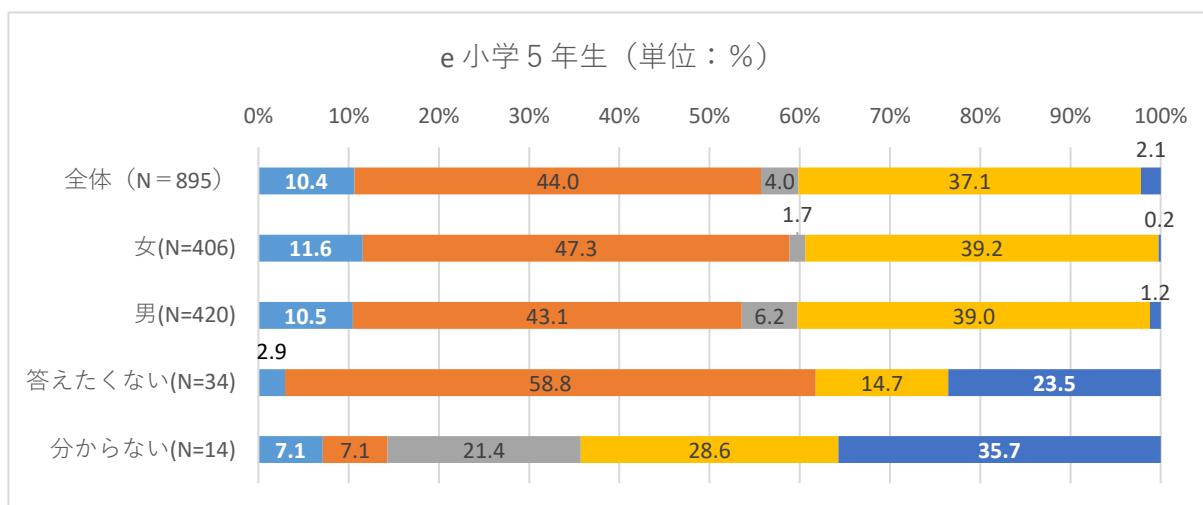
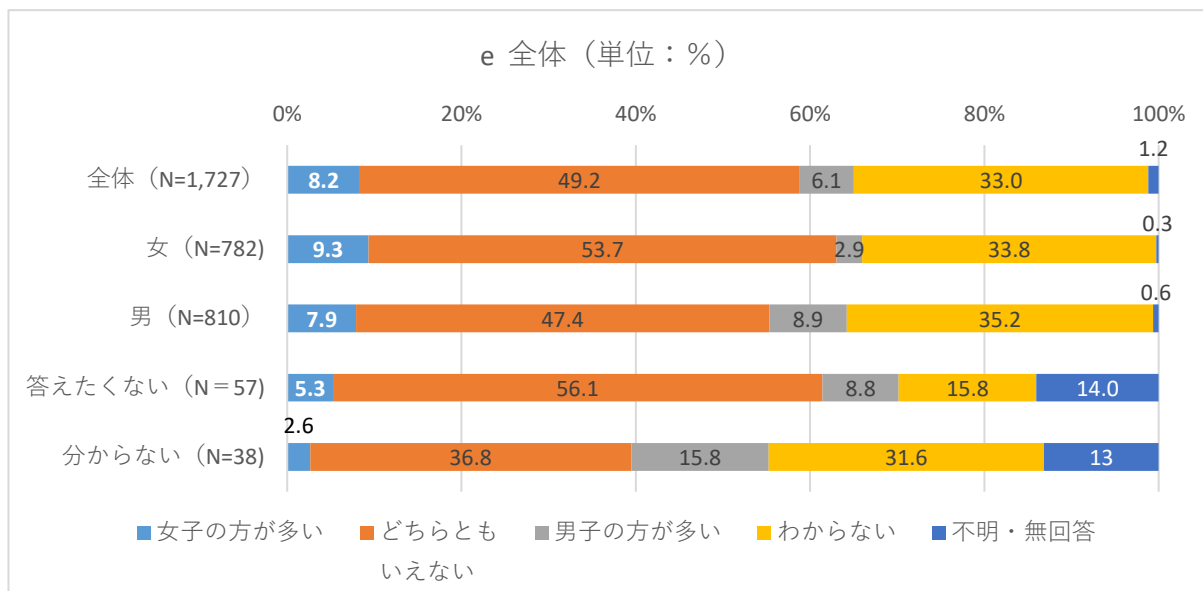
d 机やいすを運ぶなどの仕事をたのまれる

全体では、「男子の方が多い」が43.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が29.9%となっています。学年で見ると小学5年生より中学3年生で、「男子の方が多い」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると、中学3年生で男女共に「男子の方が多い」が高くなっています。



e 机ふきなどの仕事をたのまれる

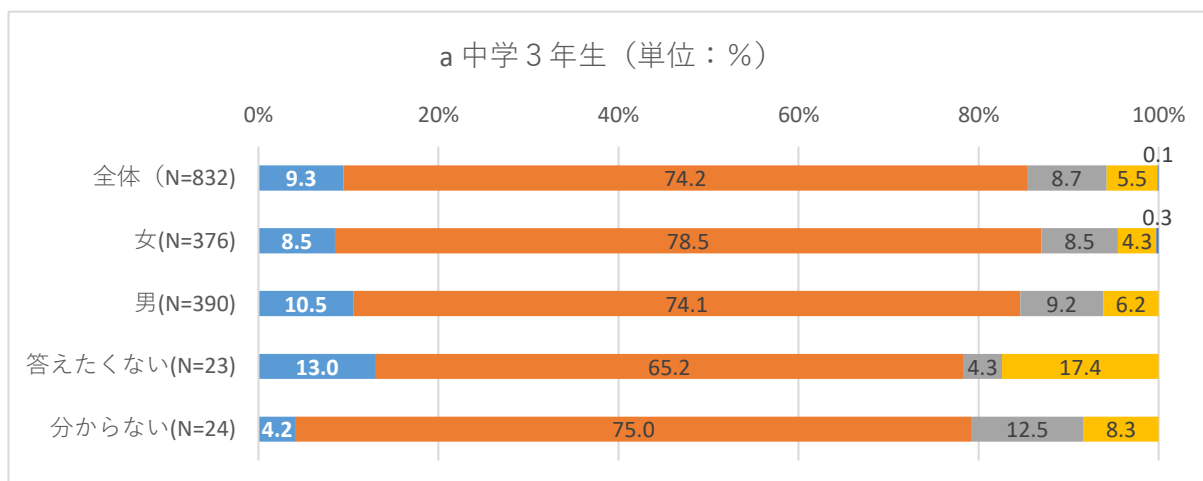
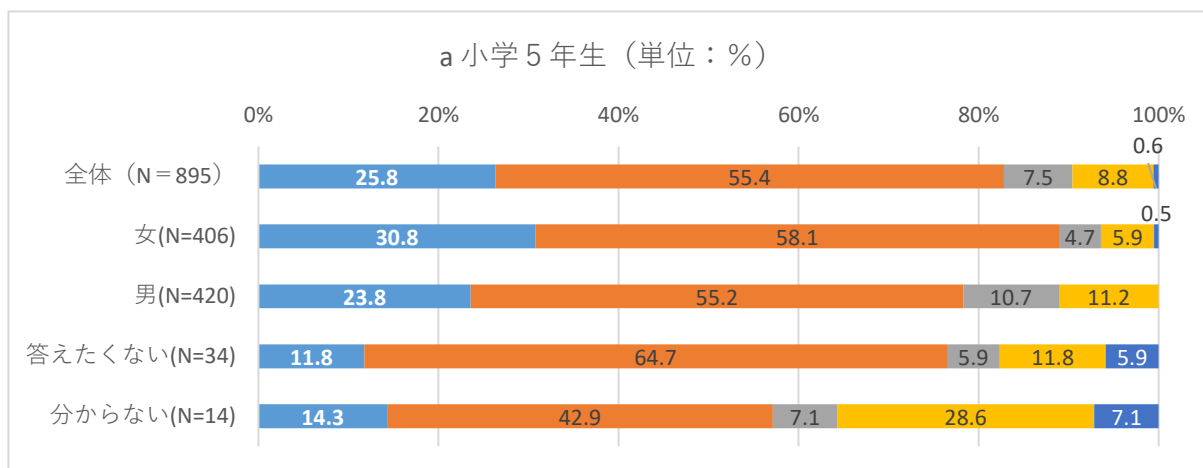
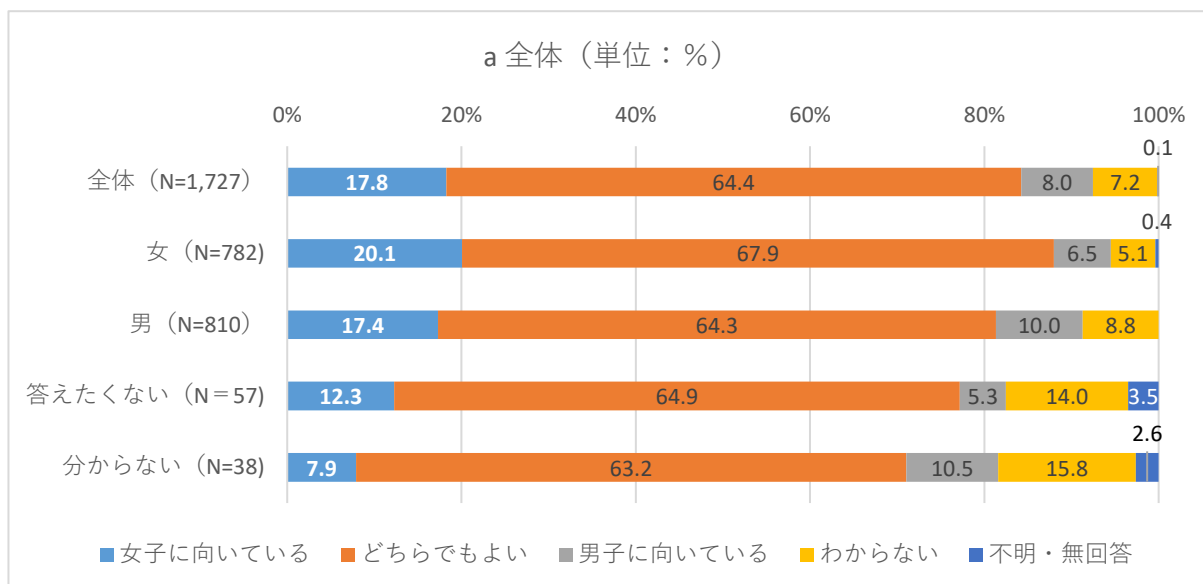
全体では、「どちらともいえない」が49.2%と最も高く、次いで「分からない」が33%となっています。学年で見ると、小学5年生より中学3年生で、「どちらともいえない」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると、中学3年生の女子で、「どちらともいえない」が60.6%と高くなっています。



問4 学校の行事や委員会、クラスの係で次のものは女子と男子のどちらに向いていると思いますか。

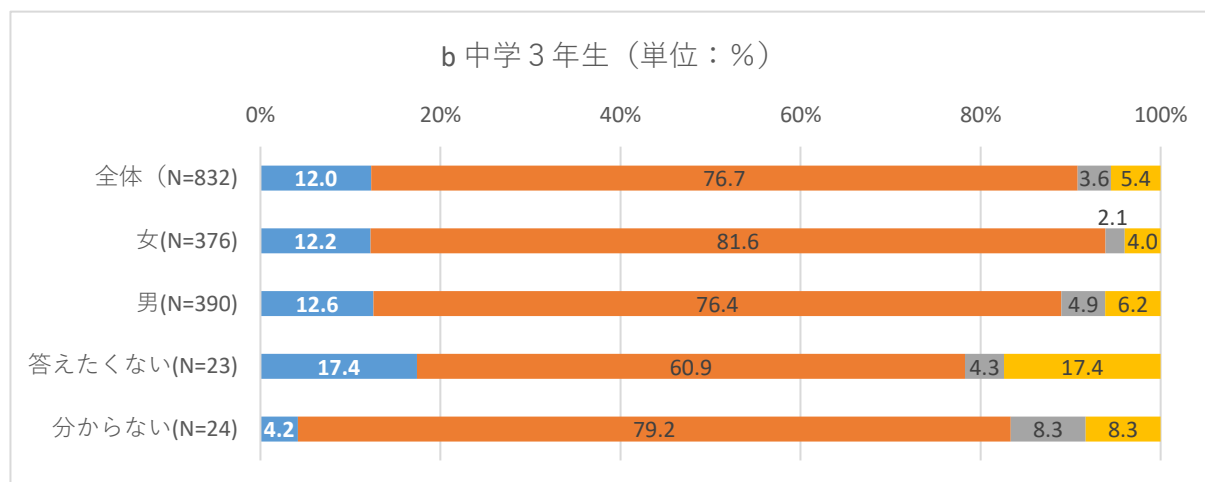
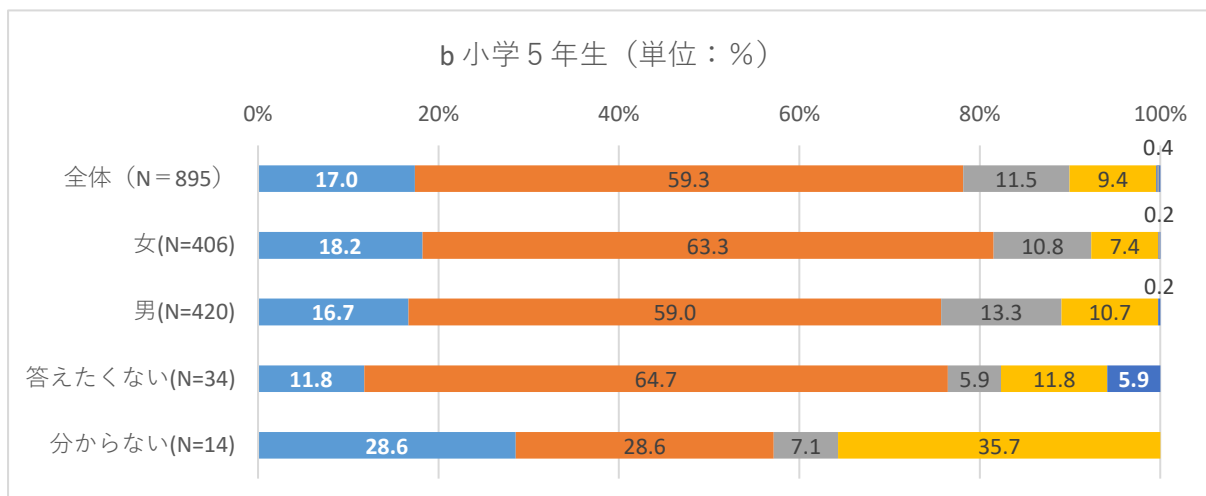
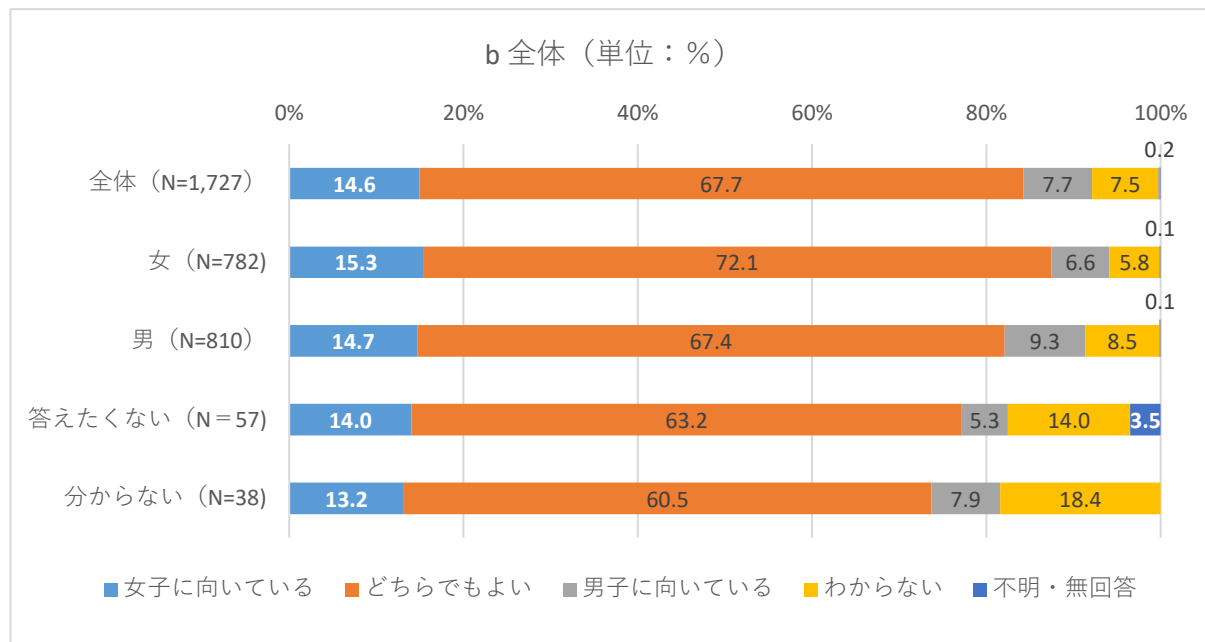
a 児童会・生徒会の会長や委員会の委員長

全体では、「どちらでもよい」が64.4%と最も高く、次いで「女子に向いている」が17.8%となっています。学年で見ると、中学3年生より小学5年生で、「女子に向いている」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると、小学5年生の女子で、「女子に向いている」が30.8%と高くなっています。



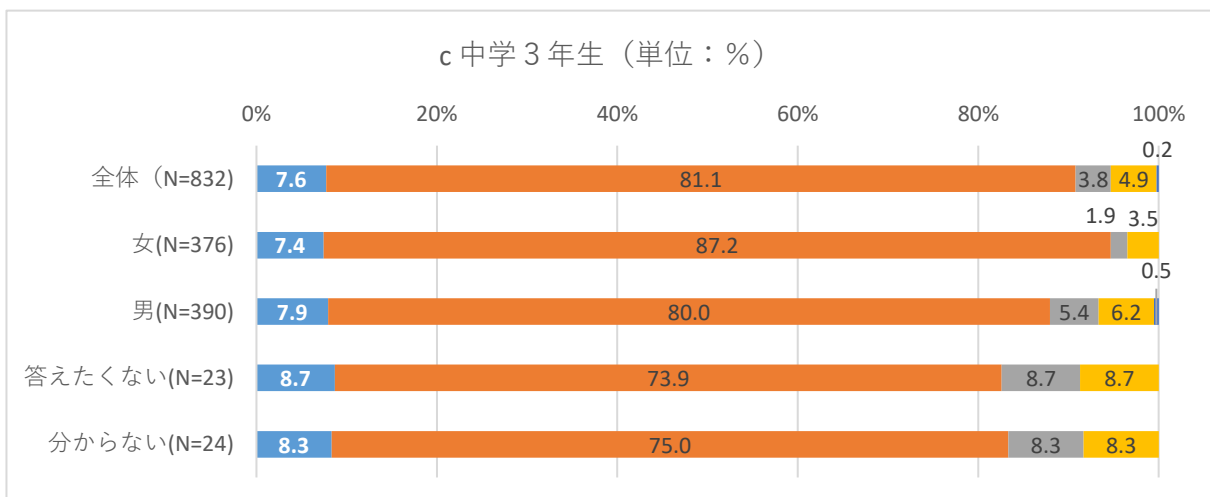
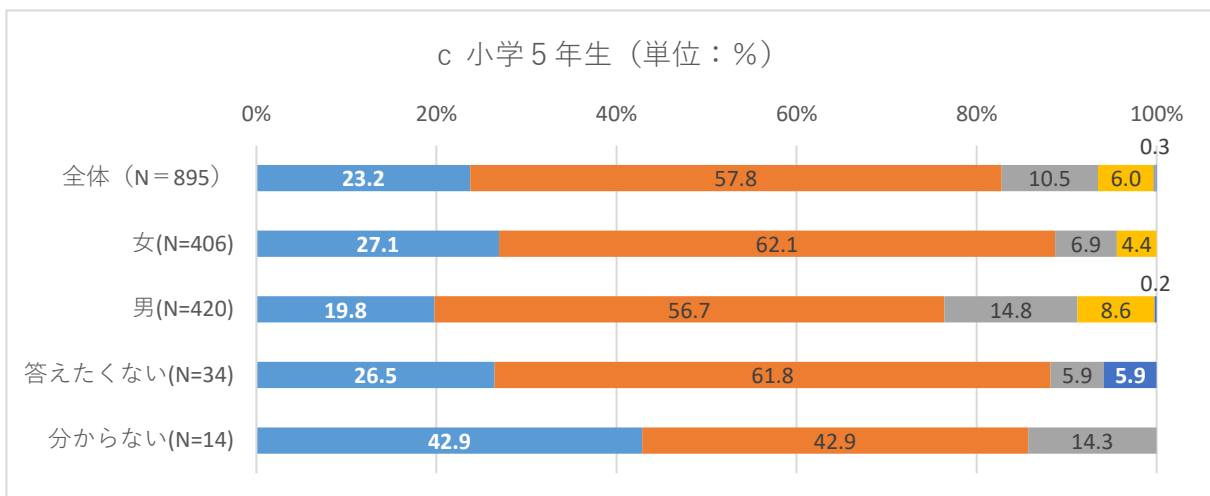
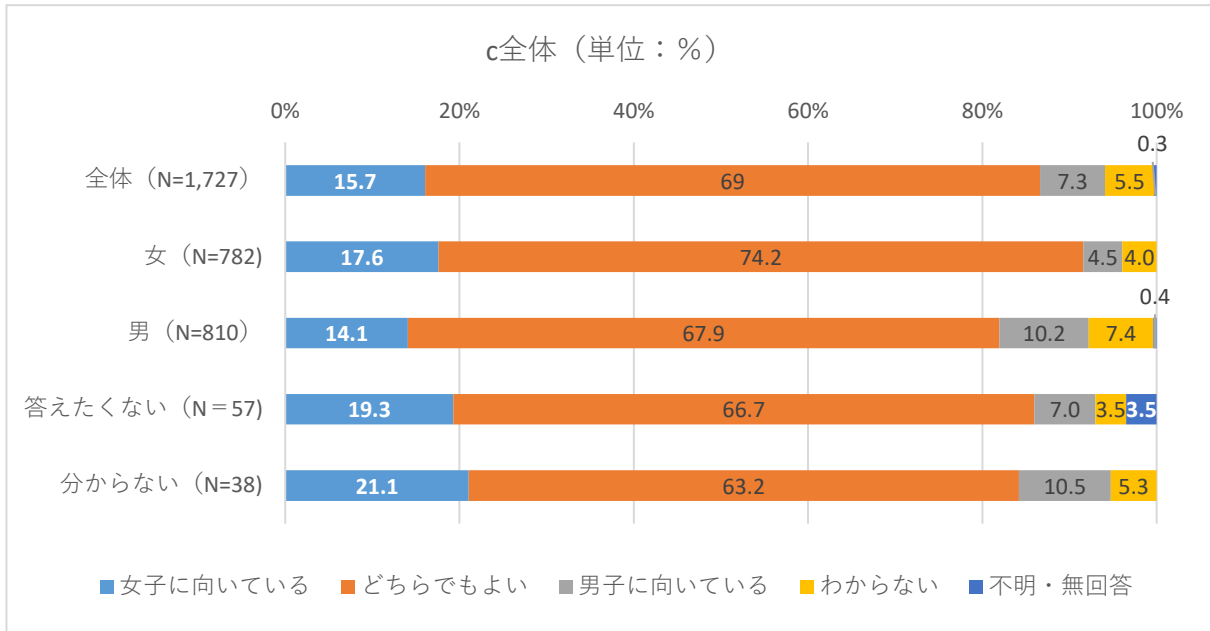
b 児童会・生徒会の副会長や委員会の副委員長

全体では、「どちらでもよい」が67.7%と最も高く、次いで「女子に向いている」が14.6%となっています。学年で見ると、中学3年生より小学5年生で、「女子に向いている」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると、小学5年生の女子で、「女子に向いている」が高くなっています。



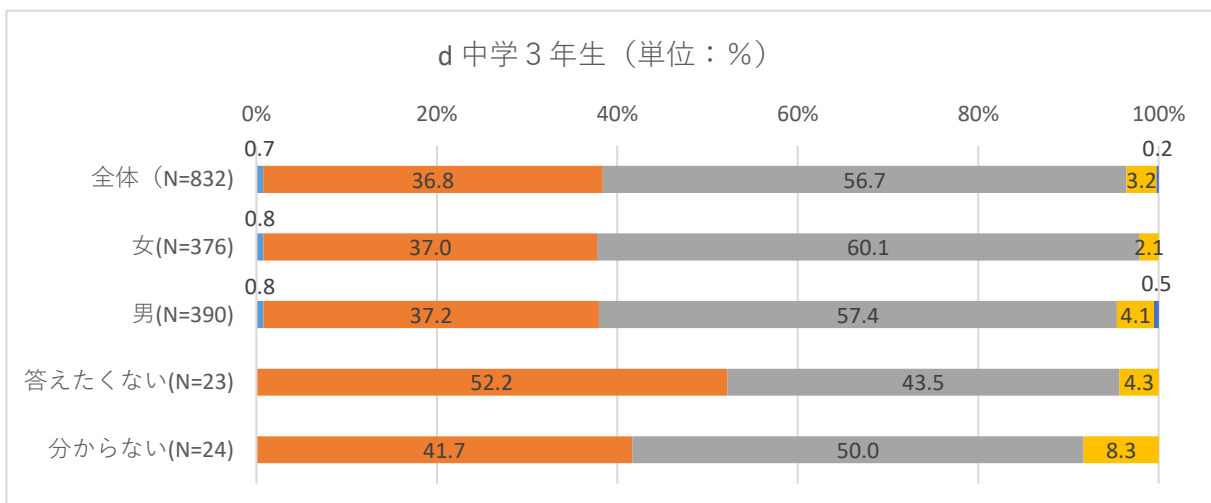
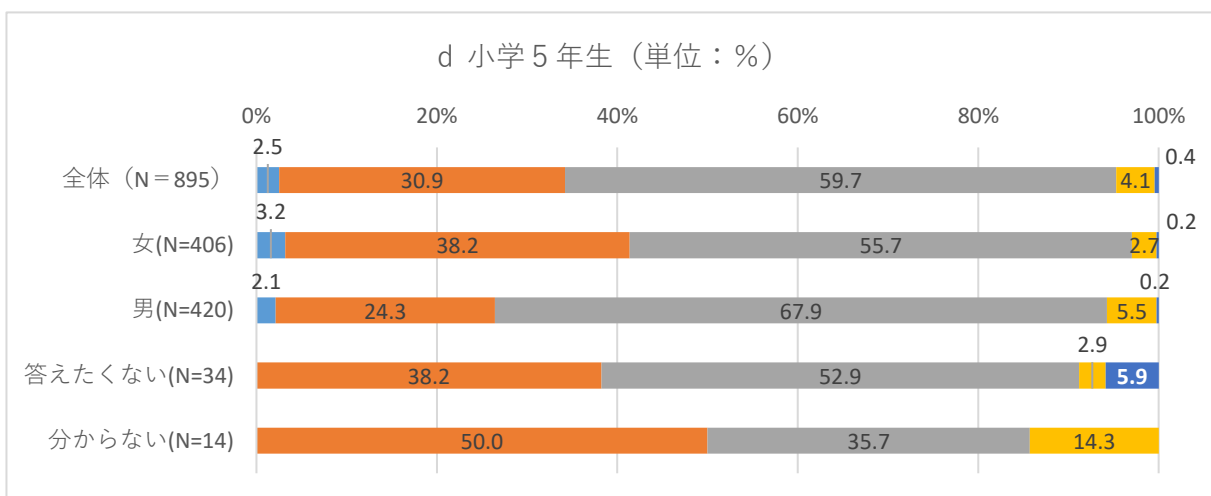
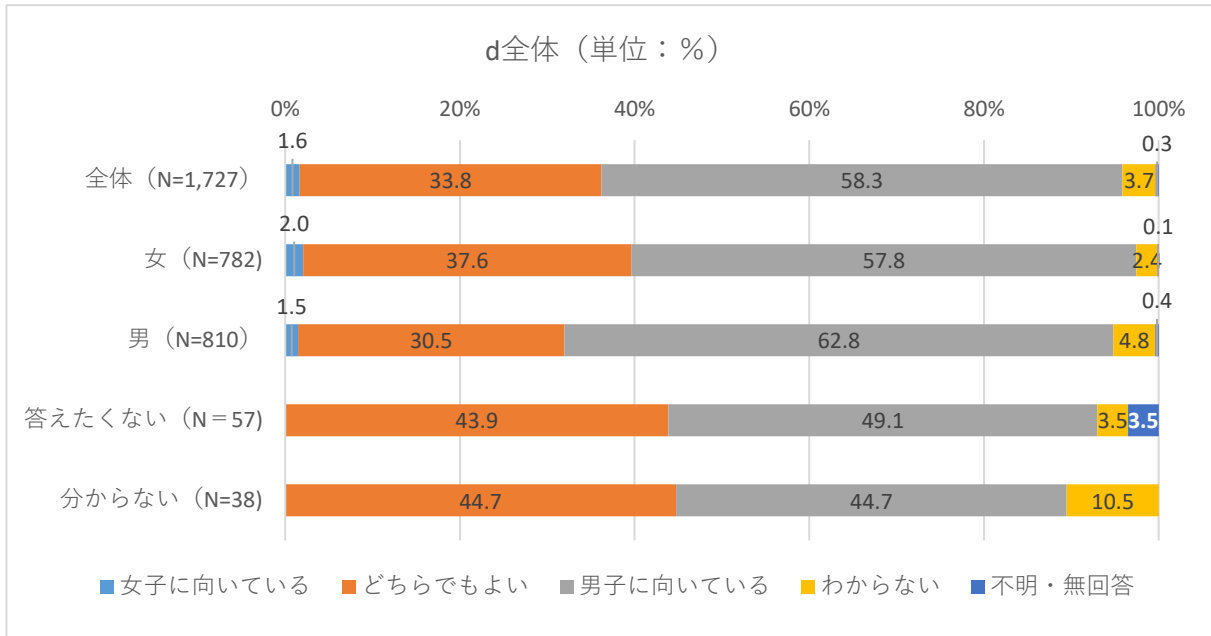
c クラスのグループのリーダーや班長

全体では、「どちらでもよい」が69%と最も高く、次いで「女子に向いている」が15.7%となっています。学年で見ると、中学3年生より小学5年生で、「女子に向いている」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると、小学5年生の女子で、「女子に向いている」が高くなっています。



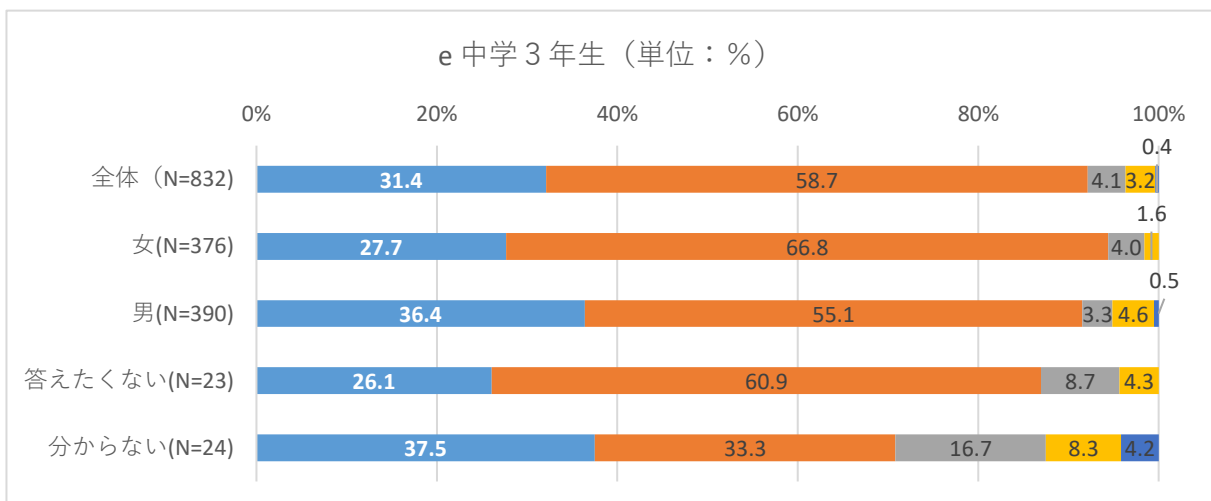
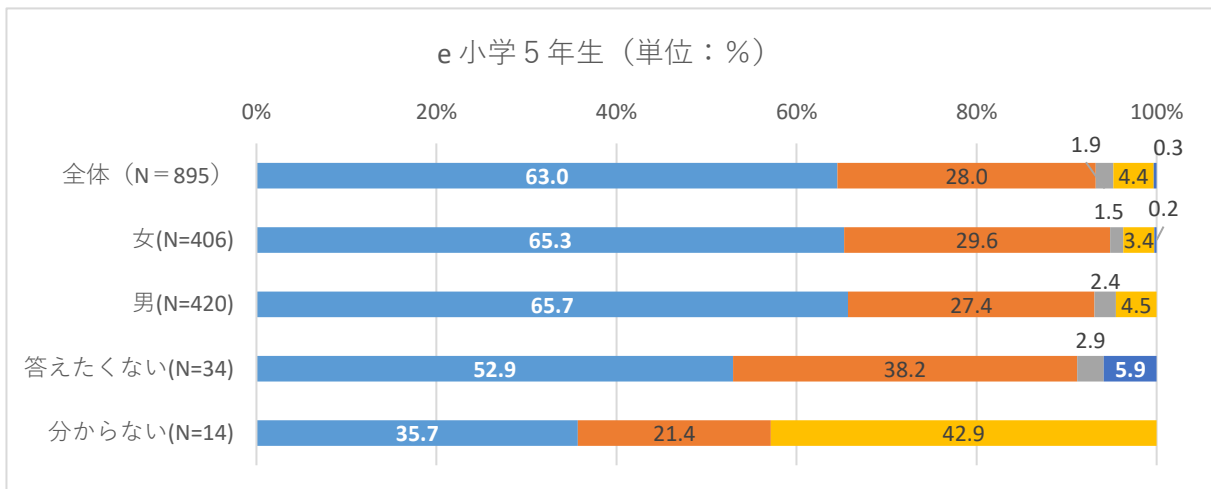
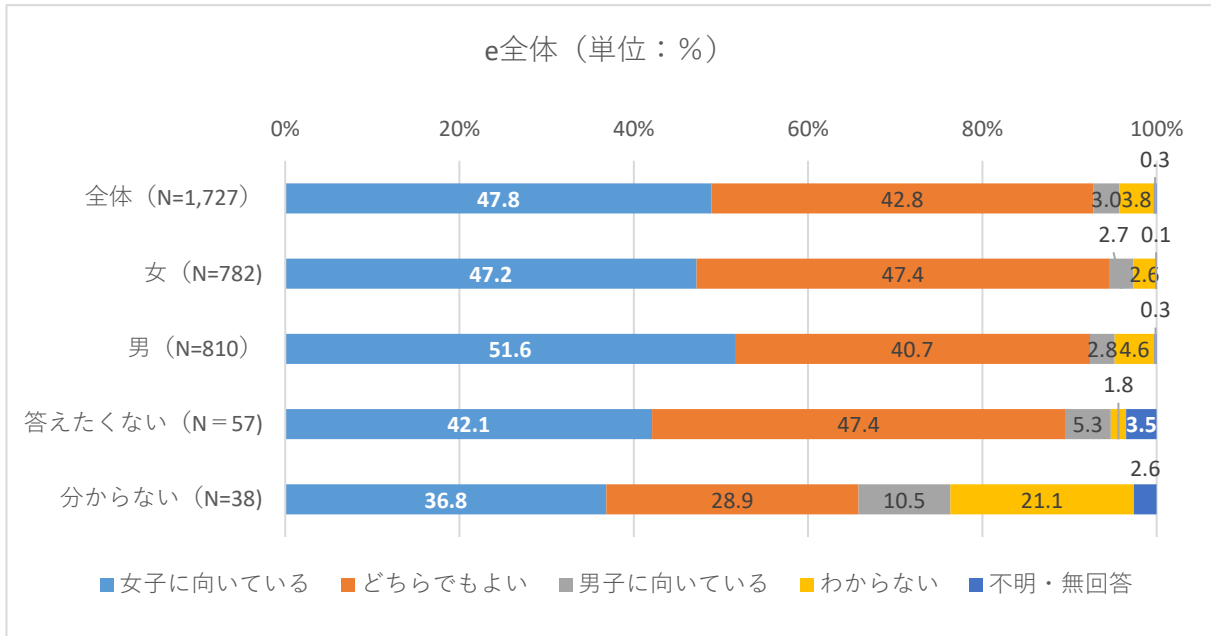
d 運動会の応援団長

全体では、「男子に向いている」が 58.3%と最も高く、次いで「どちらでもよい」が 33.8%となっています。学年で見ると、中学3年生より小学5年生で、「女子に向いている」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると、小学5年生の女子で、「女子に向いている」が高くなっています。



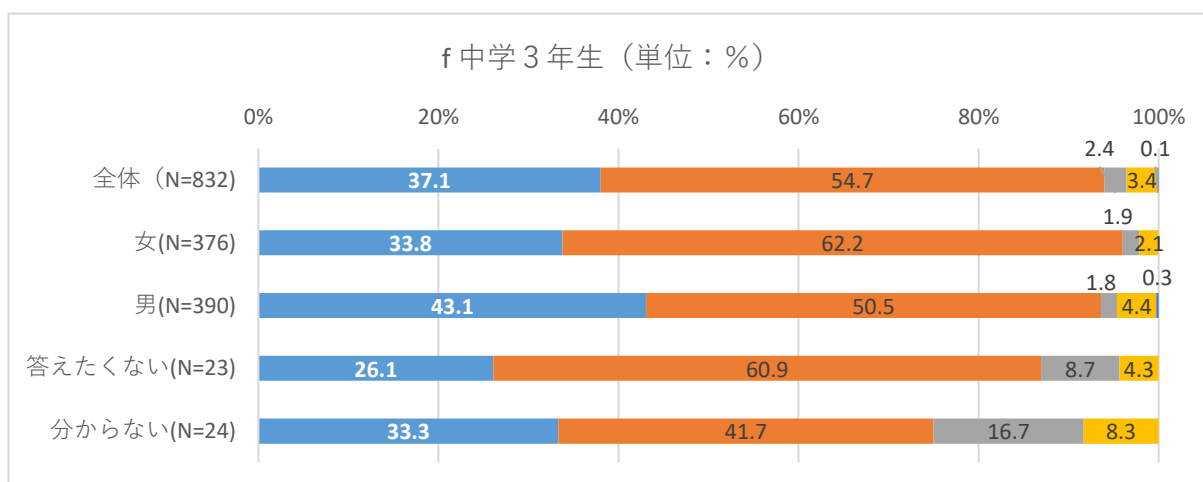
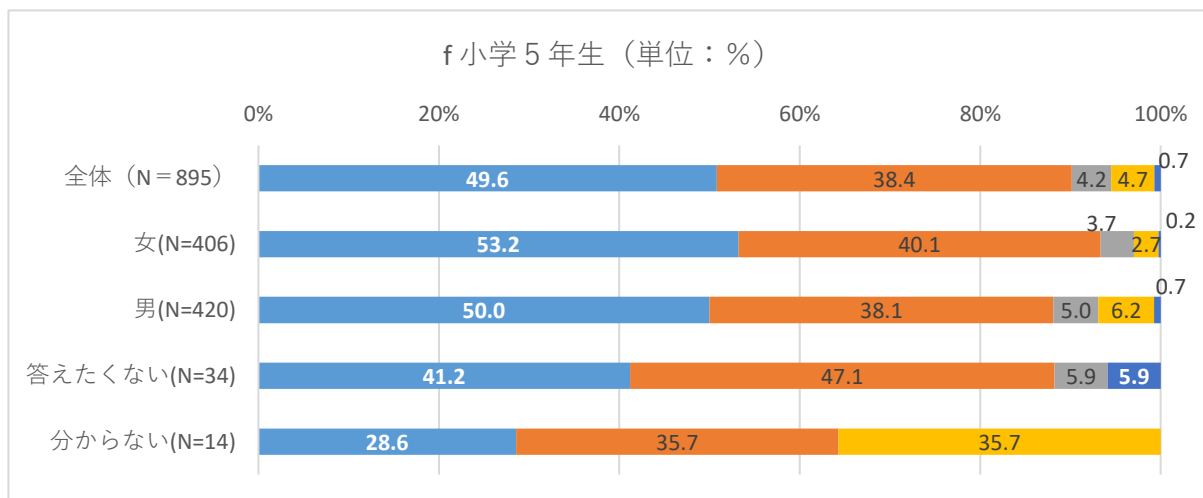
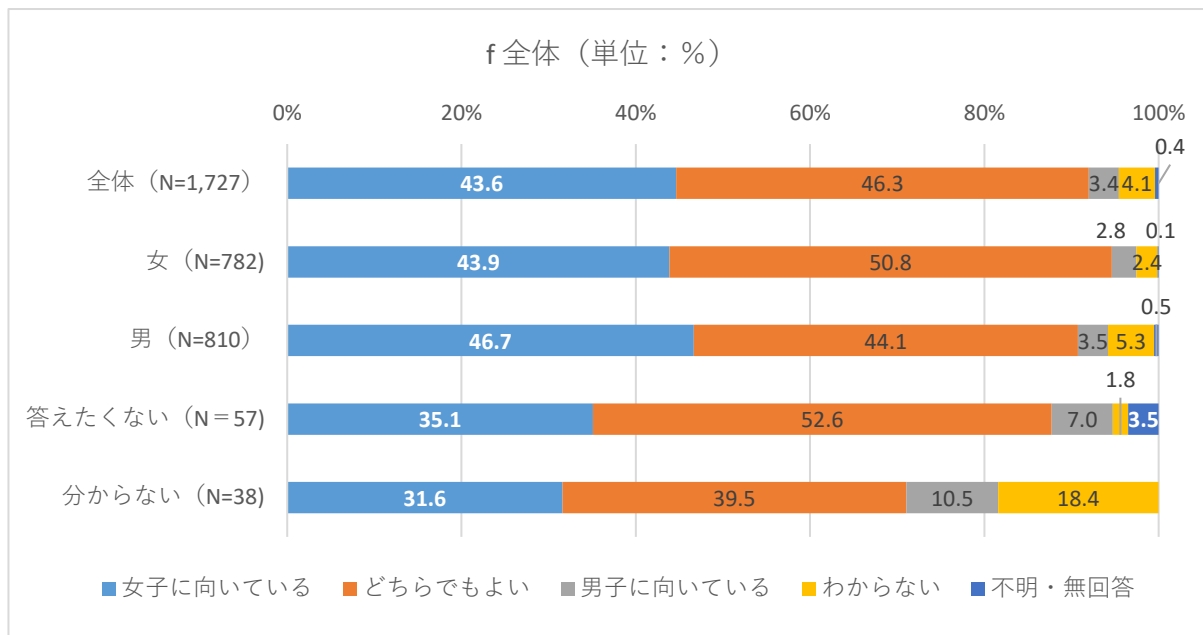
e 合奏・合唱の指揮者

全体では、「女子に向いている」が47.8%と最も高く、次いで「どちらでもよい」が42.8%となっています。学年で見ると、中学3年生より小学5年生で、「女子に向いている」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると、小学5年生の男子で、「女子に向いている」が高くなっています。



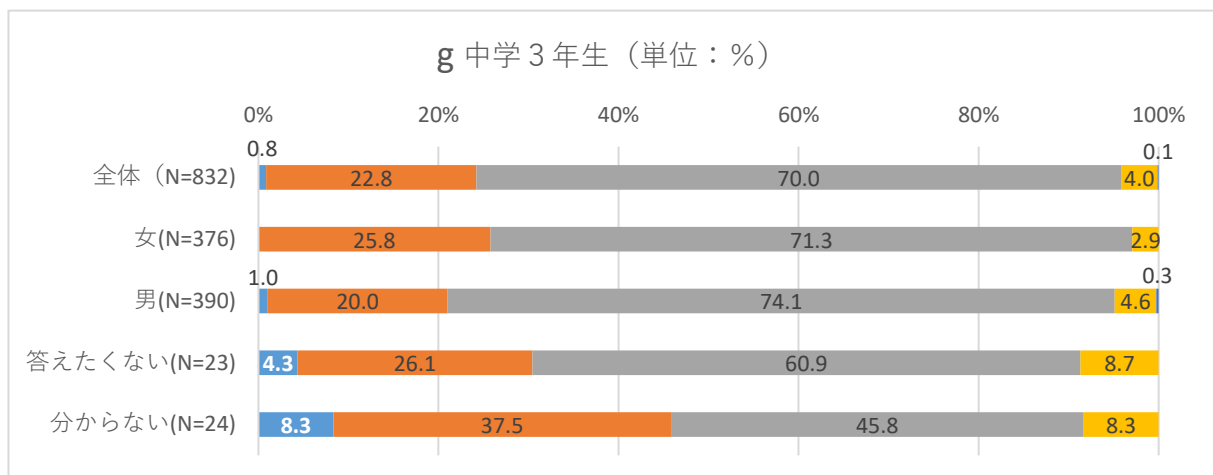
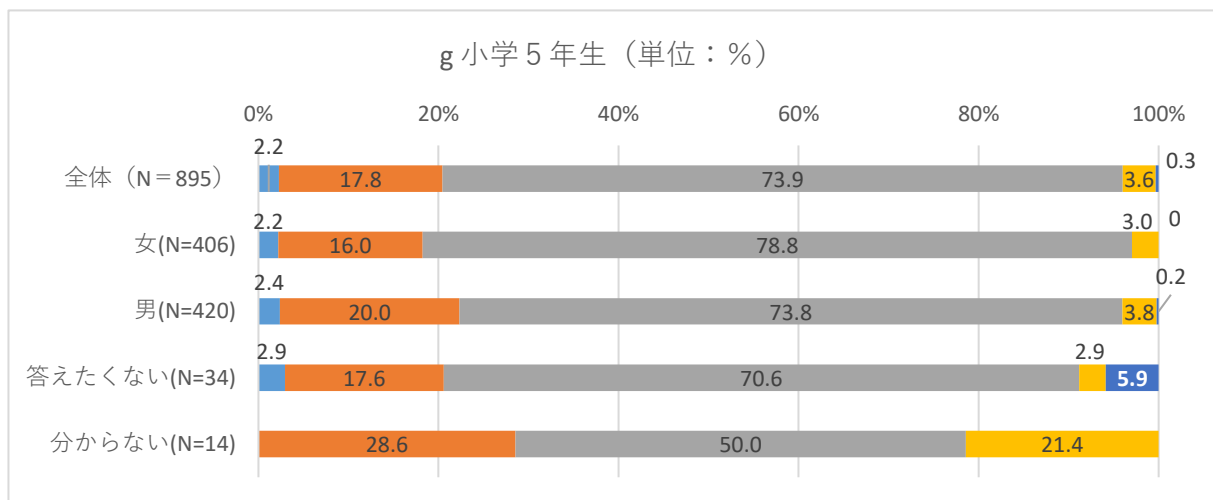
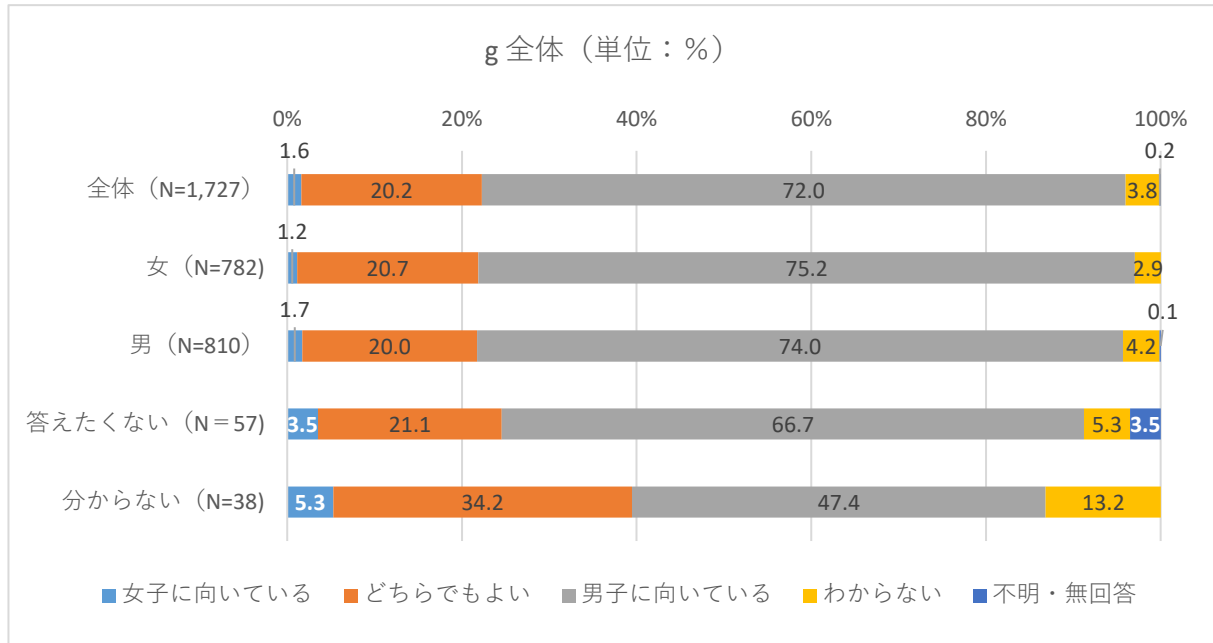
f 合奏・合唱の伴奏

全体では、「どちらでもよい」が46.3%と最も高く、次いで「女子に向いている」が43.6%となっています。学年で見ると、中学3年生より小学5年生で、「女子に向いている」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると、小学5年生の男子で、「女子に向いている」が高くなっています。



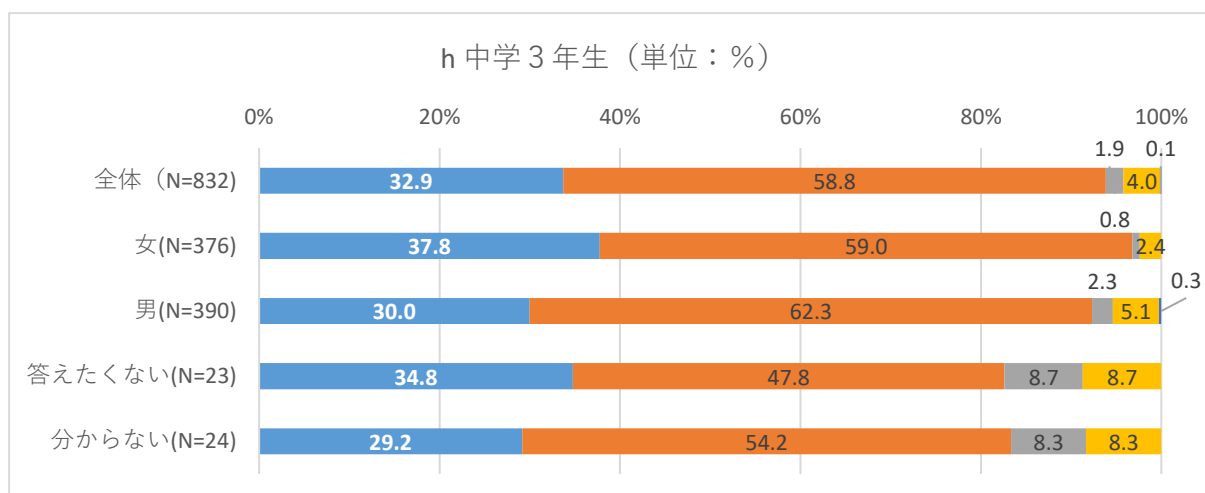
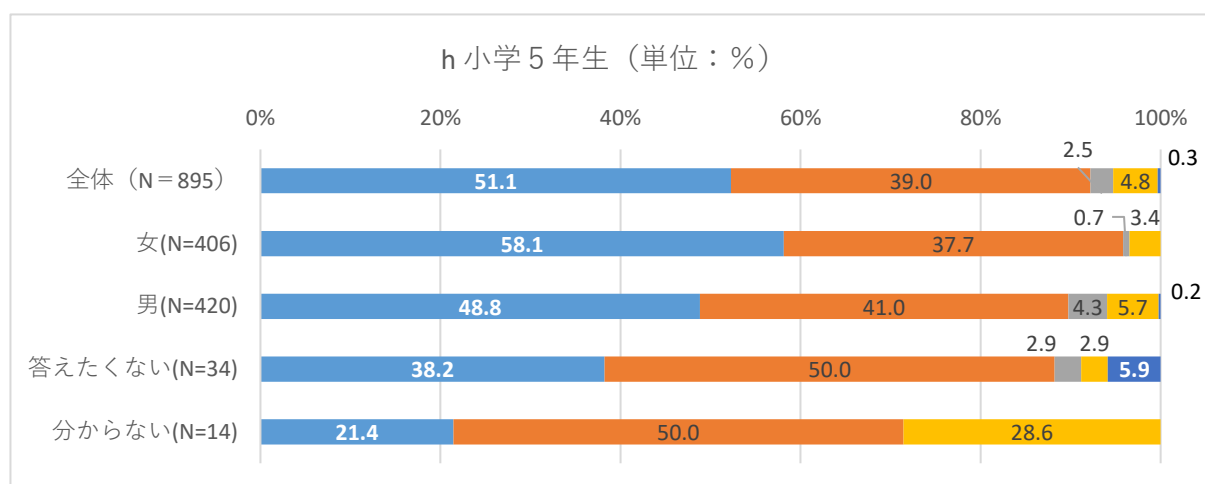
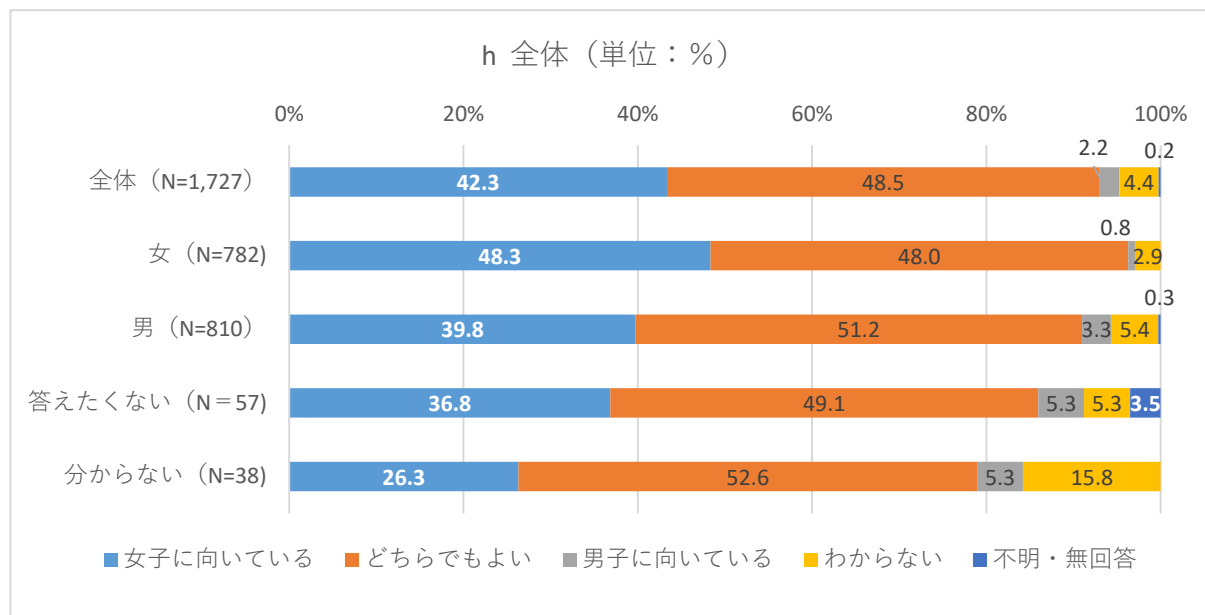
g 重いもの運ぶこと

全体では、「男子に向いている」が72%と最も高く、次いで「どちらでもよい」が20.2%となっています。学年で見ると、中学3年生より小学5年生で、「男子に向いている」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると、中学3年生で「どちらでもよい」が高くなっています。



h 整理整頓や植物の世話

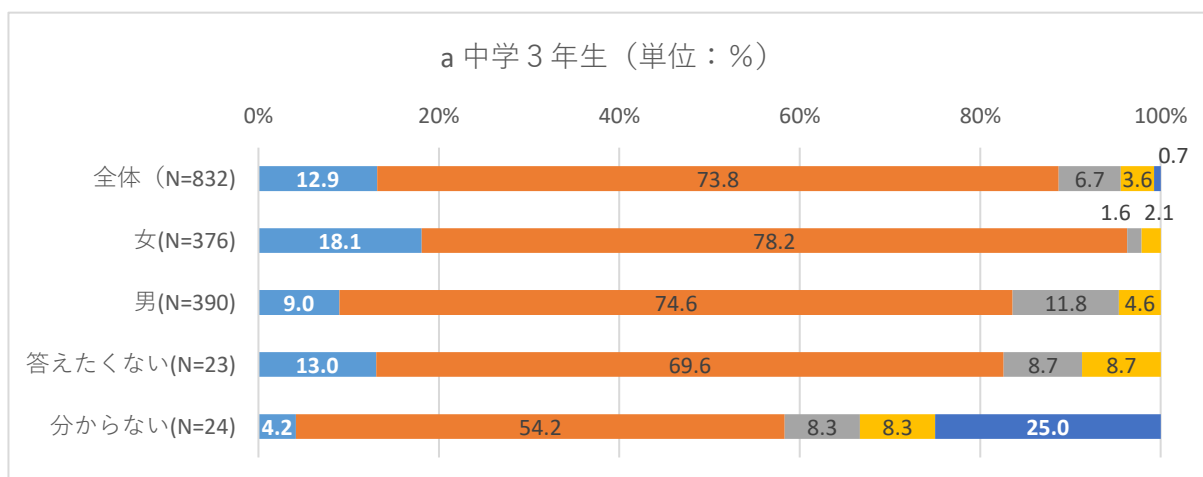
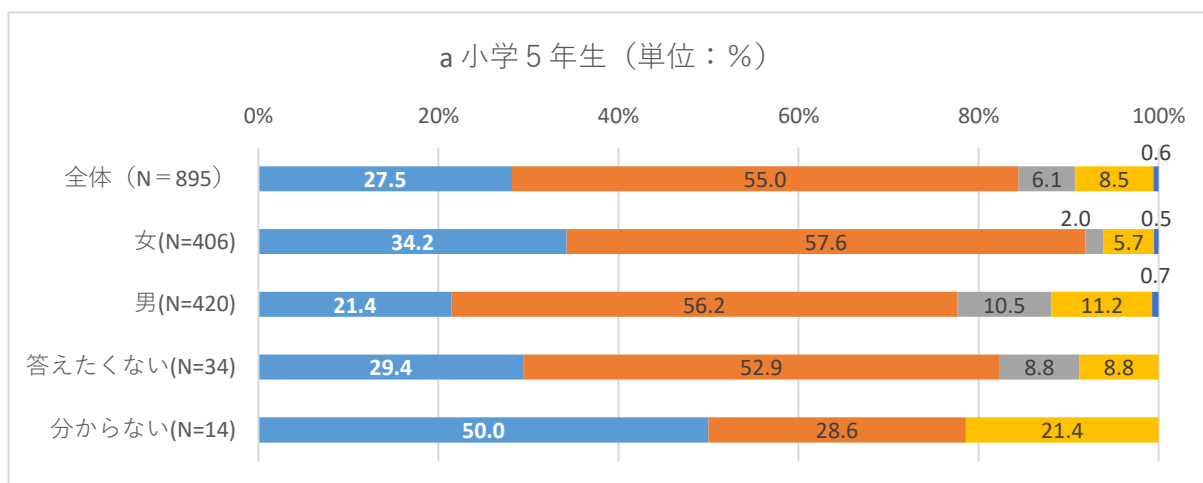
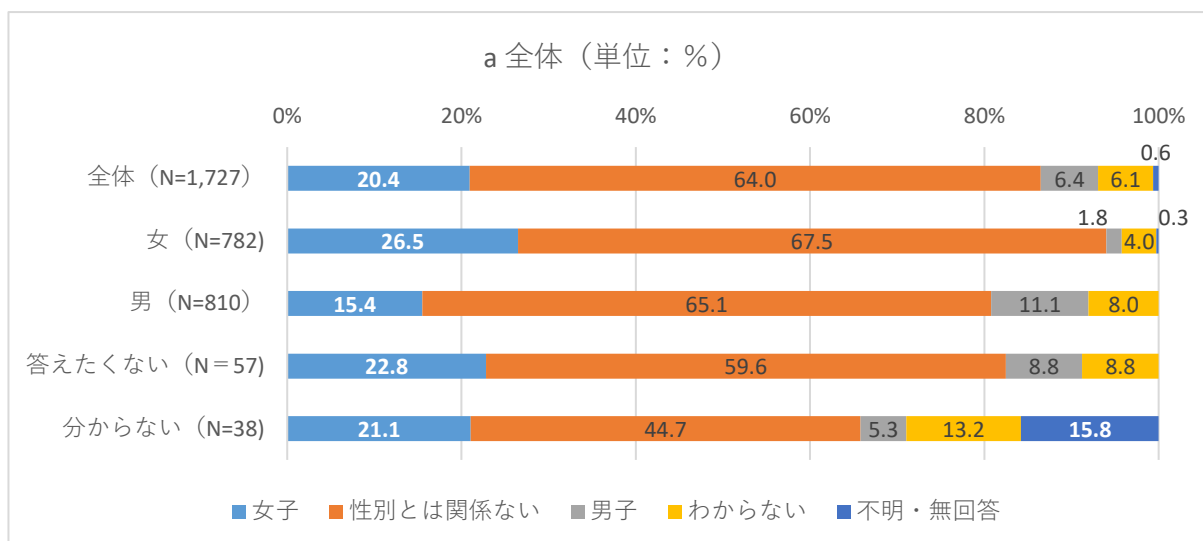
全体では、「どちらでもよい」が48.5%と最も高く、次いで「女子に向いている」が42.3%となっています。学年で見ると、中学3年生より小学5年生で、「女子に向いている」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると小学5年生で、「女子に向いている」が高くなっています。中学3年生の男子で「どちらでもよい」が62.3%と高くなっています。



問5 あなたは次のことにあてはまるのは女子と男子のどちらだと思いますか。

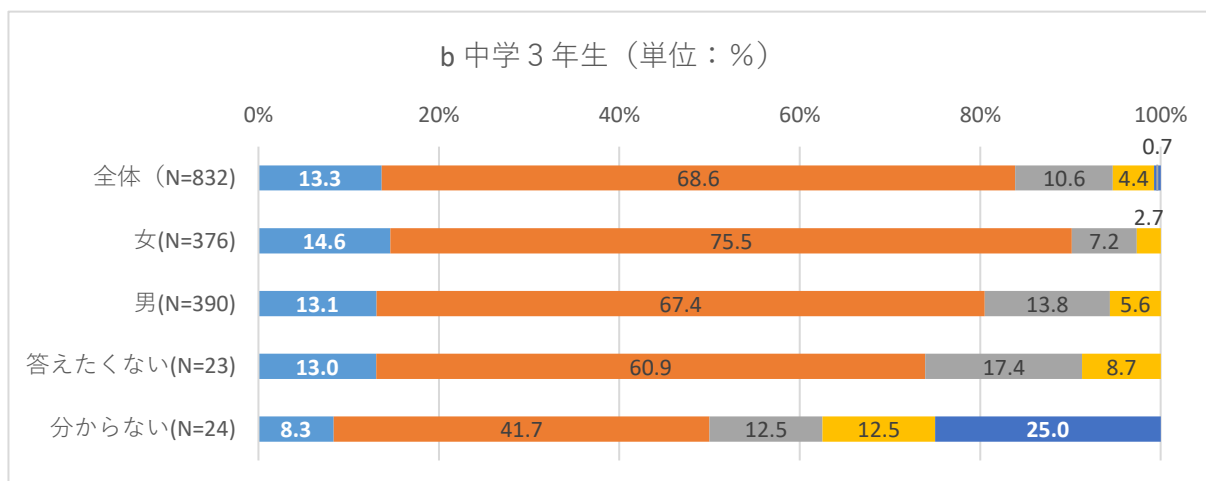
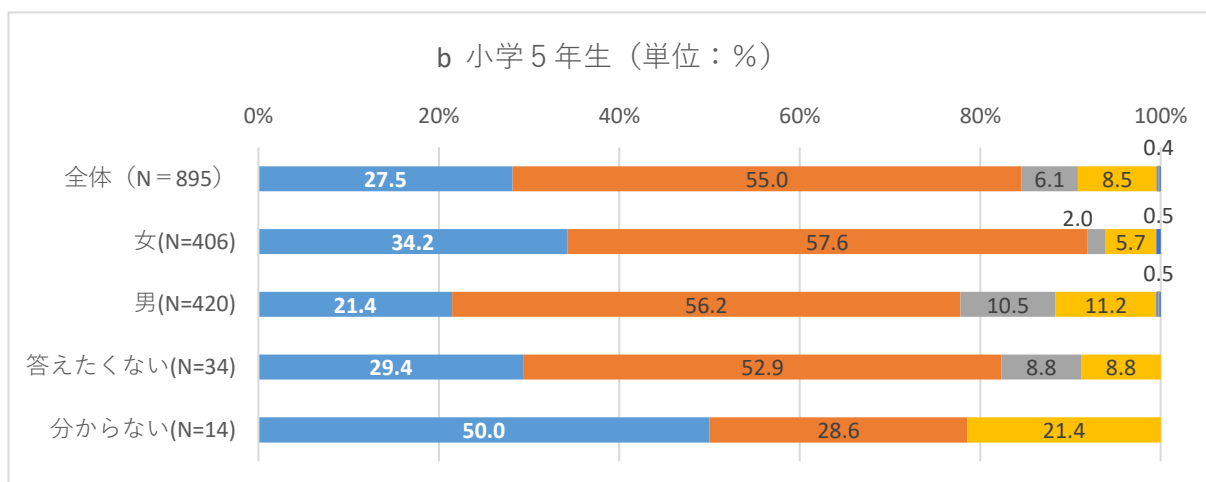
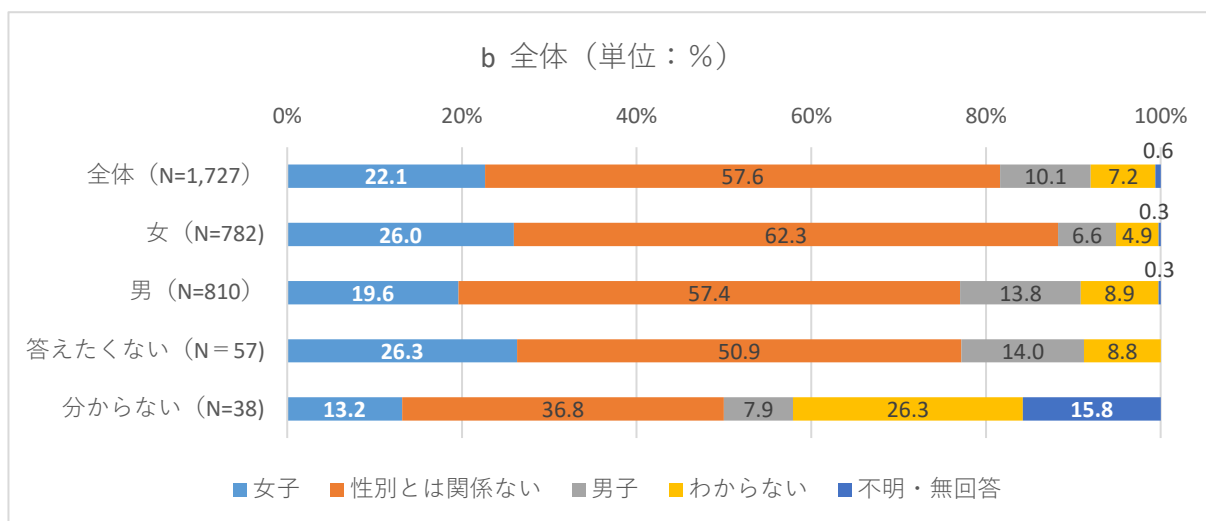
a やさしい

全体では、「性別とは関係ない」が64%と最も高く、次いで「女子」が20.4%となっています。学年で見ると、小学5年生より中学3年生で、「性別とは関係ない」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると小学5年生で、「女子」が高くなっています。中学3年生は、「性別とは関係ない」が高くなっています。



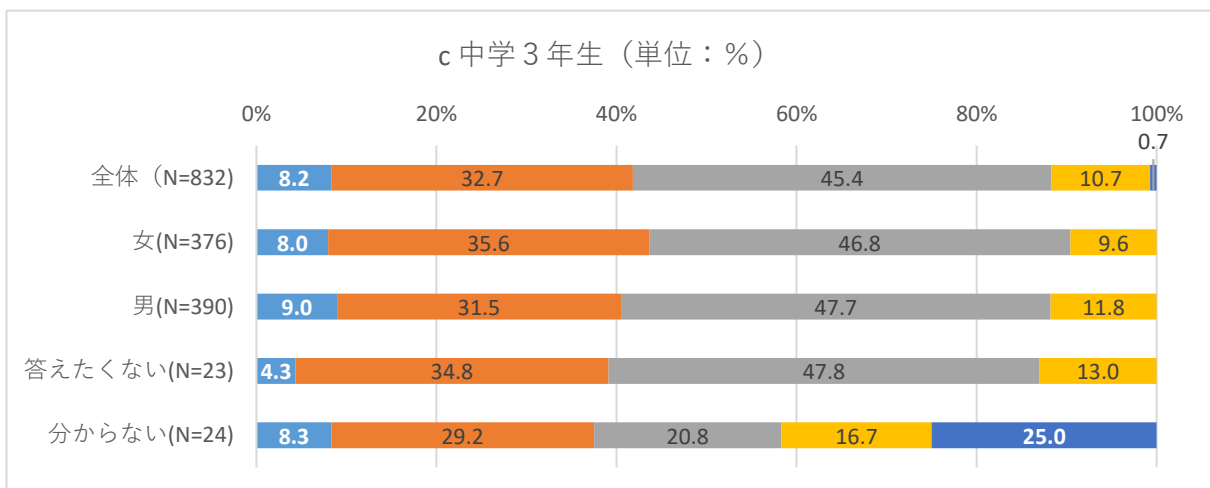
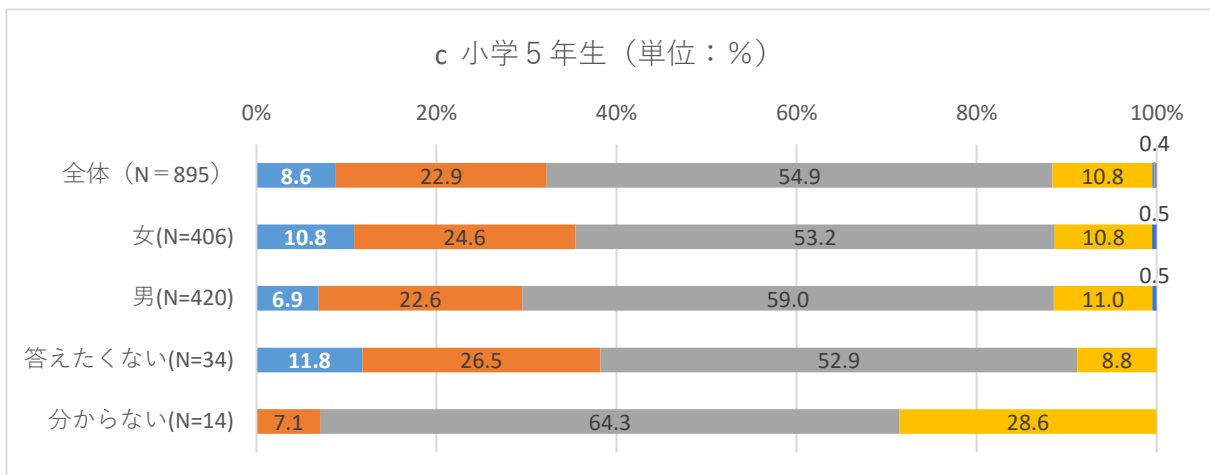
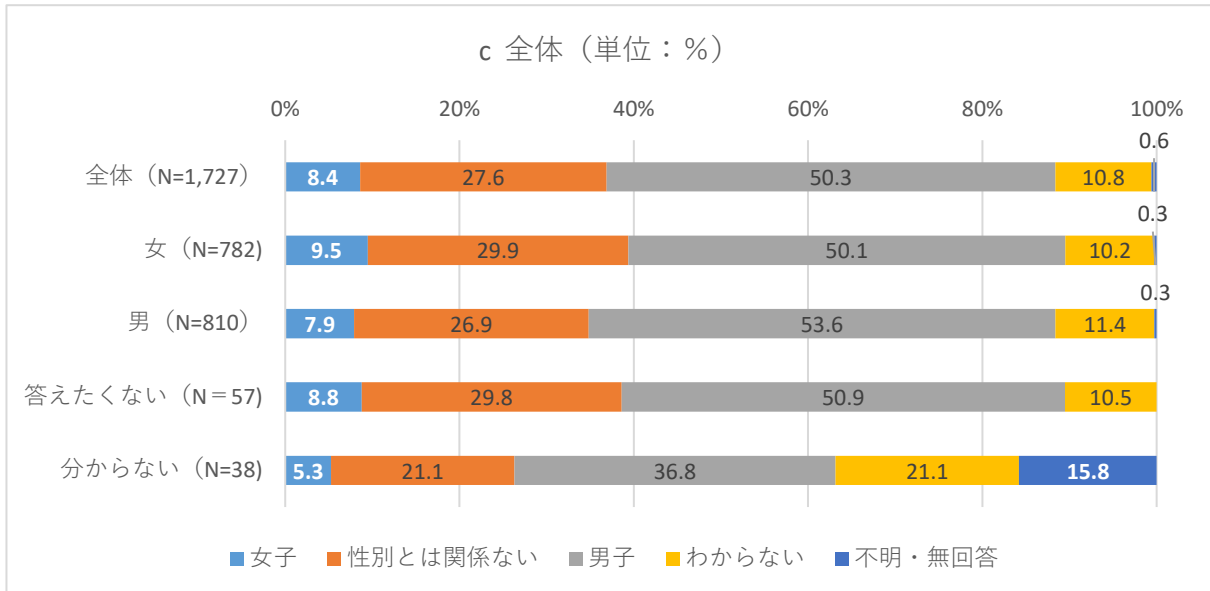
b クラスのまとめ役

全体では、「性別とは関係ない」が57.6%と最も高く、次いで「女子」が22.1%となっています。学年で見ると、小学5年生より中学3年生で、「性別とは関係ない」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると小学5年生の女子・わからないで、「女子」が高くなっています。中学3年生は、「性別とは関係ない」が高くなっています。



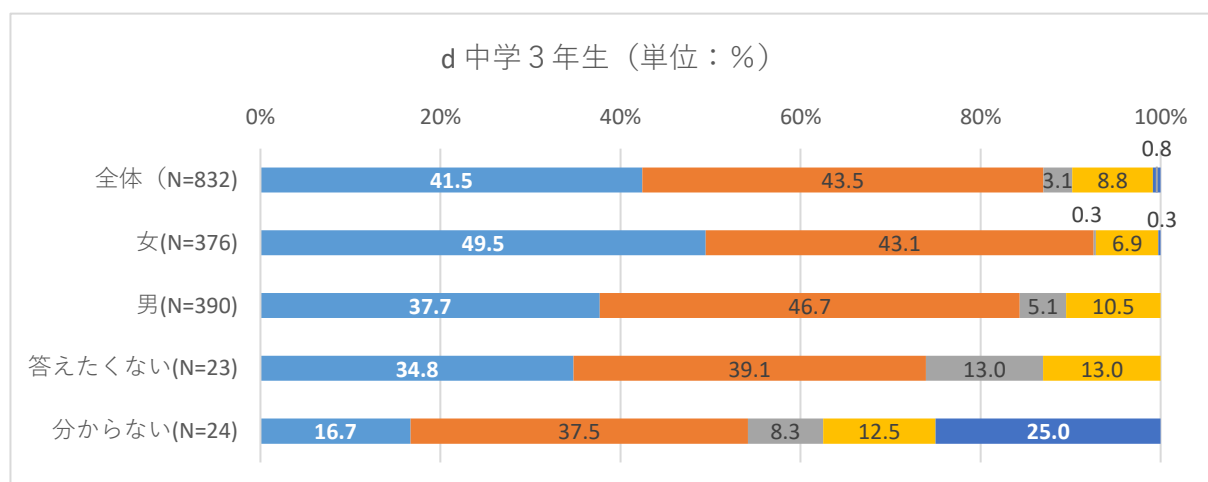
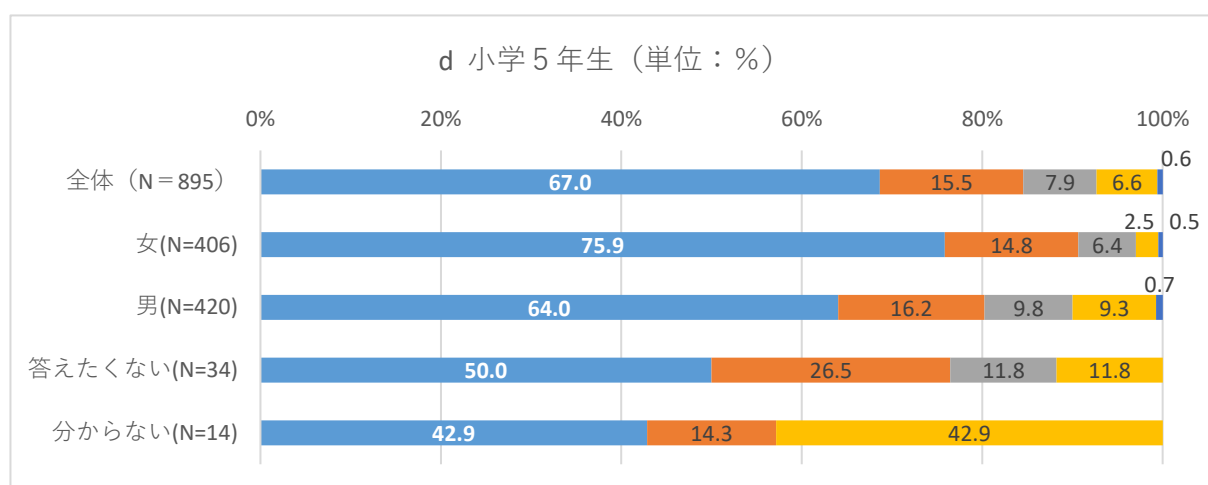
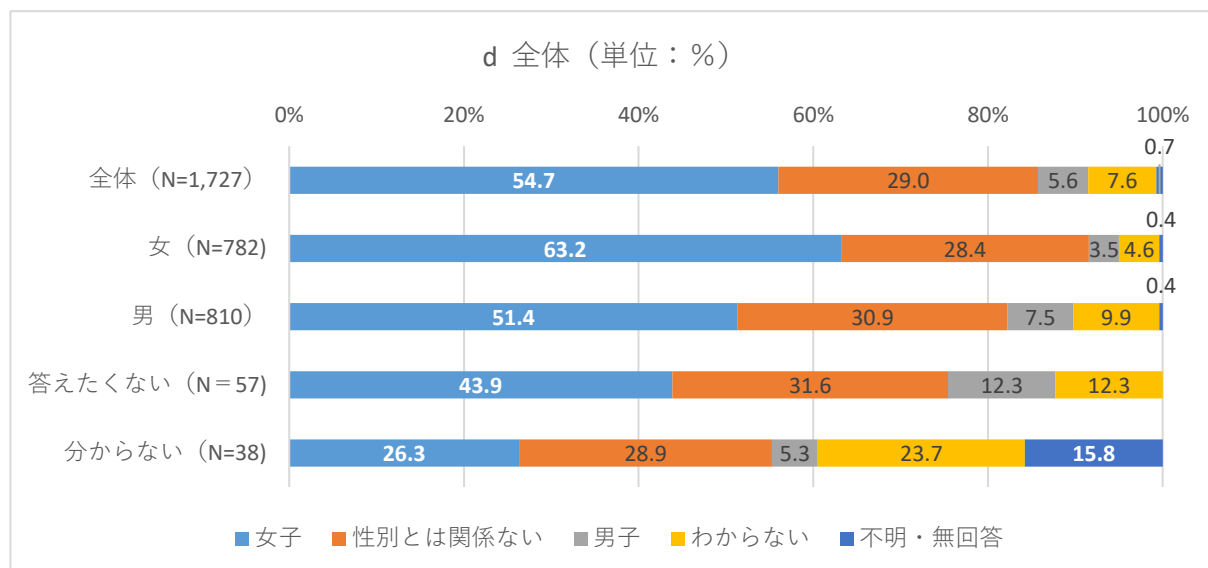
c ケンカが強い

全体では、「男子」が 50.3%と最も高く、次いで「性別とは関係ない」が 27.6%となっています。学年で見ると、小学5年生より中学3年生で、「性別とは関係ない」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると中学3年生の女子で、「性別とは関係ない」が高くなっています。中学3年生は、「性別とは関係ない」が全体的に高くなっています。



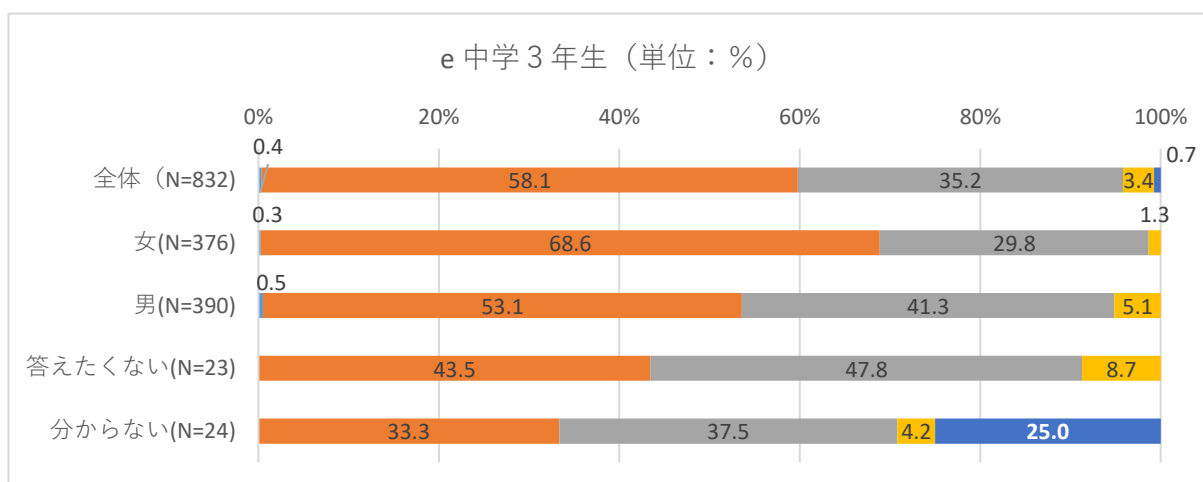
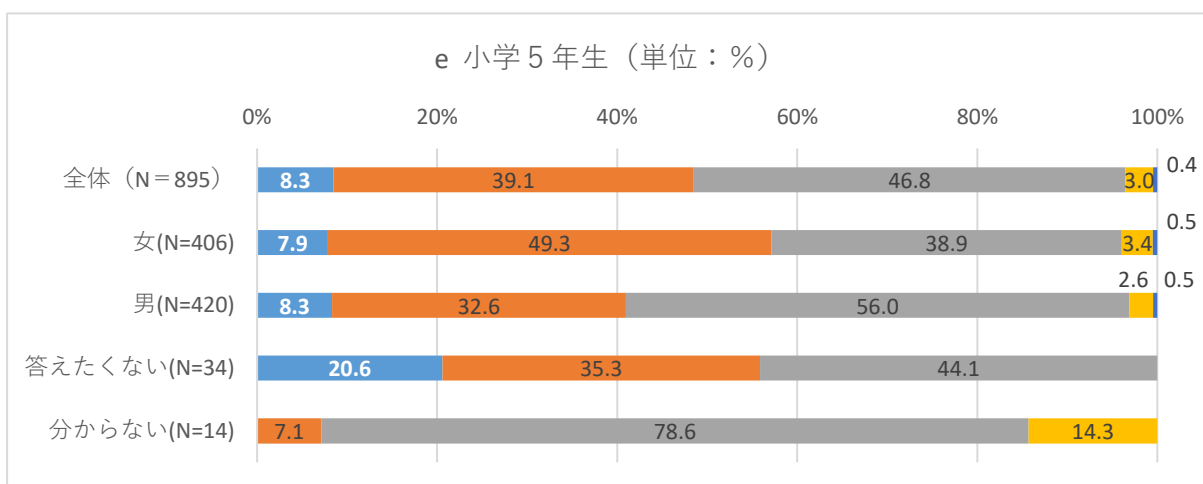
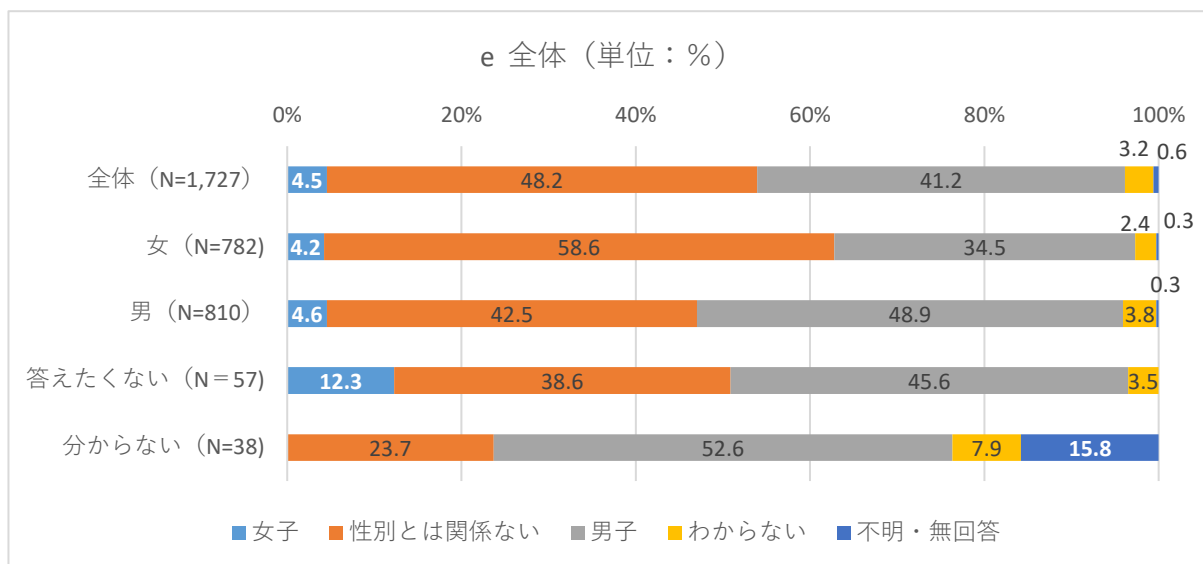
d おしゃれ

全体では、「女子」が54.7%と最も高く、次いで「性別とは関係ない」が29%となっています。学年で見ると、中学3年生より小学5年生で、「女子」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると小学5年生の女子で、「女子」が高くなっています。中学3年生は、「女子」と「性別とは関係ない」が高く、全体の8~9割を占めています。



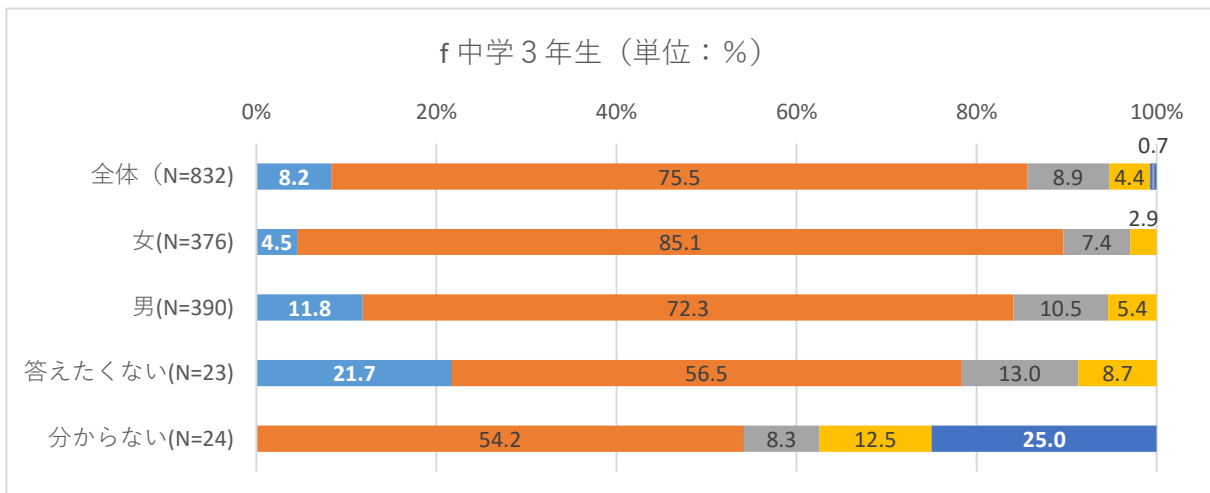
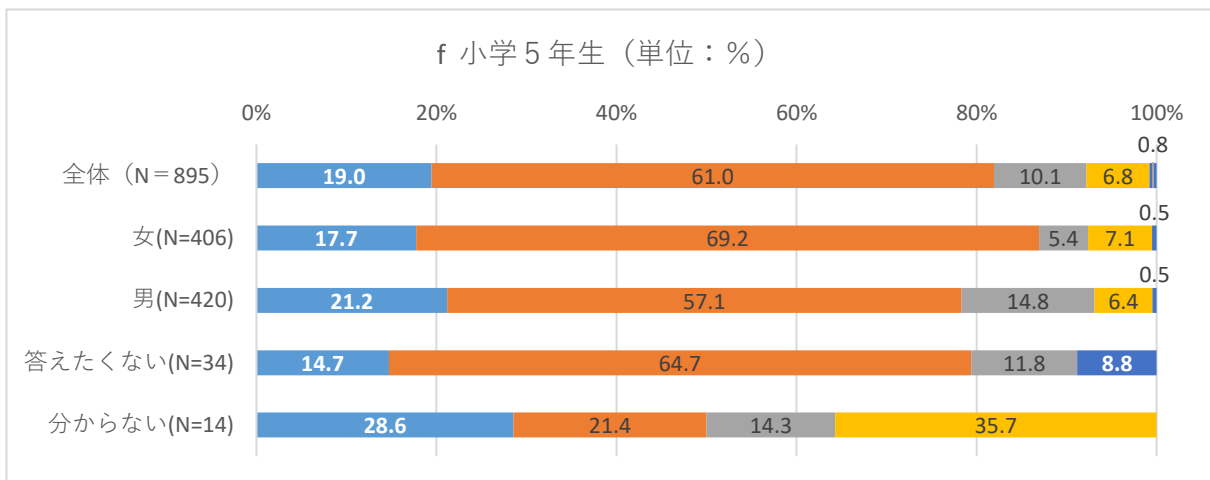
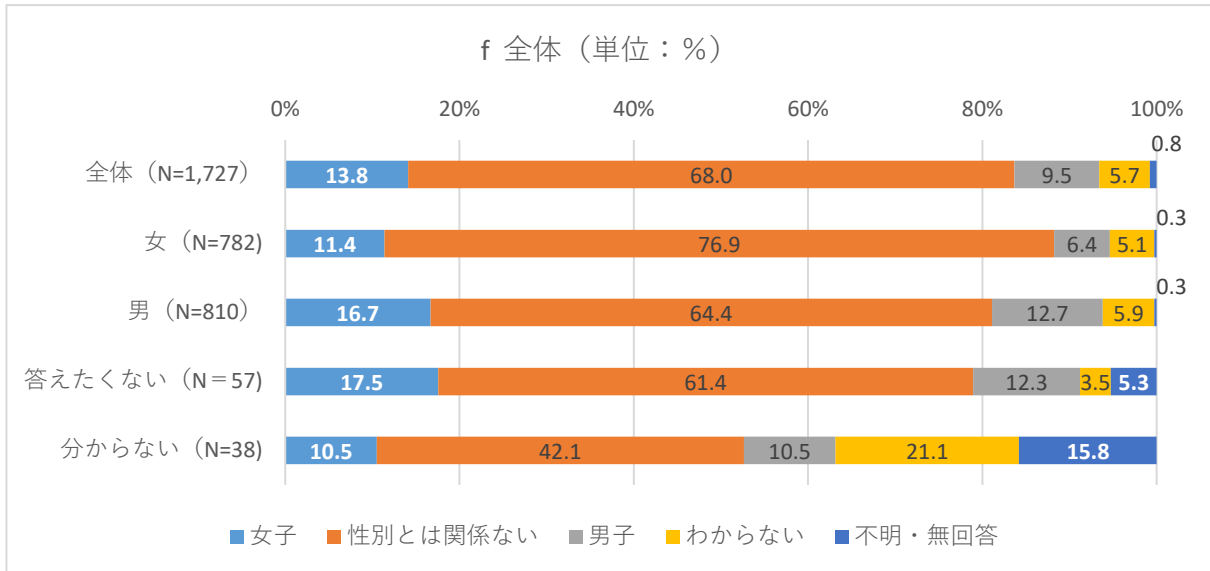
e スポーツが得意

全体では、「性別とは関係ない」が48.2%と最も高く、次いで「男子」が41.2%となっています。学年で見ると、小学5年生より中学3年生で、「性別とは関係ない」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると中学3年生の女子で、「性別とは関係ない」が高くなっています。中学3年生は、「性別とは関係ない」が全体的に高くなっています。



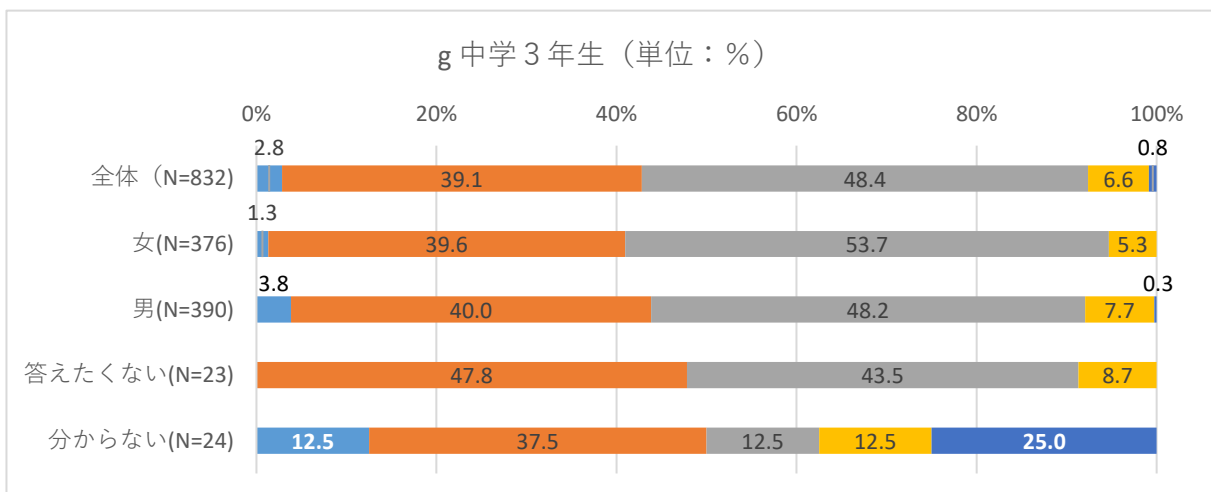
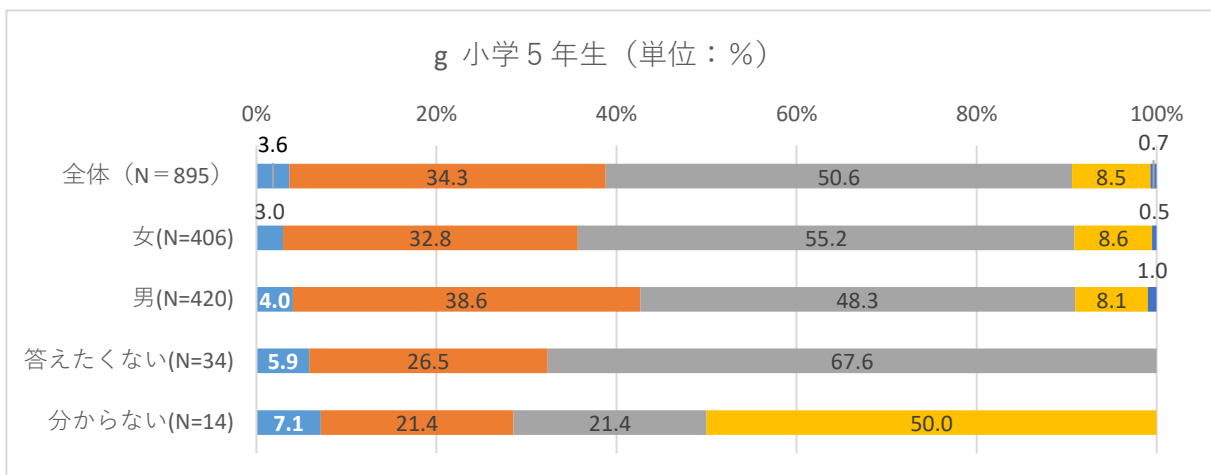
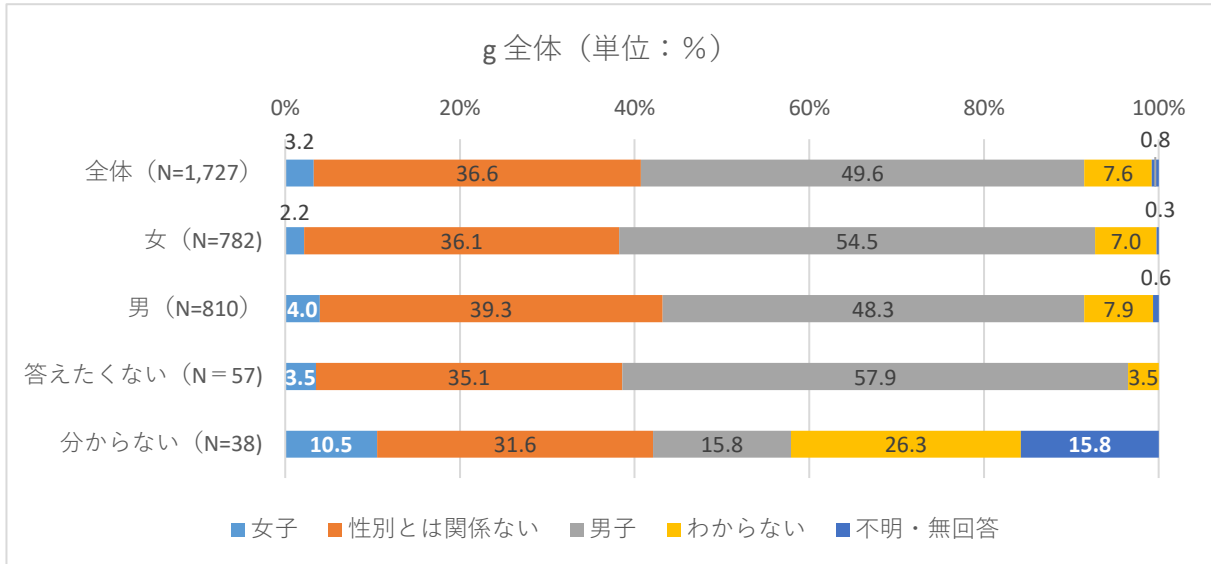
f 頭がいい

全体では、「性別とは関係ない」が68%と最も高く、次いで「女子」が13.8%となっています。学年で見ると、小学5年生より中学3年生で、「性別とは関係ない」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると中学3年生の女子で、「性別とは関係ない」が高くなっています。中学3年生は、「性別とは関係ない」が全体的に高くなっています。



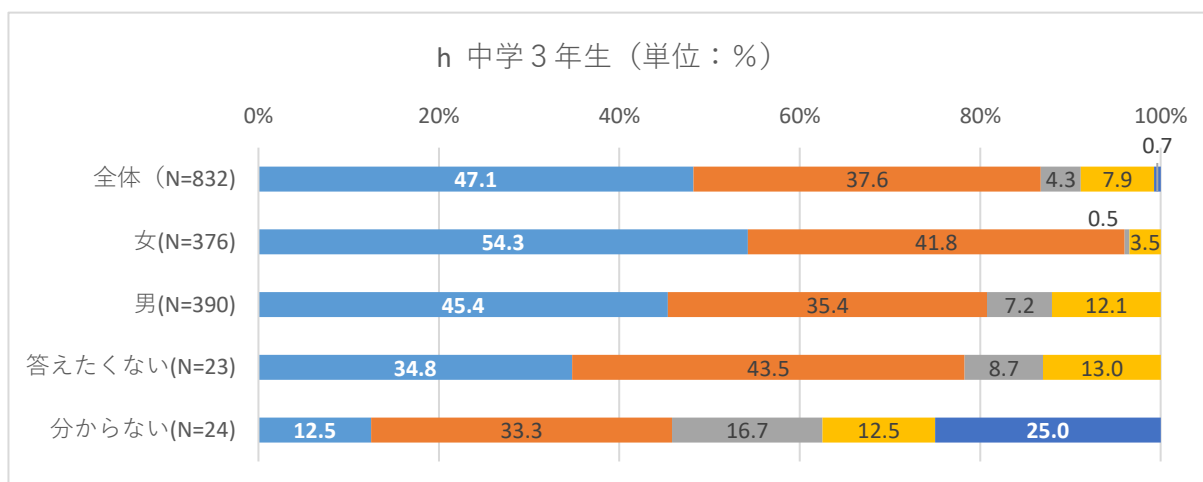
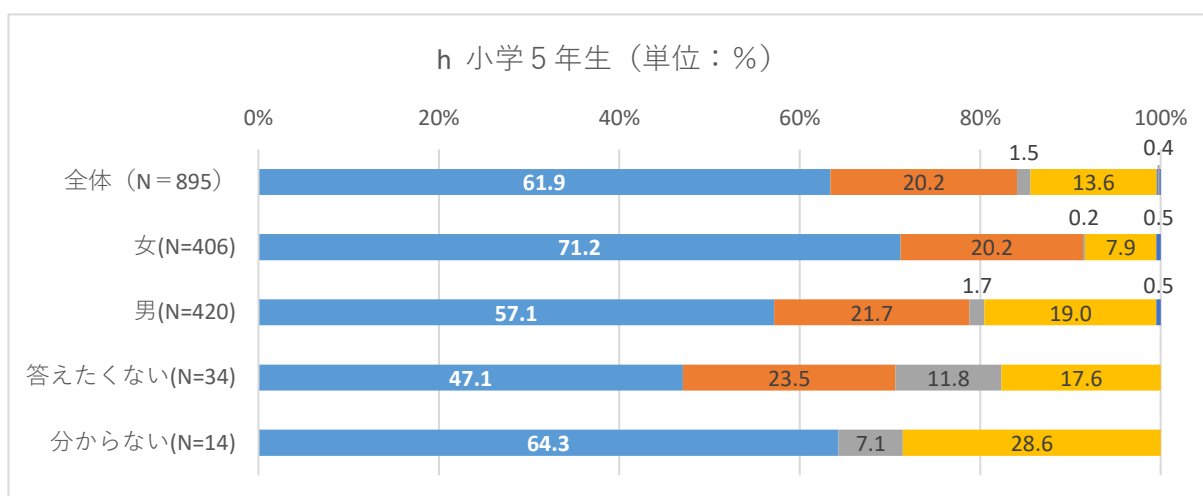
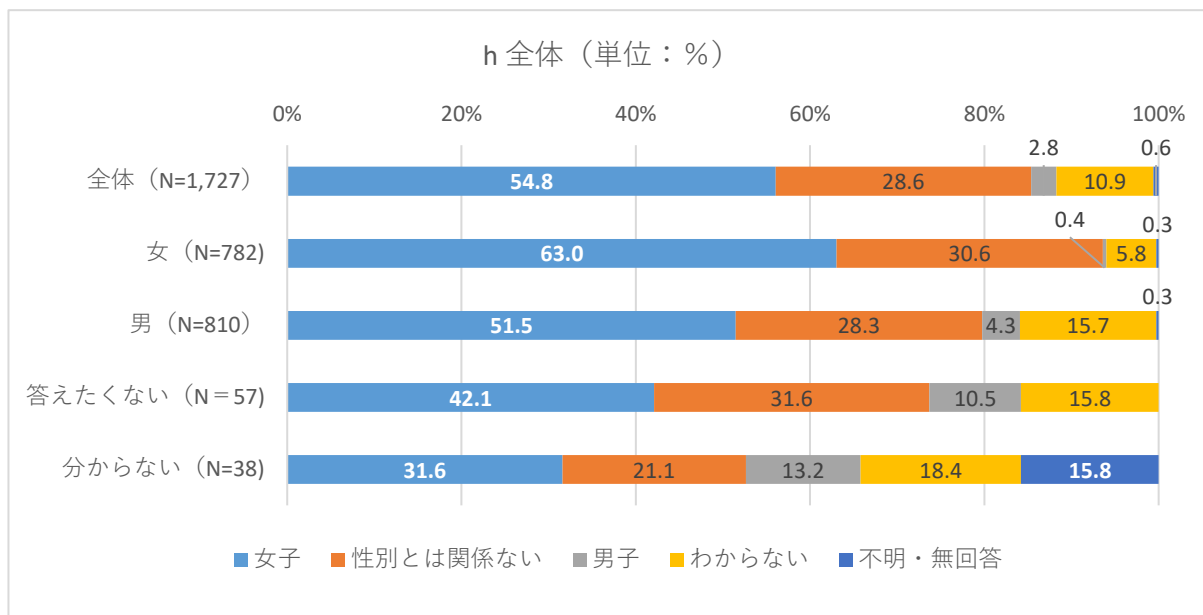
g たくましい

全体では、「男子」が49.6%と最も高く、次いで「性別とは関係ない」が36.6%となっています。学年で見ると、小学5年生より中学3年生で、「性別とは関係ない」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると小学5年生、中学3年生の女子で、「男子」が高くなっています。



h かわいい

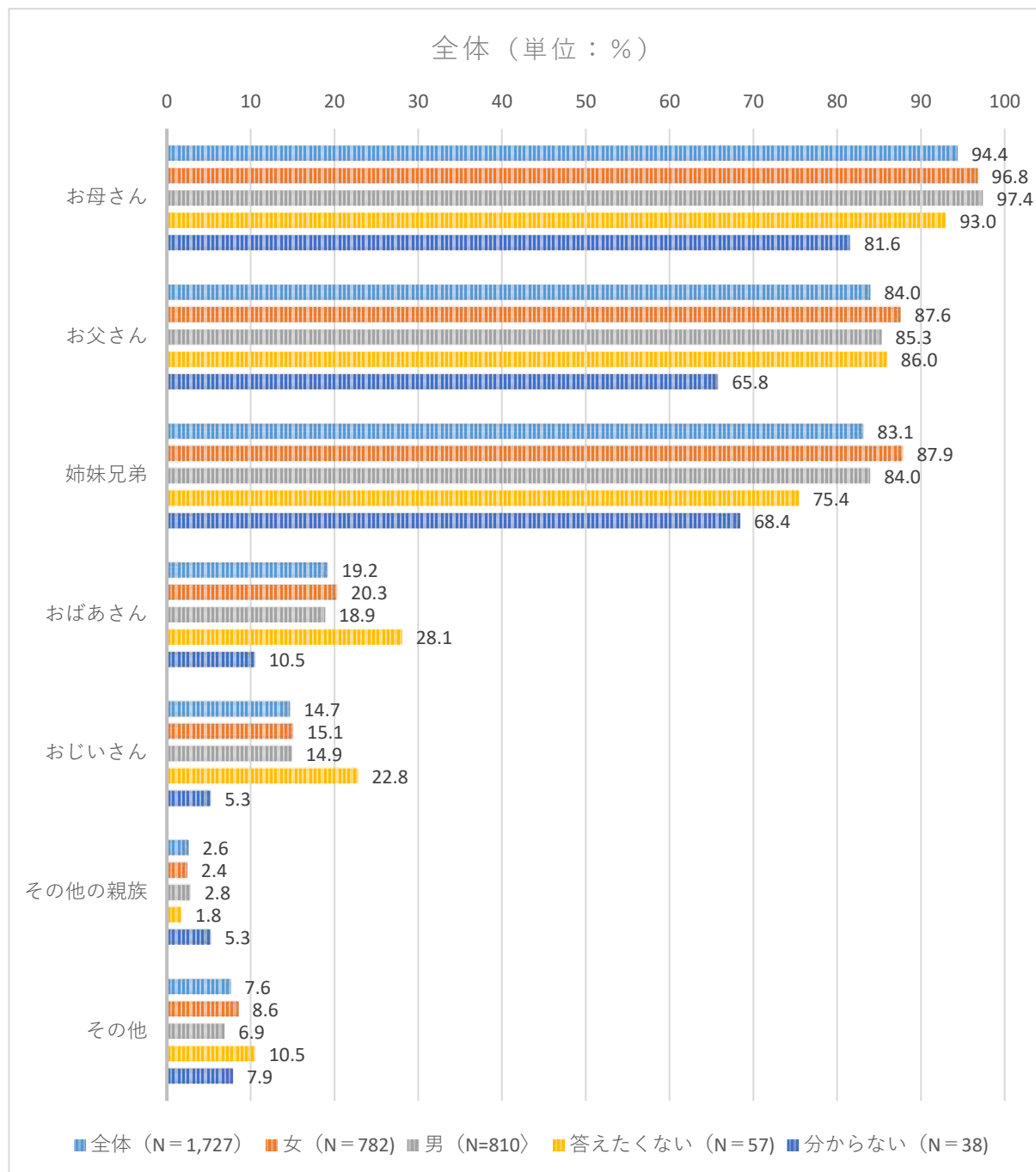
全体では、「女子」が 54.8%と最も高く、次いで「性別とは関係ない」が 28.6%となっています。学年で見ると、中学3年生より小学5年生で、「女子」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると小学5年生の女子で、「女子」が高くなっています。



あなたの家のことを教えてください。

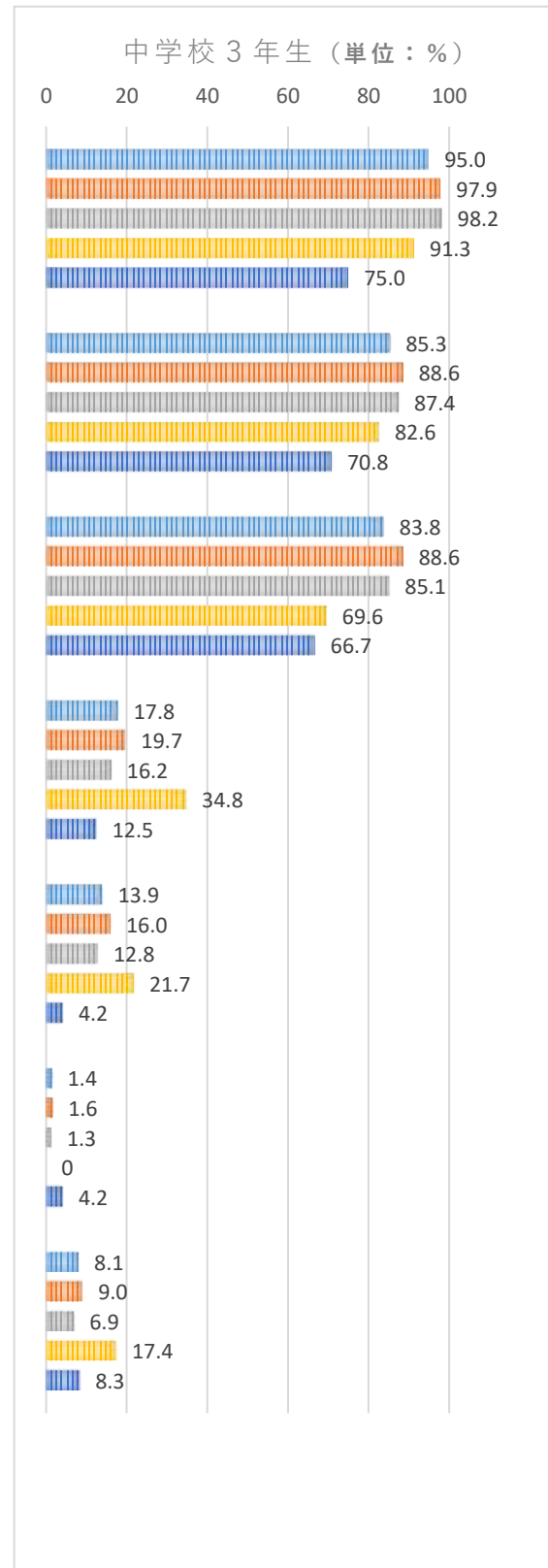
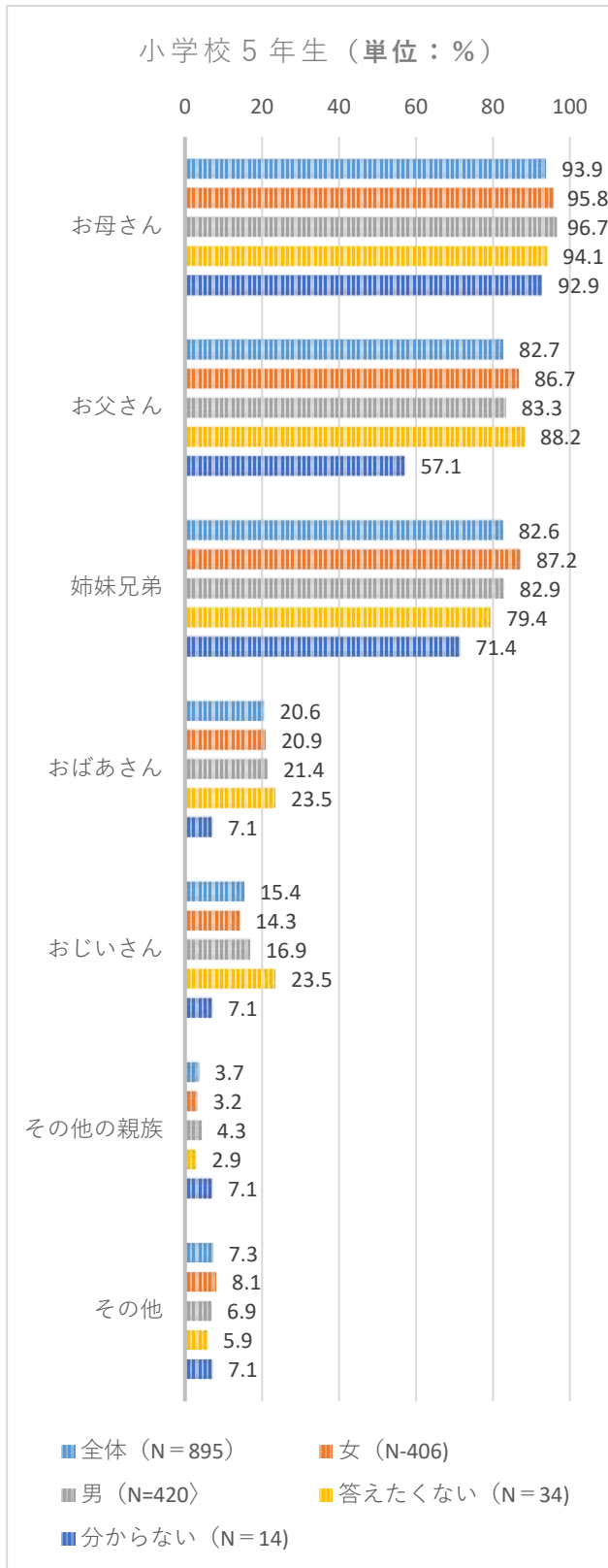
問6 あなたが同居している家族はだれですか。

小学5年生、中学3年生ともに「お母さん」が最も高く、次いで「お父さん」「兄弟姉妹」となっています。



【上位3つ】

	全 体				
	全体	女子	男子	答えたくない	分からない
1 位	お母さん	お母さん	お母さん	お母さん	お母さん
2 位	お父さん	姉妹兄弟	お父さん	お父さん	姉妹兄弟
3 位	兄弟姉妹	お父さん	姉妹兄弟	姉妹兄弟	お父さん



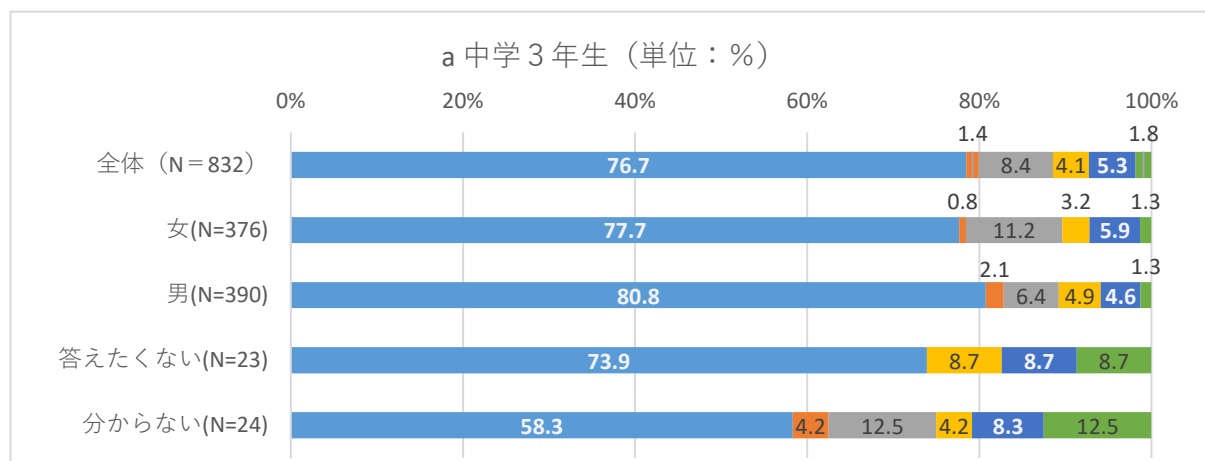
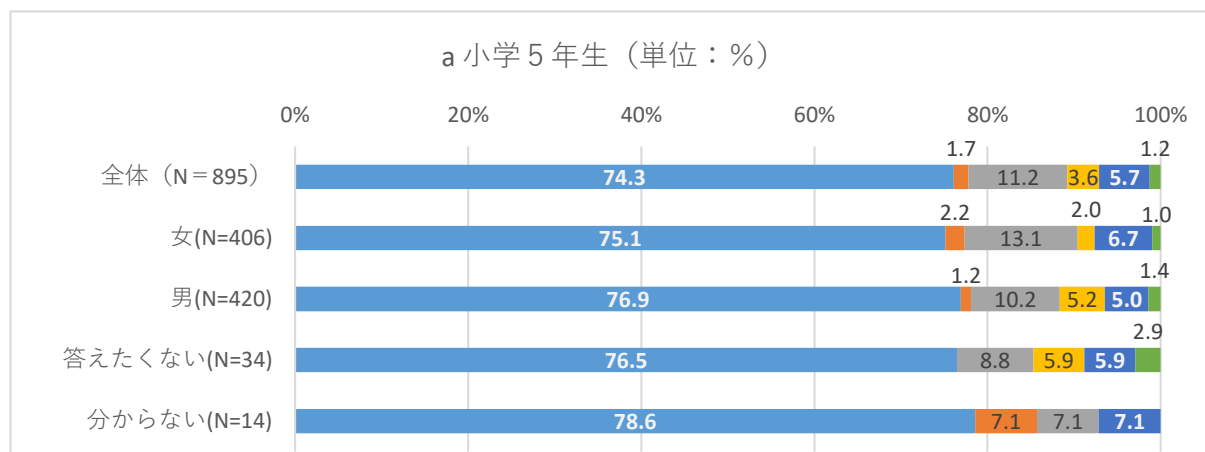
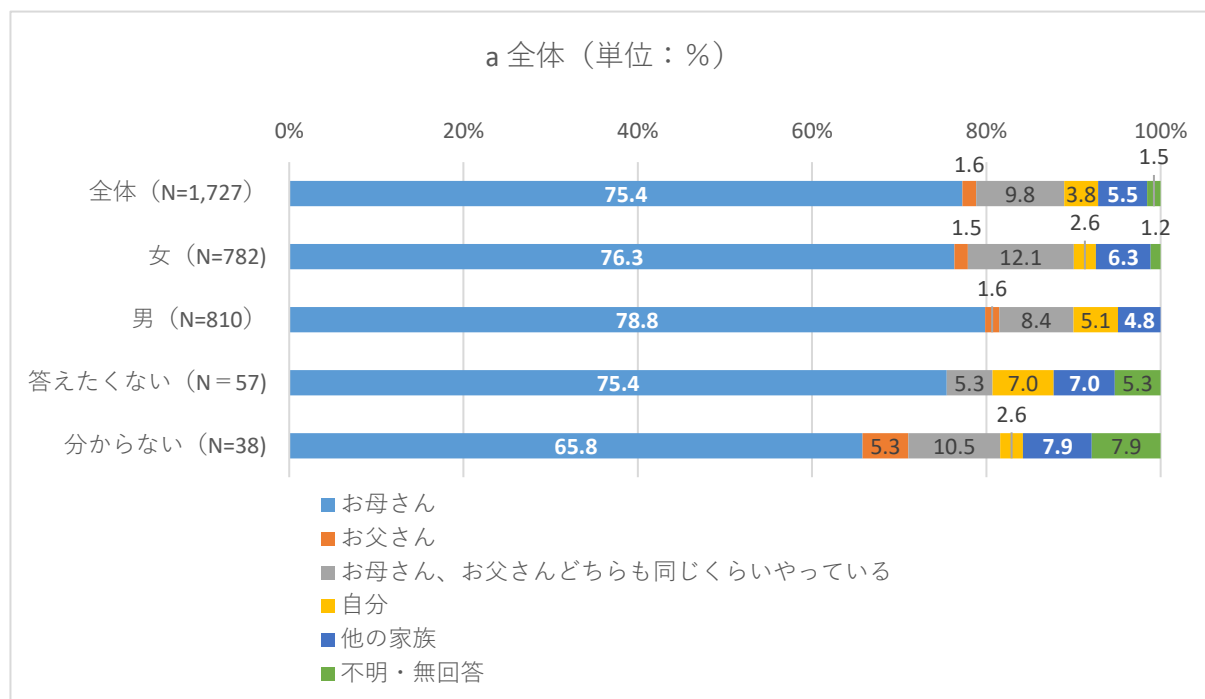
【上位3つ】

	小学5年生				中学3年生			
	女子	男子	答えたくない	分からない	女子	男子	答えたくない	分からない
1位	お母さん	お母さん	お母さん	お母さん	お母さん	お母さん	お母さん	お母さん
2位	姉妹兄弟	お父さん	お父さん	姉妹兄弟	お父さん 姉妹兄弟	お父さん	お父さん	お父さん
3位	お父さん	姉妹兄弟	姉妹兄弟	お父さん	おばあさん	姉妹兄弟	姉妹兄弟	姉妹兄弟

問7 あなたの家では、次のことは主にだれがやっていますか。

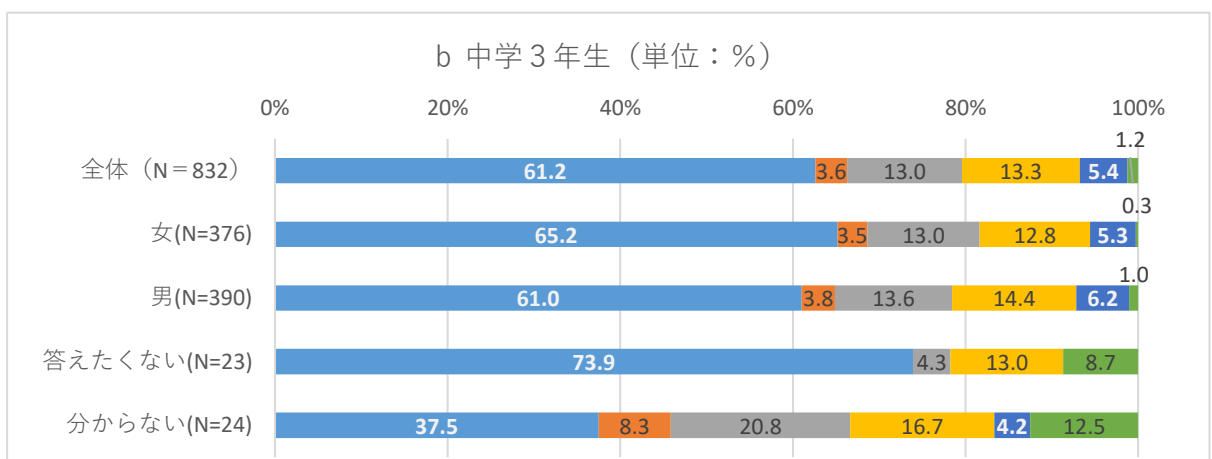
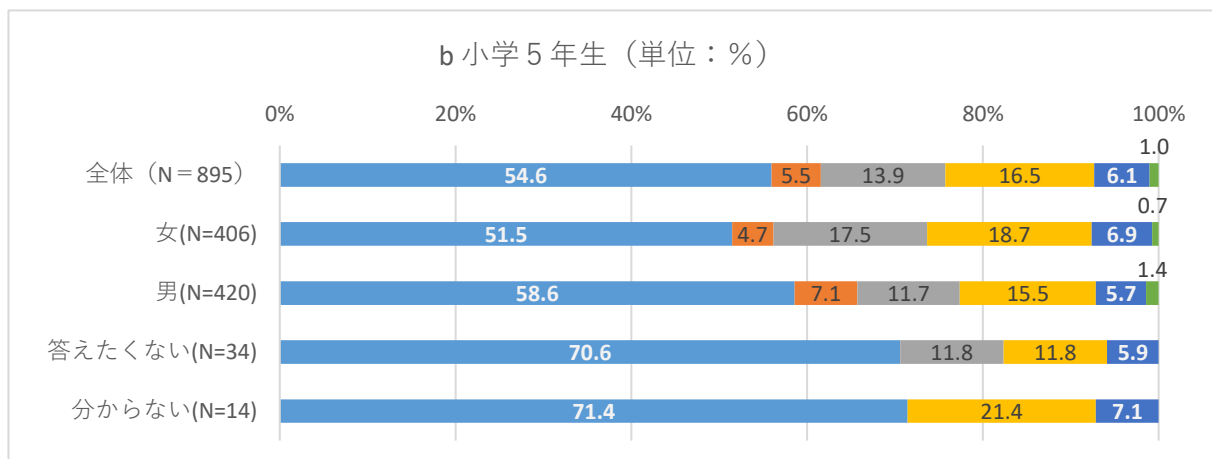
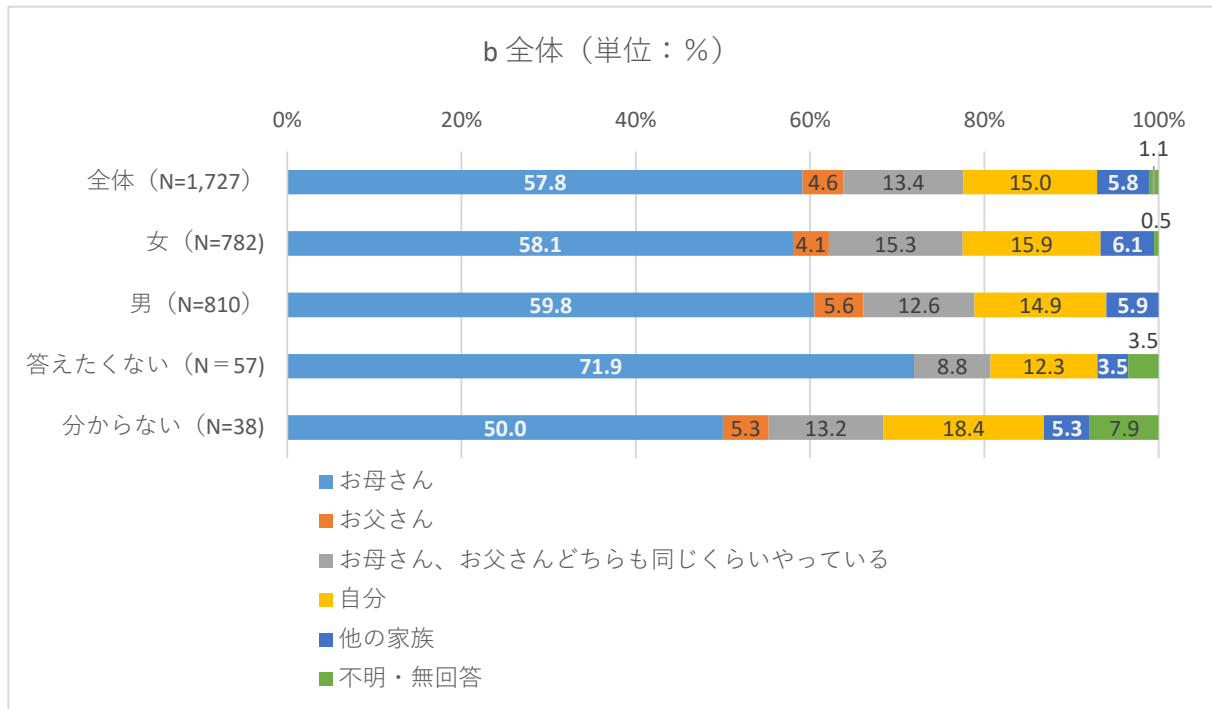
a 夕食のしたく

全体では、「お母さん」が 75.4%と最も高く、次いで「お母さん・お父さんどちらも同じくらいやっている」が9.8%となっています。学年、性別いずれも「お母さん」が最も高くなっています。



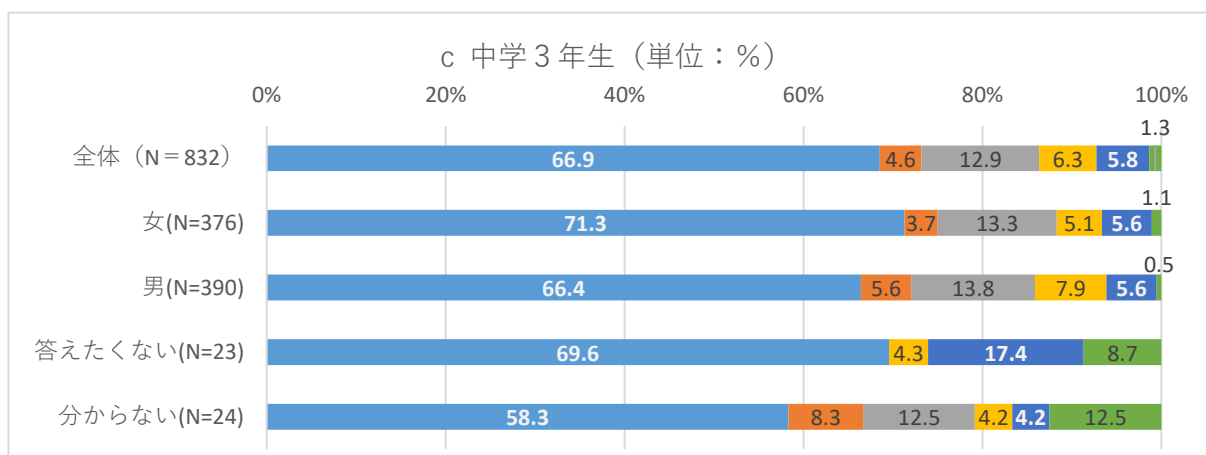
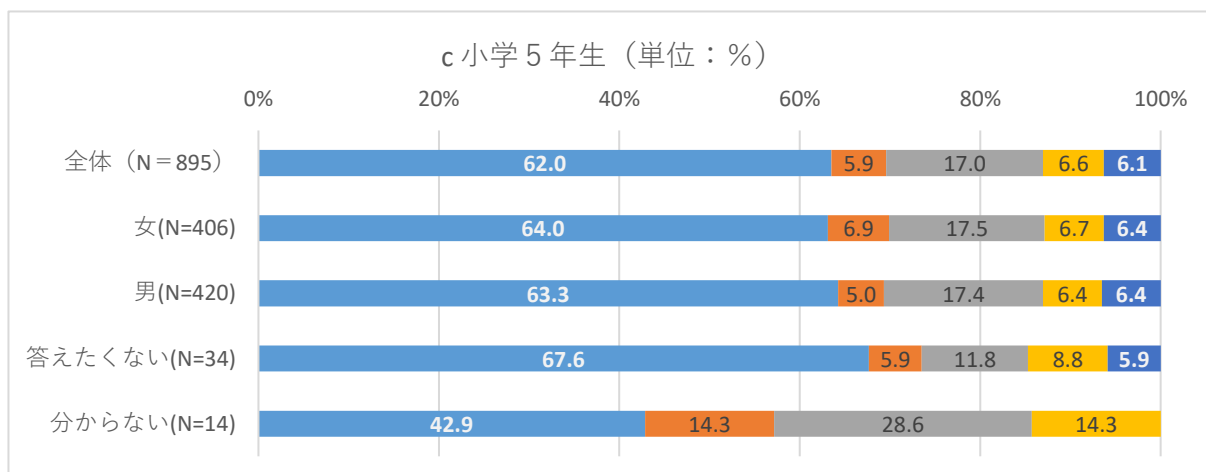
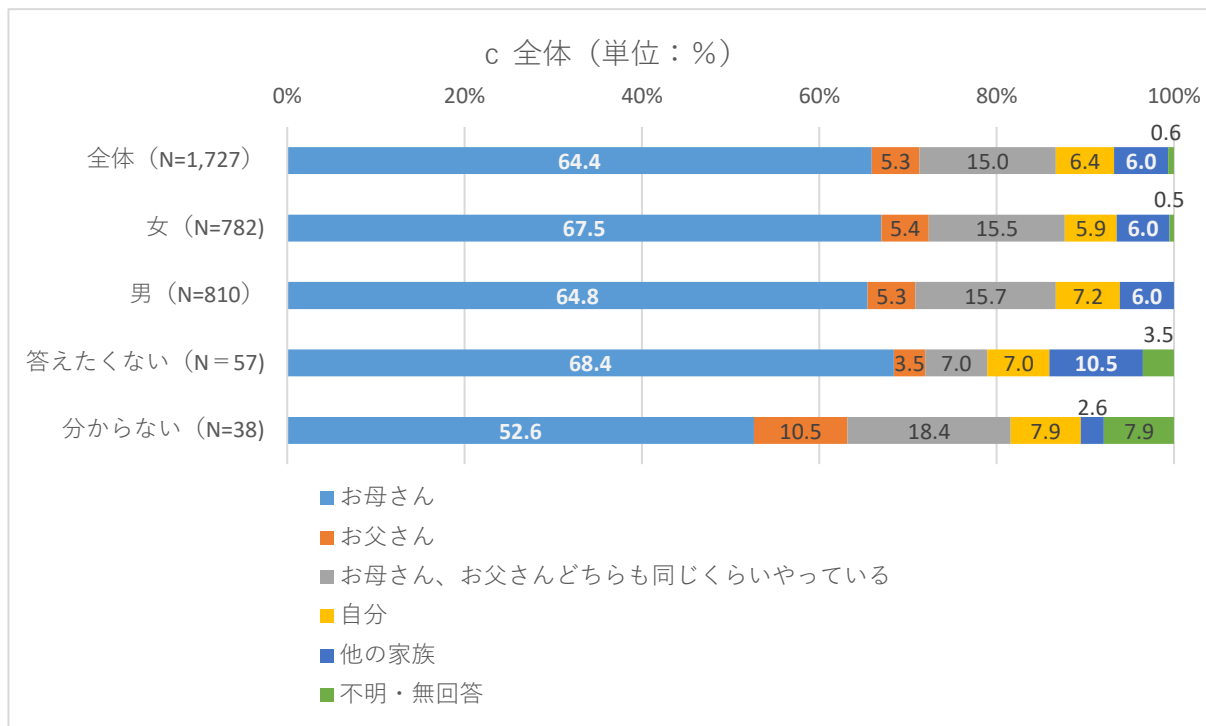
b 夕食のかたづけ

全体では、「お母さん」が 57.8%と最も高く、次いで「自分」が 15%となっています。学年、性別いずれも「お母さん」が最も高くなっています。



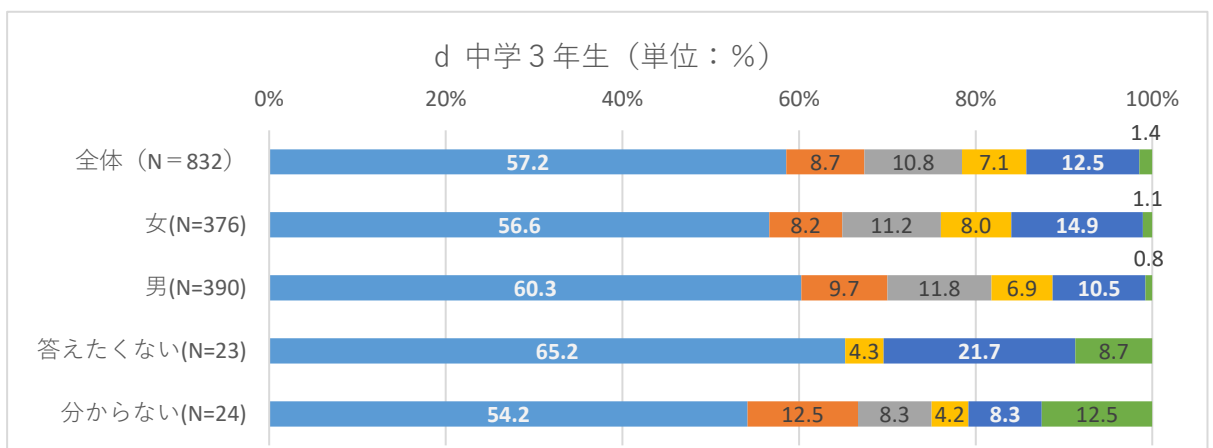
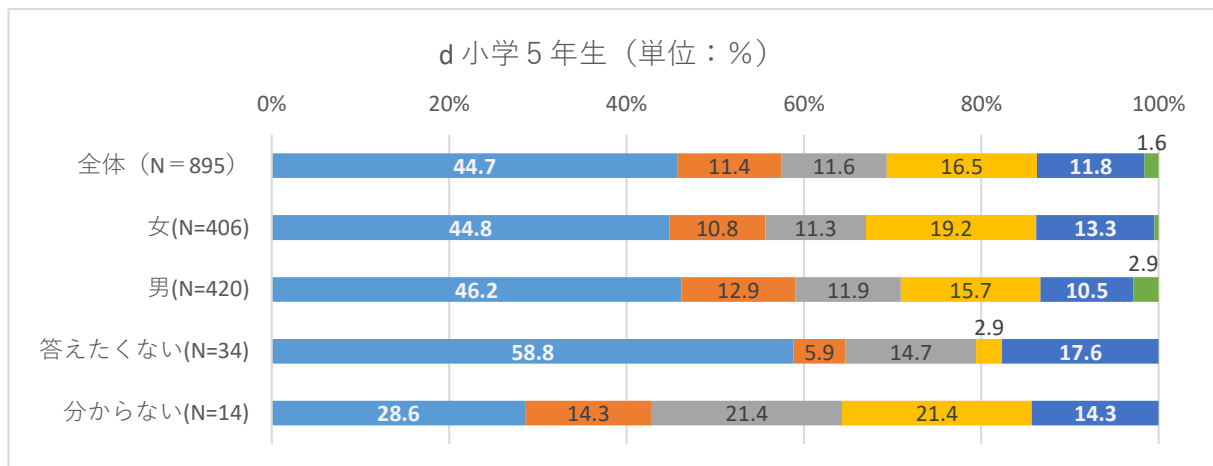
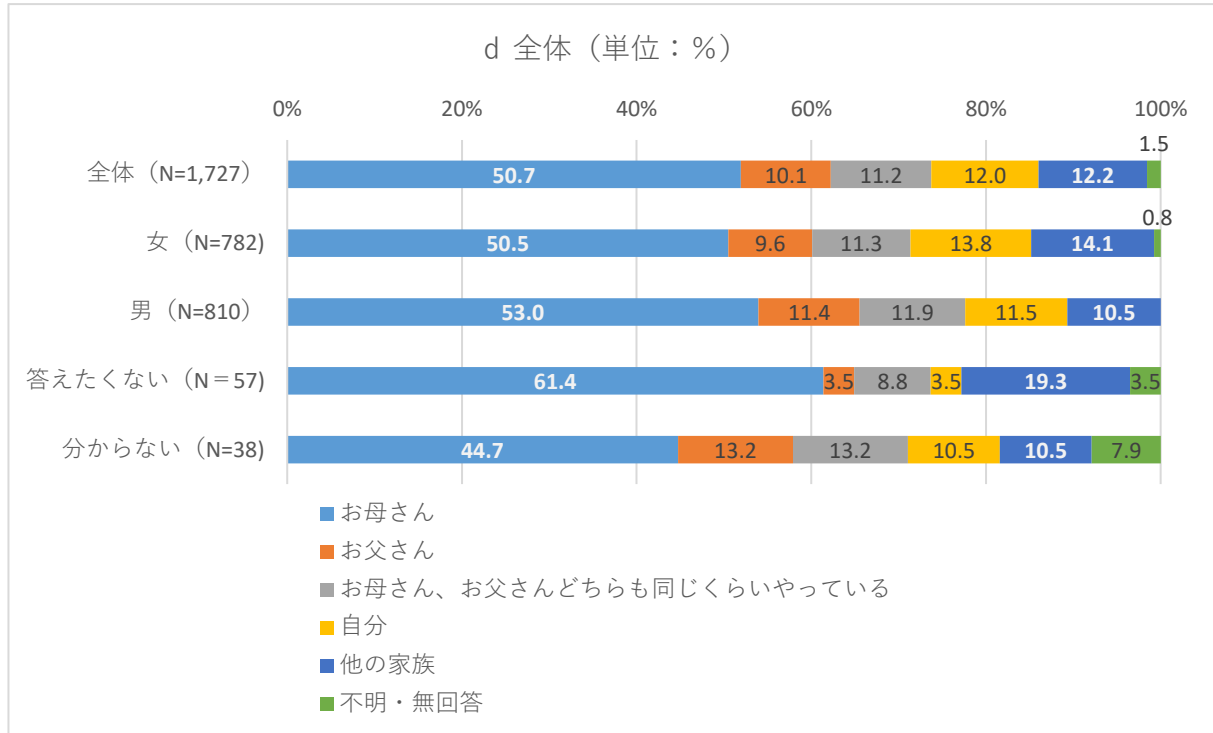
c 家の中の掃除

全体では、「お母さん」が 64.4%と最も高く、次いで「お母さん・お父さんどちらも同じくらいやっている」が 15%となっています。学年、性別いずれも「お母さん」が最も高くなっています。



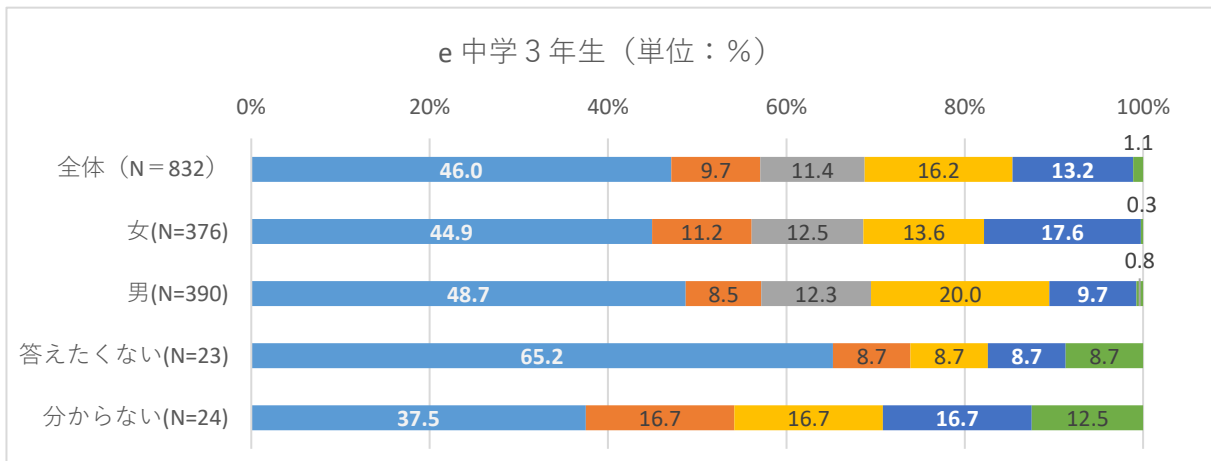
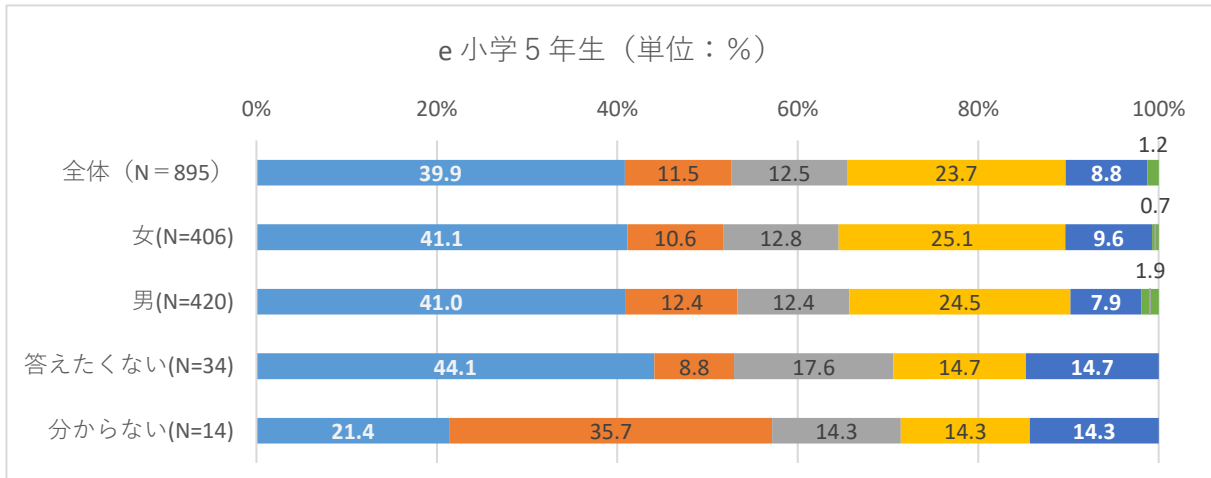
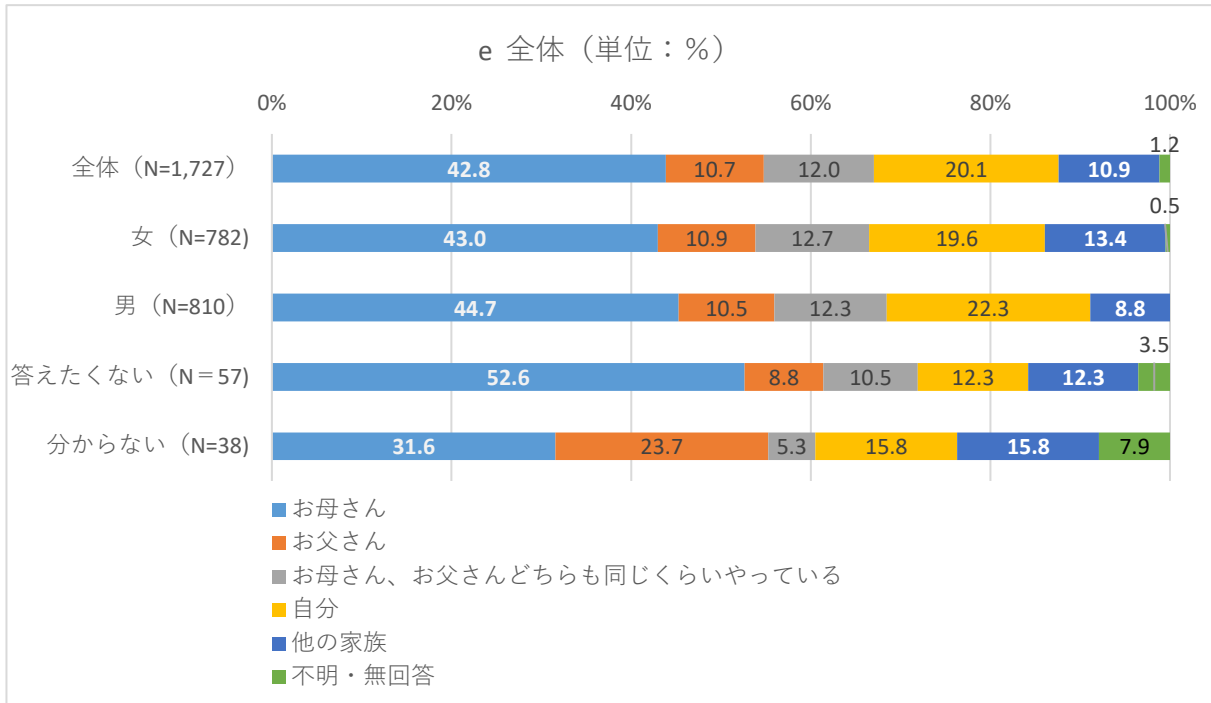
d 庭や玄関の掃除

全体では、「お母さん」が50.7%と最も高く、次いで「他の家族」が12.2%となっています。学年で見ると、小学5年生で「自分」、中学3年生で「お母さん」が高くなっています。



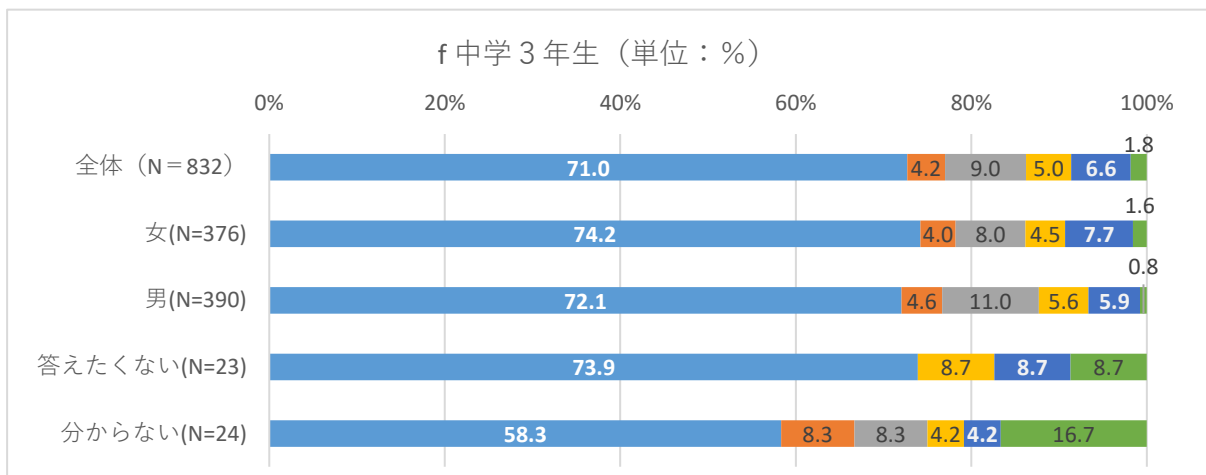
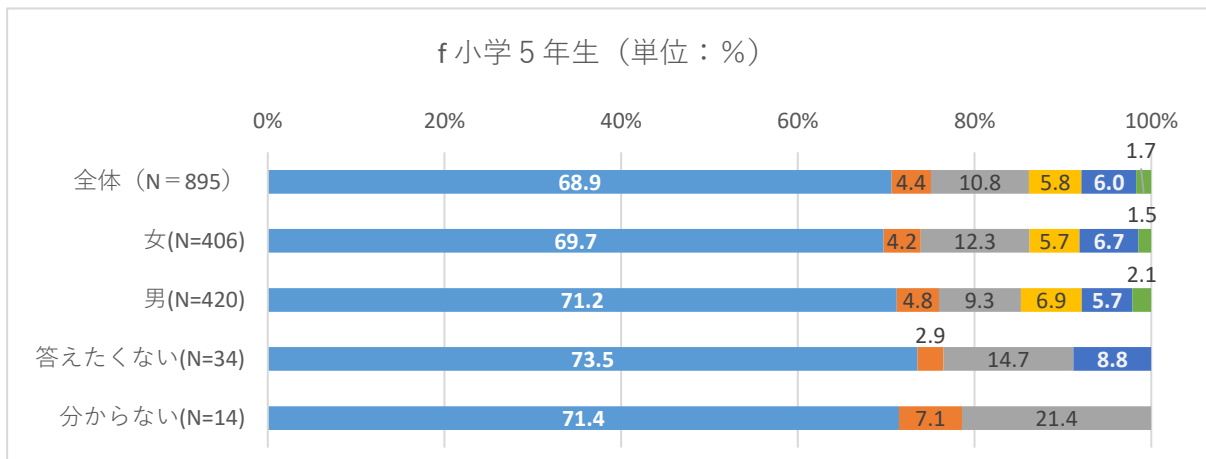
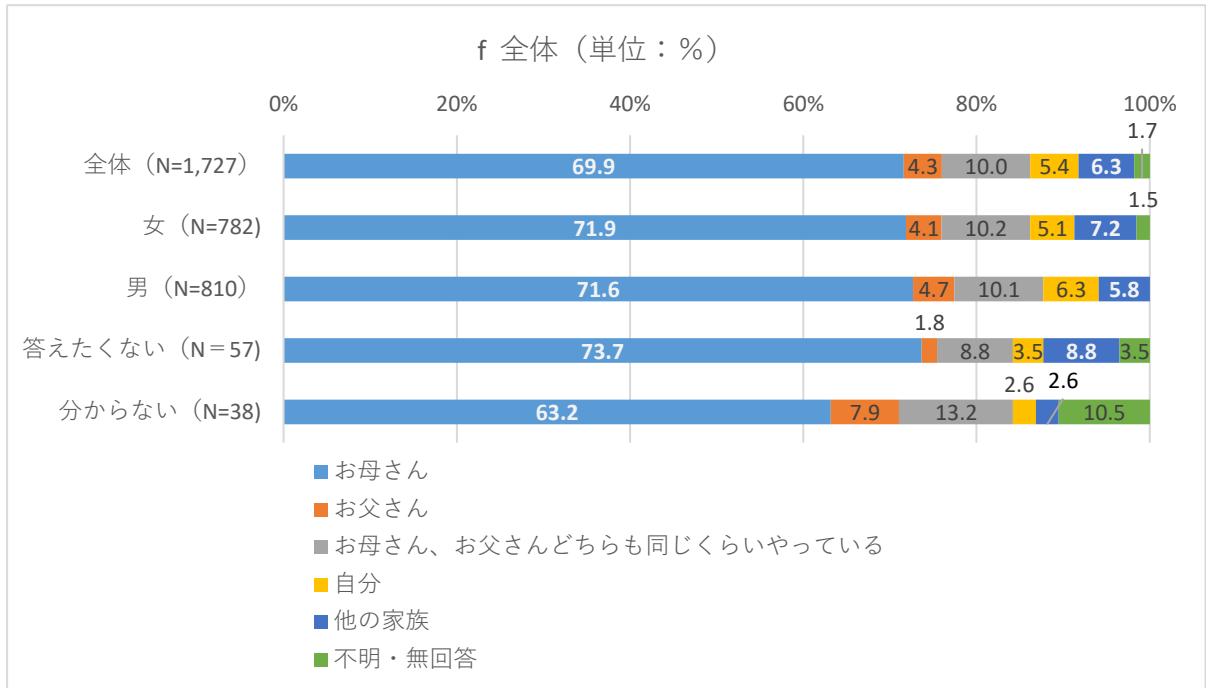
e 風呂やトイレの掃除

全体では、「お母さん」が 42.8%と最も高く、次いで「自分」が 20.1%となっています。学年で見ると、小学5年生で「自分」、中学3年生で「お母さん」が高くなっています。



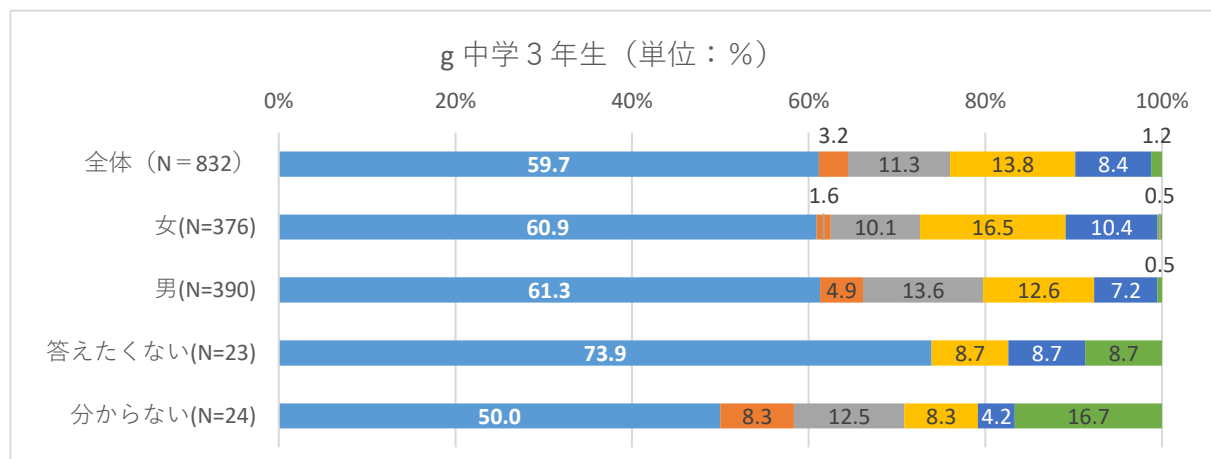
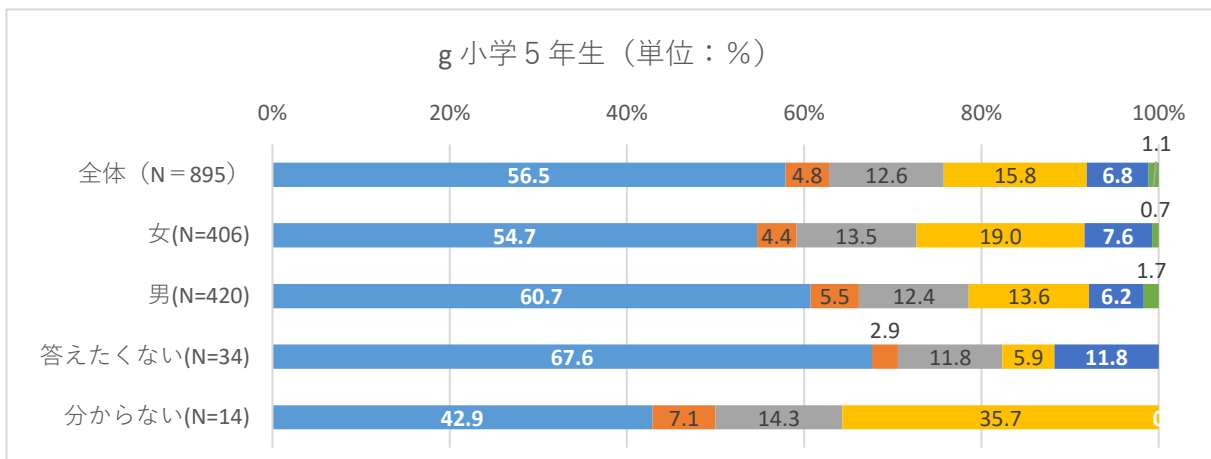
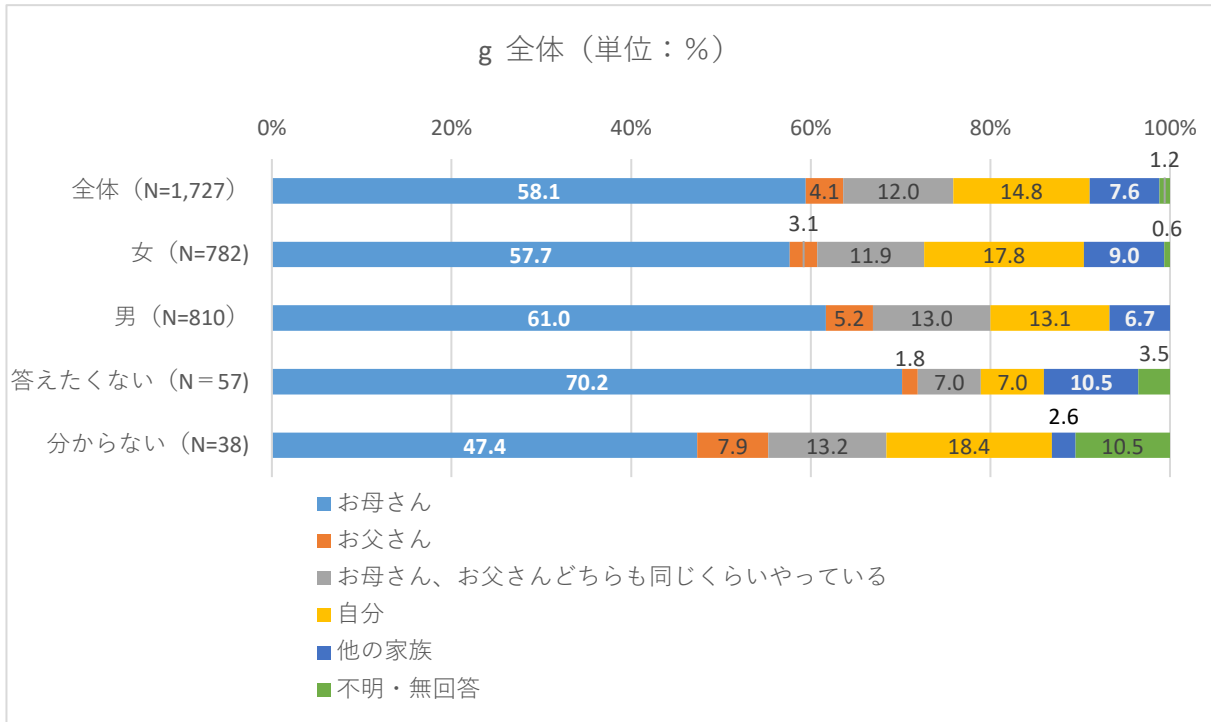
f せたく物を干す

全体では、「お母さん」が 69.9%と最も高く、次いで「お母さん・お父さんどちらも同じくらいやっている」が 10%となっています。学年、性別いずれも「お母さん」が最も高くなっています。



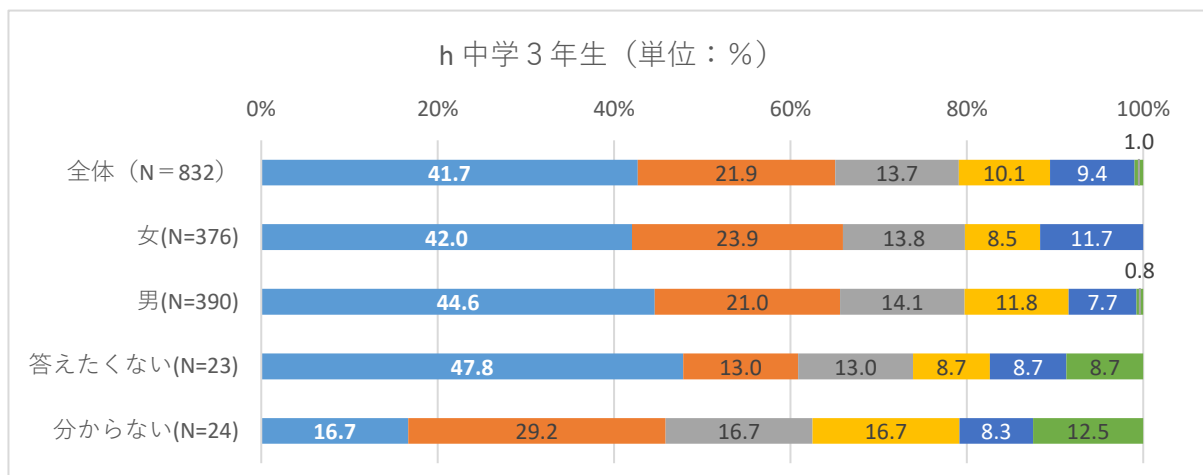
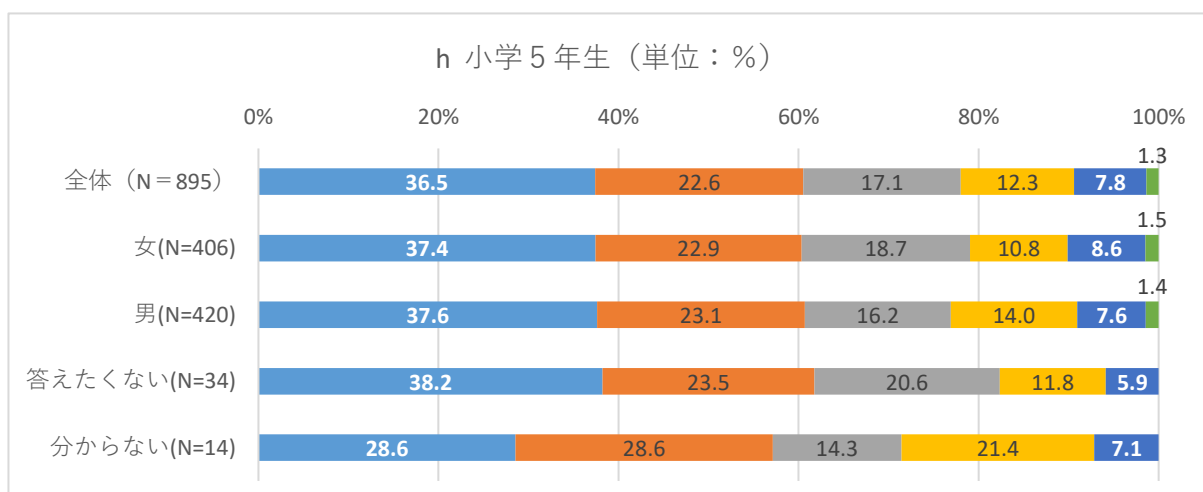
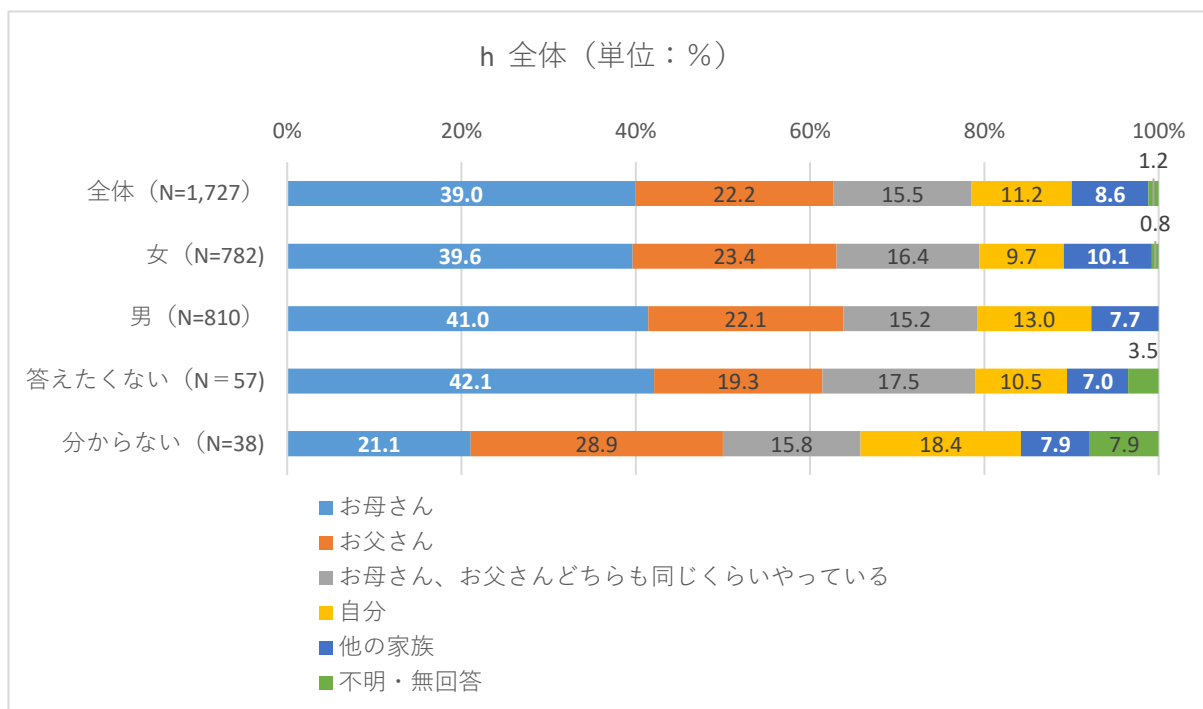
g せたく物の取り入れやたむこと

全体では、「お母さん」が 58.1%と最も高く、次いで「自分」が 14.8%となっています。学年、性別いずれも「お母さん」が最も高くなっています。



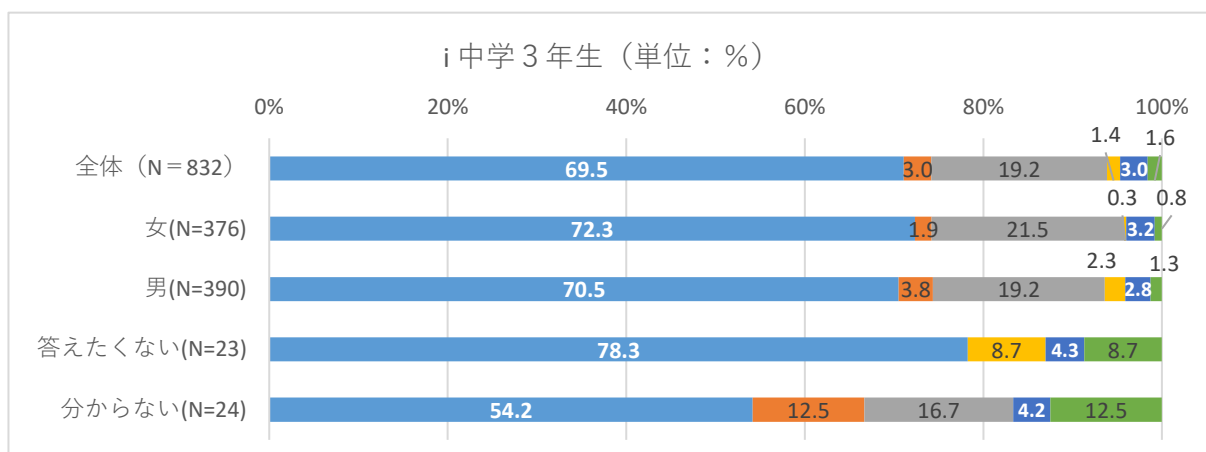
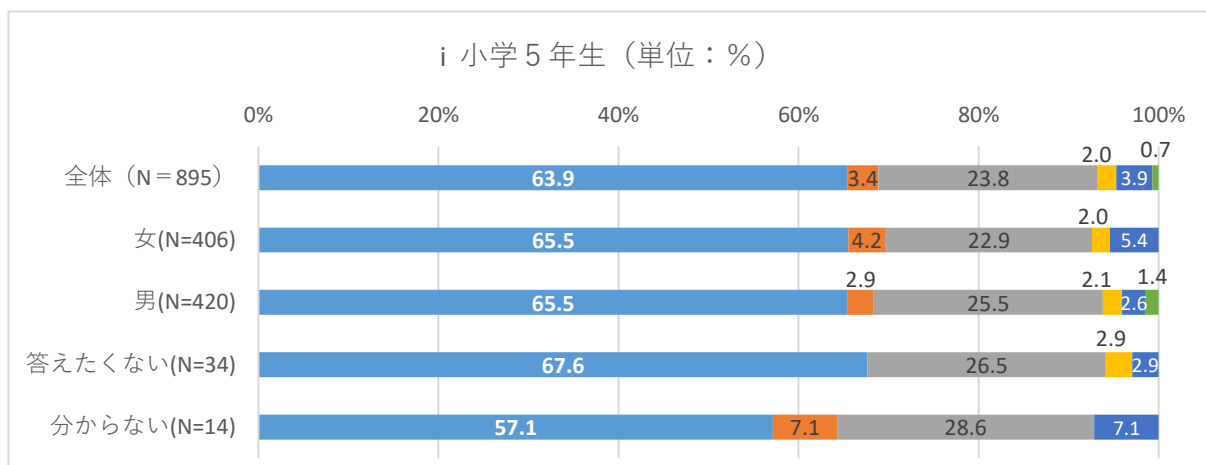
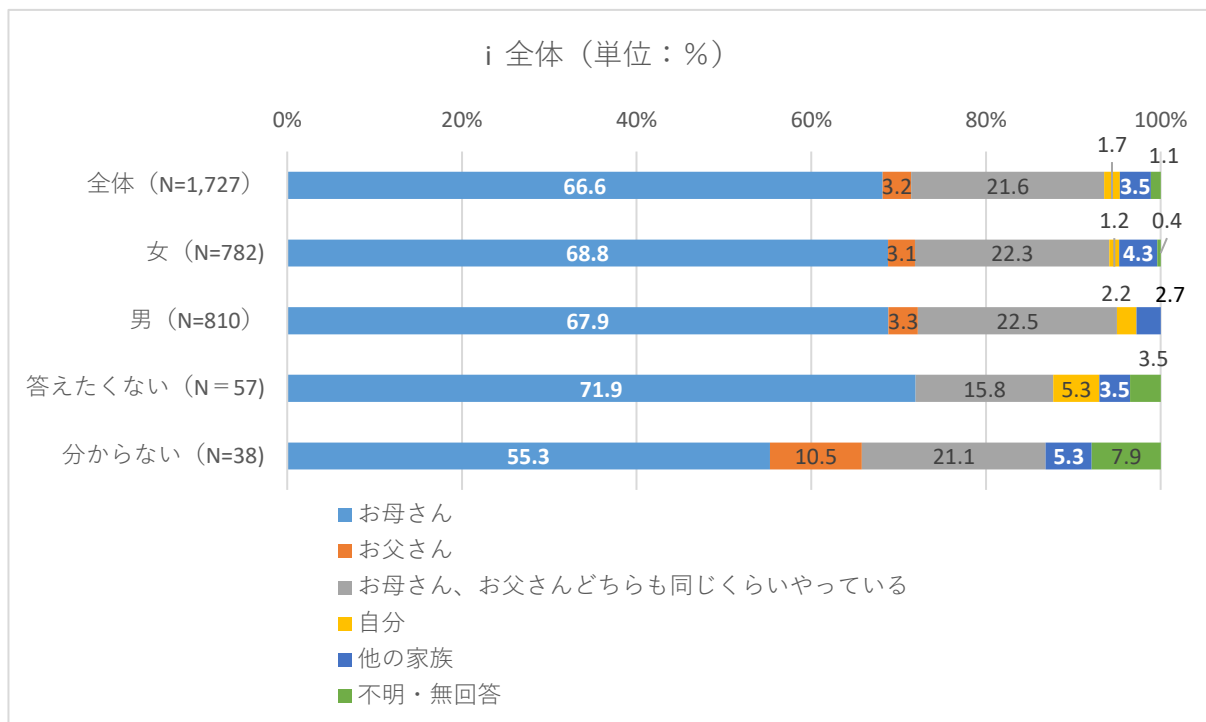
h ごみを出す

全体では、「お母さん」が 39%と最も高く、次いで「お父さん」が 22.2%となっています。学年で見ると、小学5年生・中学3年生ともに「女子」より「男子」で「自分」が高くなっています。



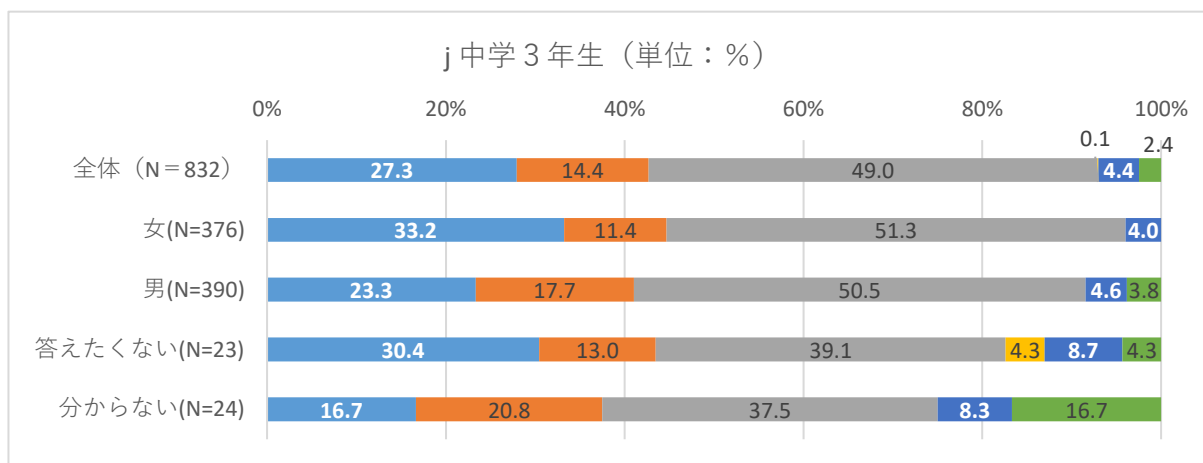
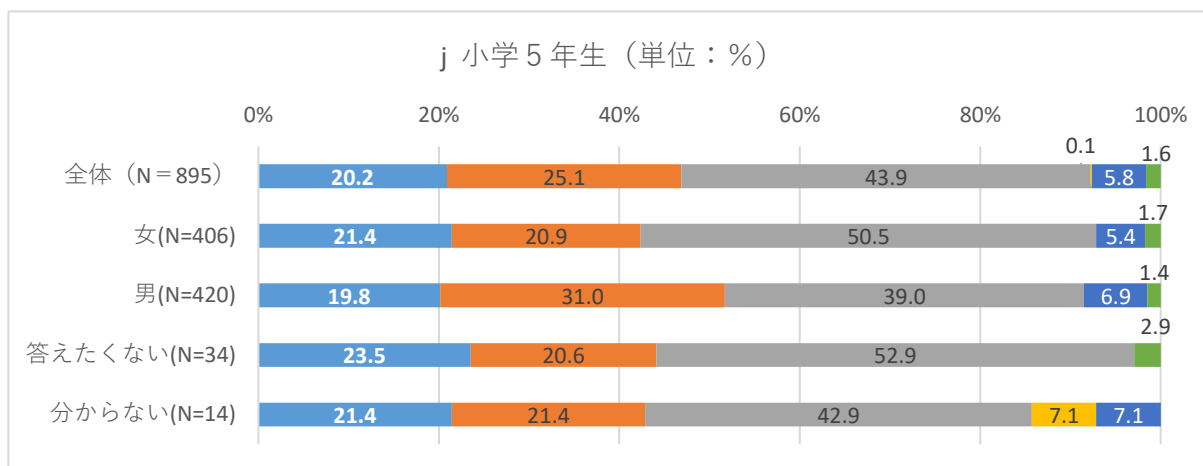
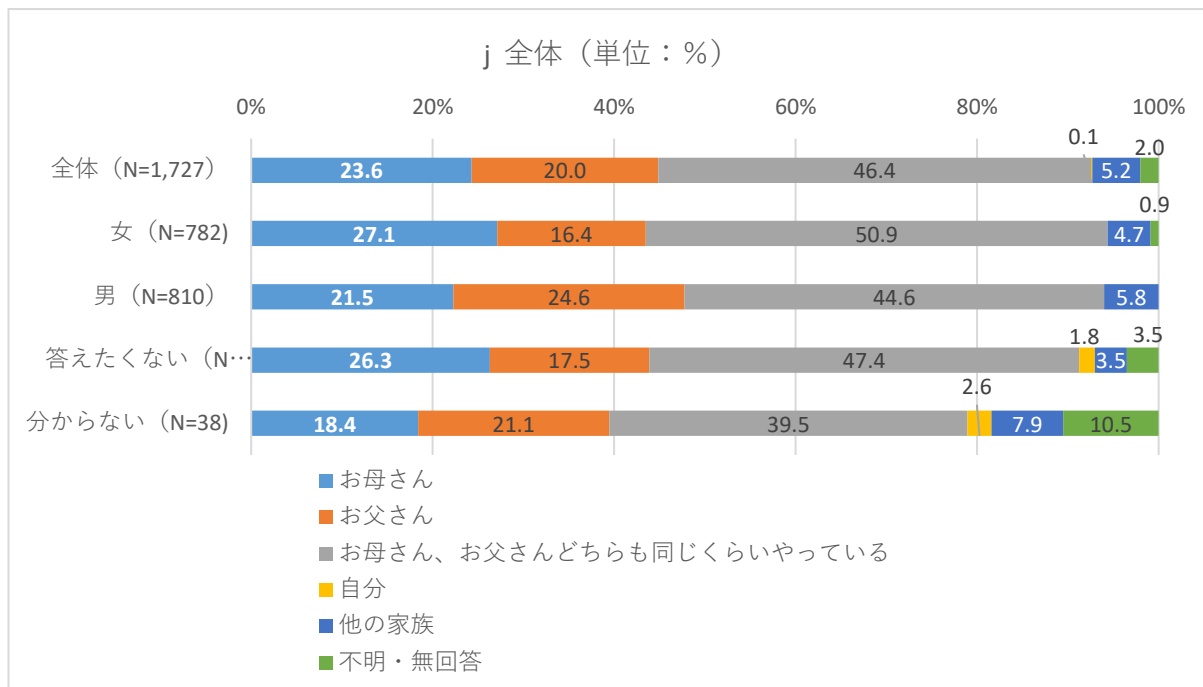
i 買い物

全体では、「お母さん」が 66.6%と最も高く、次いで「お母さん、お父さんどちらも同じくらいやっている」が 21.6%となっています。学年、性別いずれも「お母さん」が最も高くなっています。



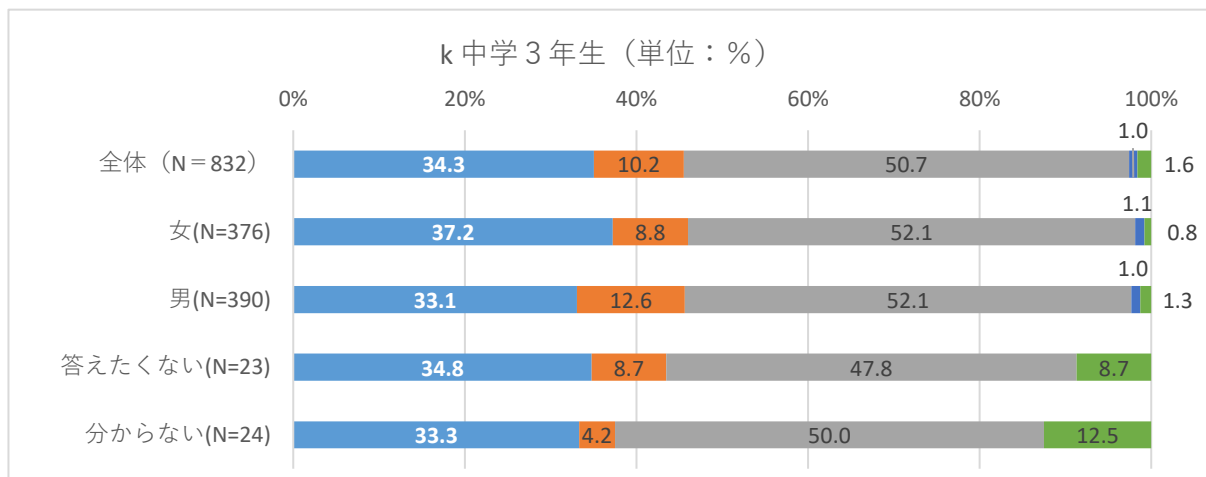
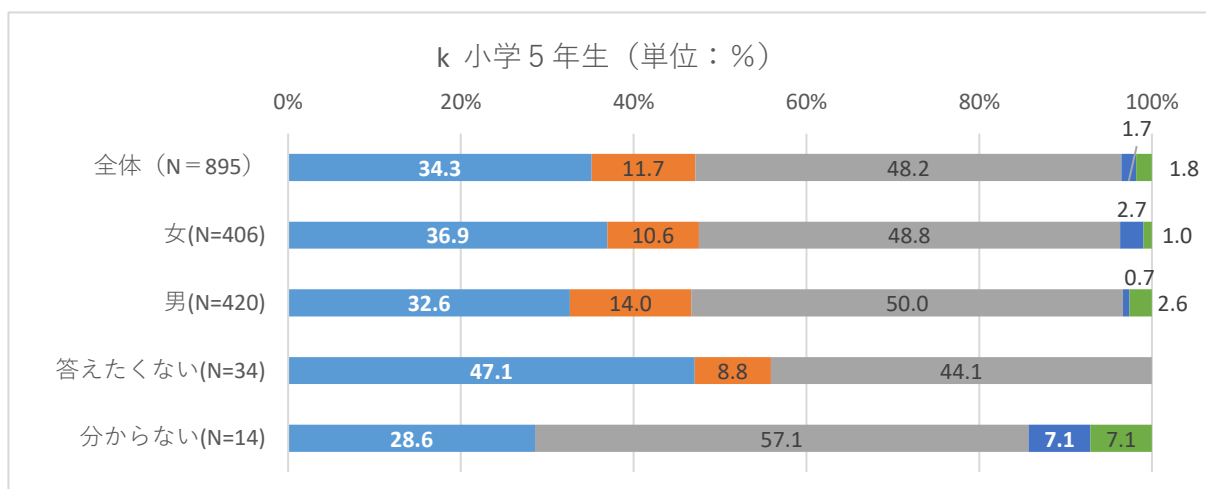
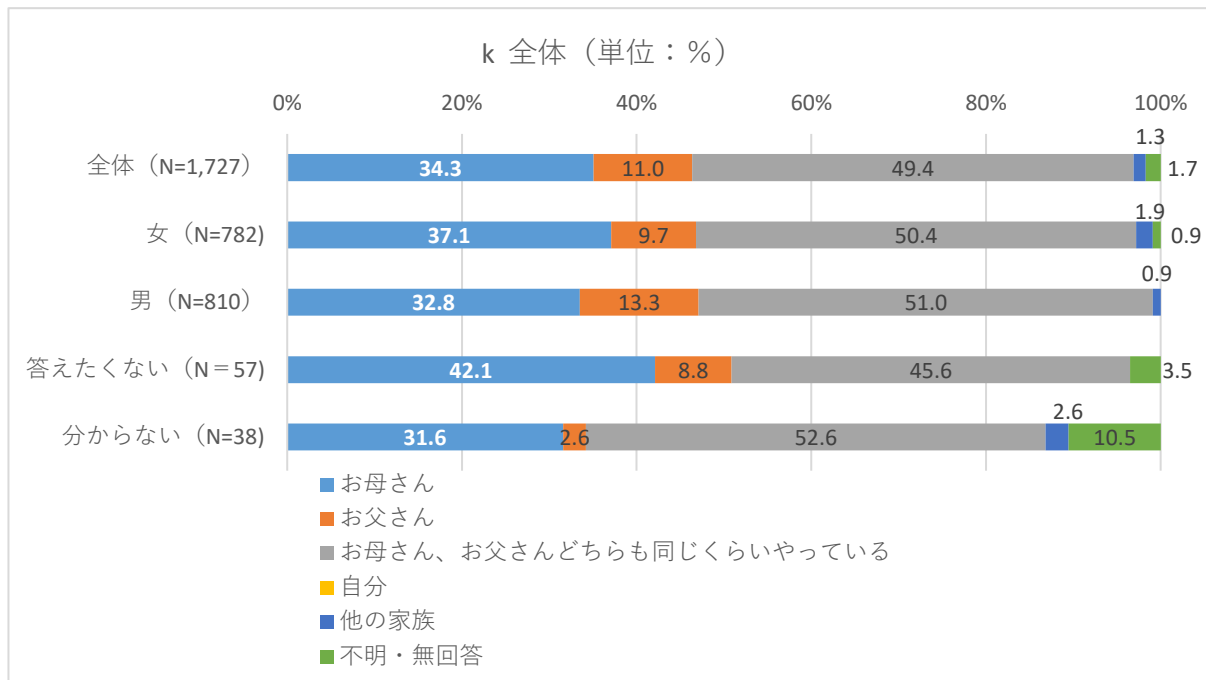
j いっしょに出かけたり、あそびに連れていったりしてくれる

全体では、「お母さん、お父さんどちらも同じくらいやっている」が46.4%と最も高く、次いで「お母さん」が23.6%となっています。学年で見ると、小学5年生で「お父さん」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると、小学5年生の男子で「お父さん」が高くなっています。



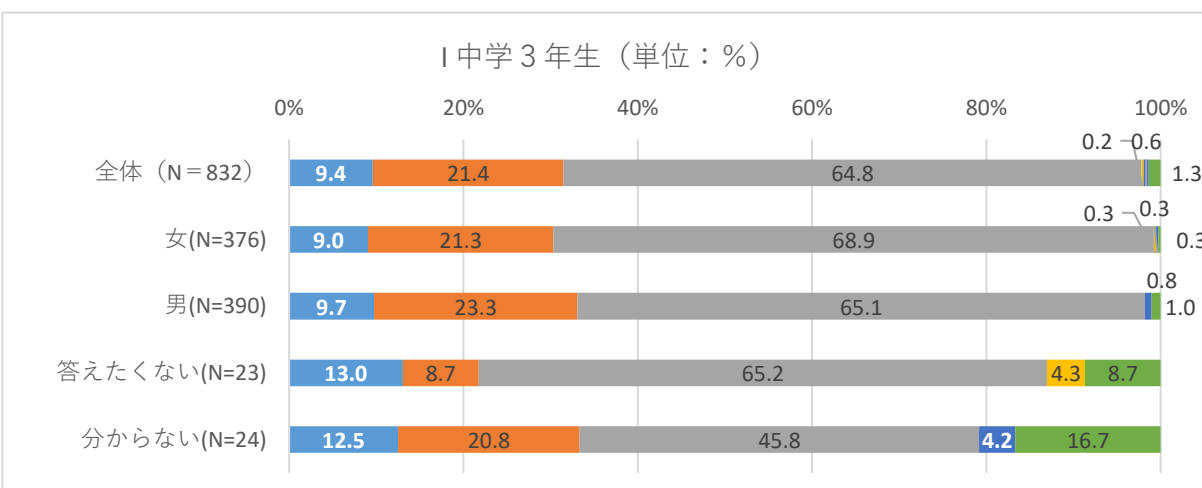
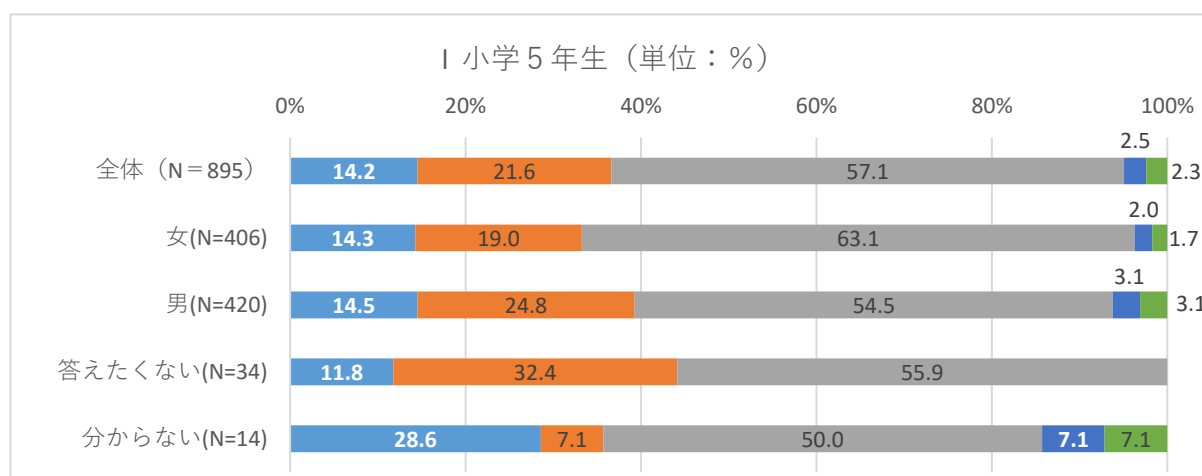
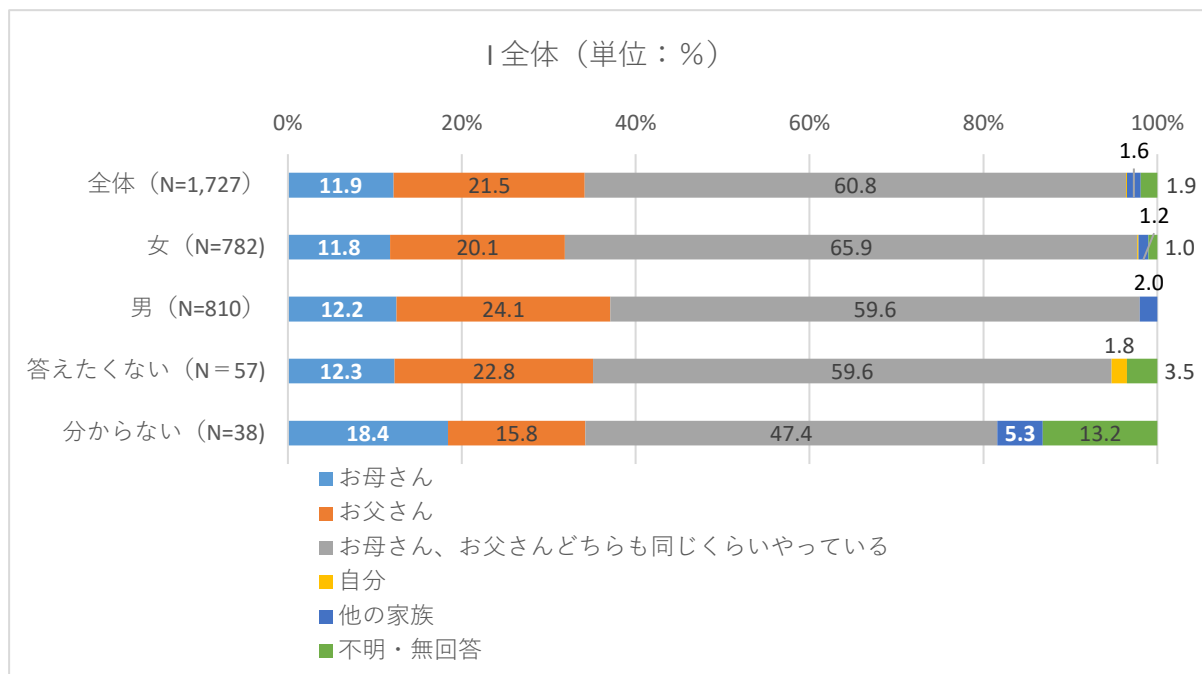
k 悪いことをしたら叱る

全体では、「お母さん、お父さんどちらも同じくらいやっている」が49.4%と最も高く、次いで「お母さん」が34.3%となっています。学年で見ると、小学5年生で「お父さん」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると、小学5年生の男子で「お父さん」が高くなっています。



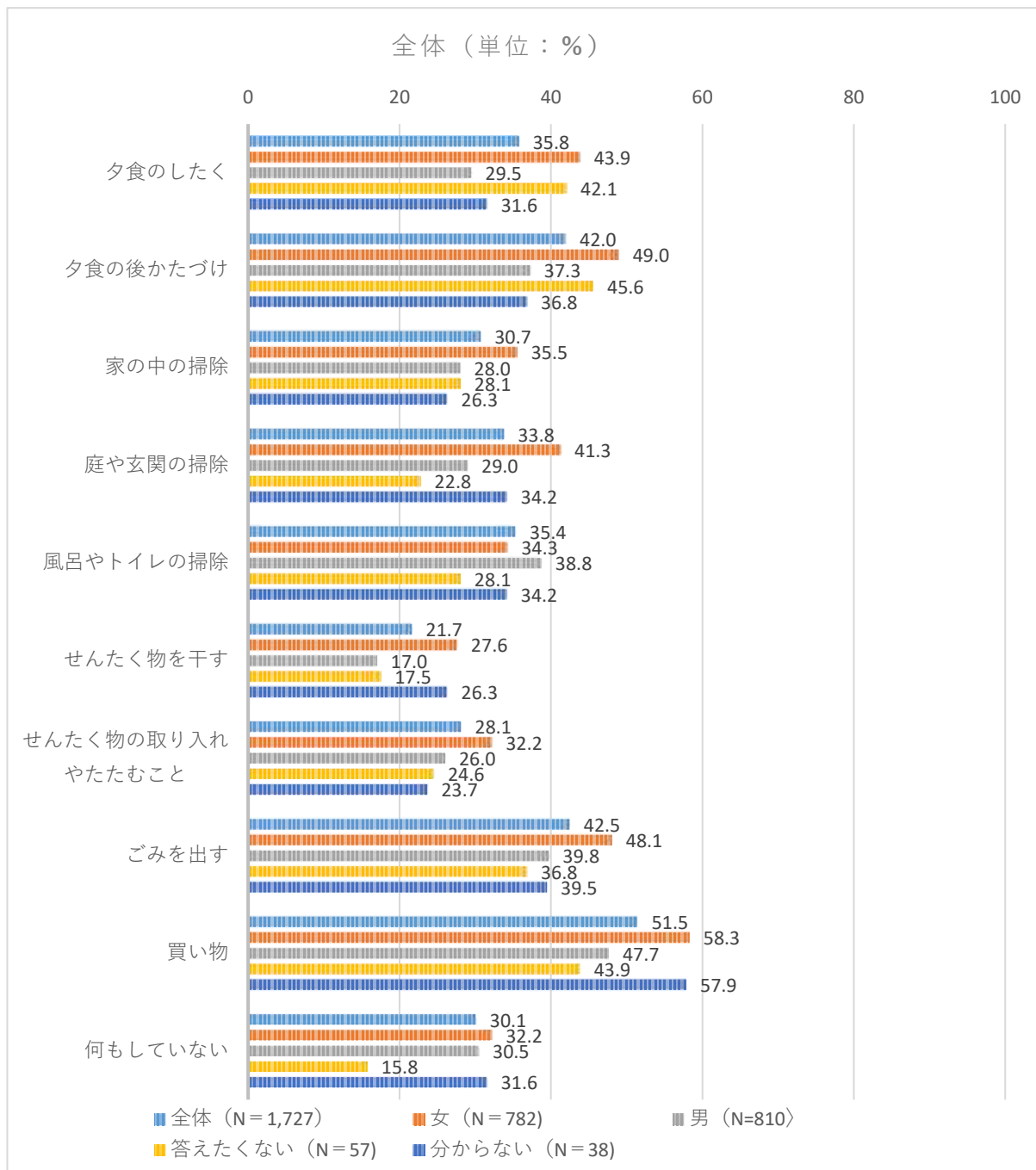
I 給料をもらう仕事をしている

全体では、「お母さん、お父さんどちらも同じくらいやっている」が60.8%と最も高く、次いで「お父さん」が21.5%となっています。学年、性別いずれも「お母さん、お父さんどちらも同じくらいやっている」が最も高くなっています。



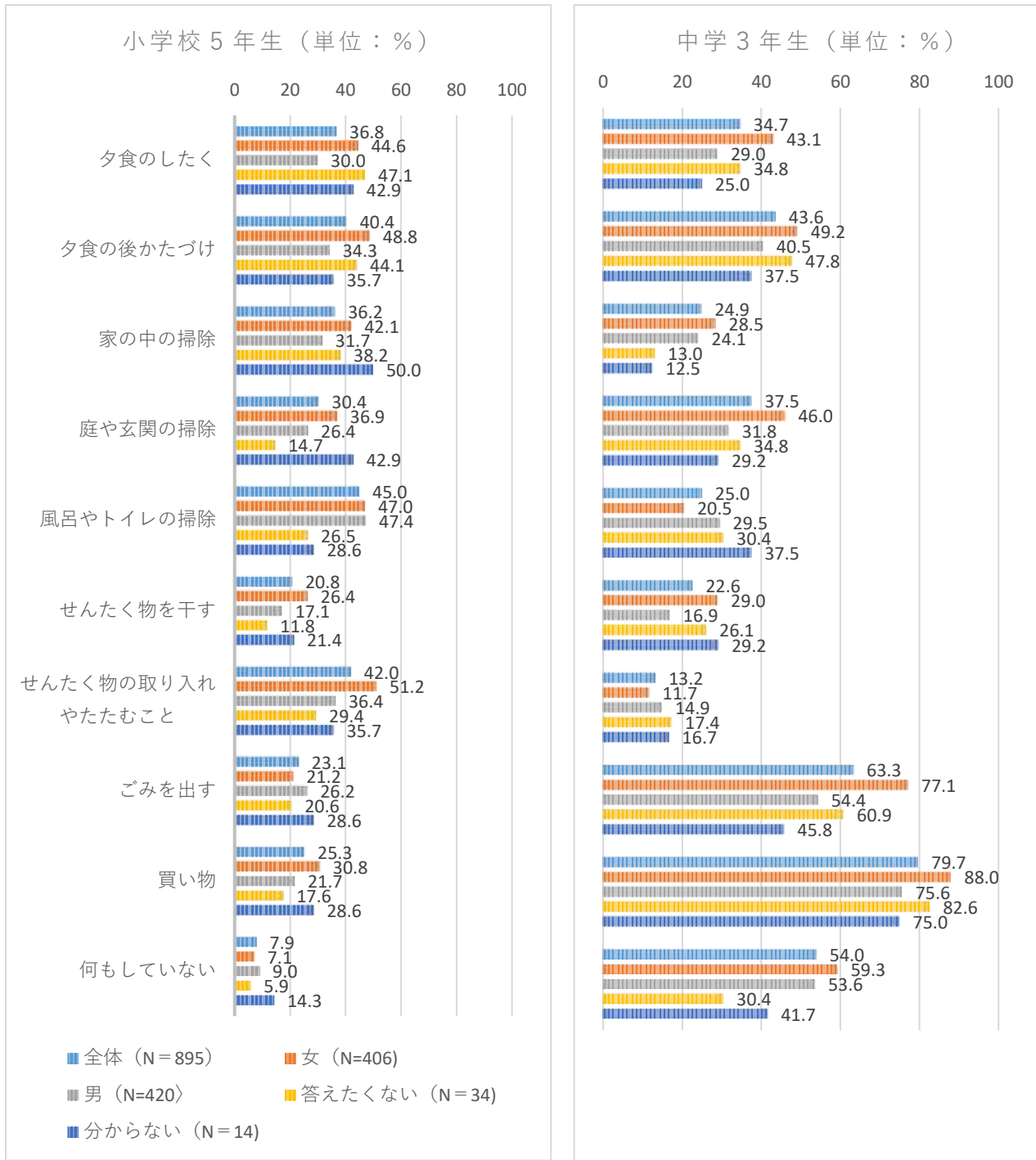
問8 あなたは、家でどのようなお手伝いをしますか。

全体では「買い物」が51.5%と最も多く、次いで「ごみを出す」が42.5%となっています。小学5年生は、「風呂やトイレの掃除」が45%と最も高く、次いで「せんたく物の取り入れ」が42%となっています。中学3年生は、「買い物」が79.7%と最も高く、次いで「ごみを出す」が63.3%となっています。それぞれの学年でみると、性別による大きな差はみられません。



【上位3つ】

	全 体			
	女子	男子	答えたくない	分からない
1 位	買い物	買い物	夕食の後かたづけ	買い物
2 位	夕食の後かたづけ	ごみを出す	買い物	ごみを出す
3 位	ごみを出す	風呂トイレの掃除	夕食のしたく	夕食の後かたづけ

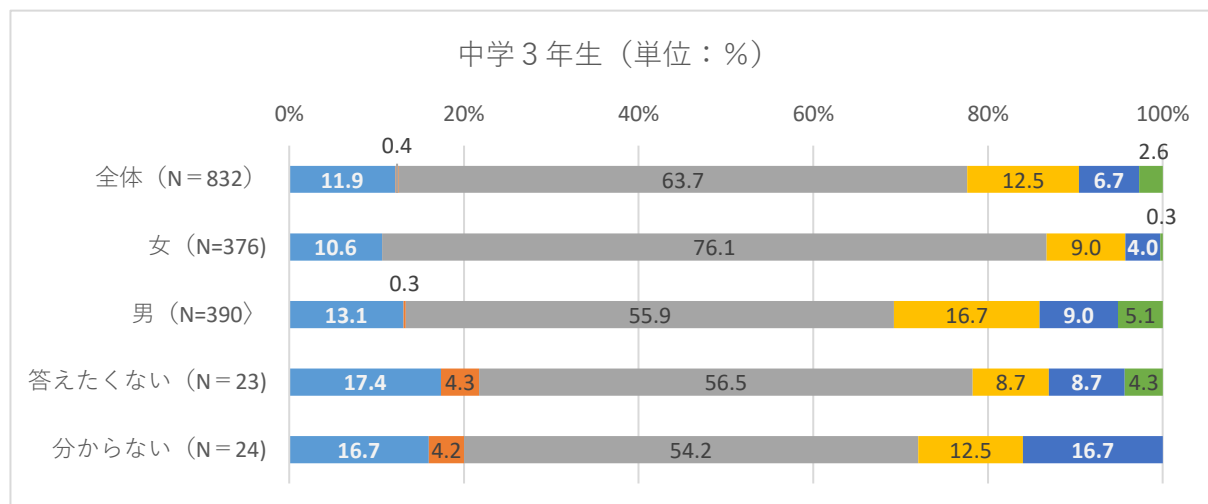
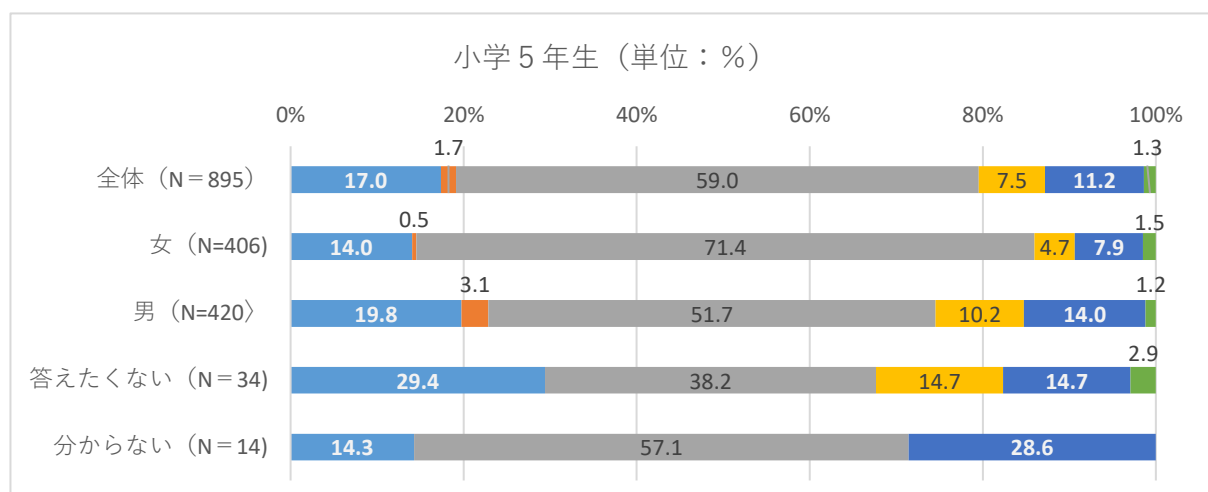
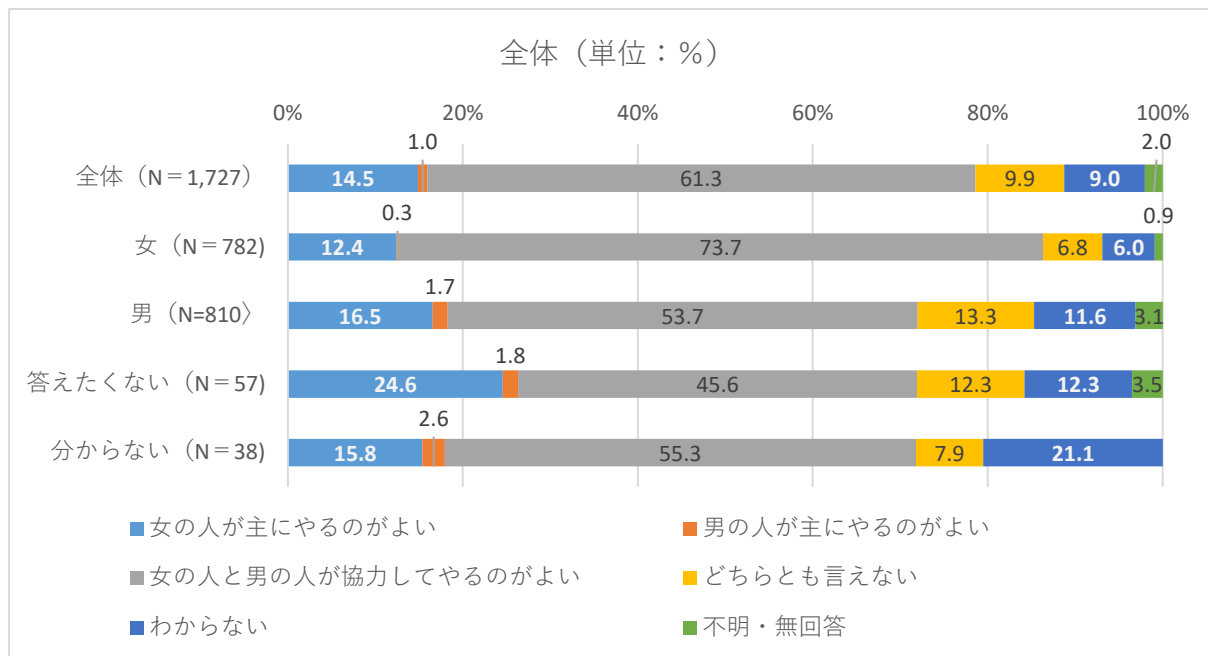


【上位3つ】

	小学5年生				中学3年生			
	女子	男子	答えたくない	分からない	女子	男子	答えたくない	分からない
1位	せんたく物の取り入れやたたむこと	風呂やトイレの掃除	夕食のしたく	家の中の掃除	買い物			
2位	夕食片付け	せんたく物の取り入れやたたむこと	夕食の後かたづけ	・夕食のしたく ・庭や玄関の掃除	ごみを出す			
3位	風呂やトイレの掃除	夕食の後かたづけ	せんたく物の取り入れやたたむこと	・夕食の後かたづけ ・せんたくものの取り入れやたたむこと	何も しない	何も しない	夕食の 後かた づけ	何も しない

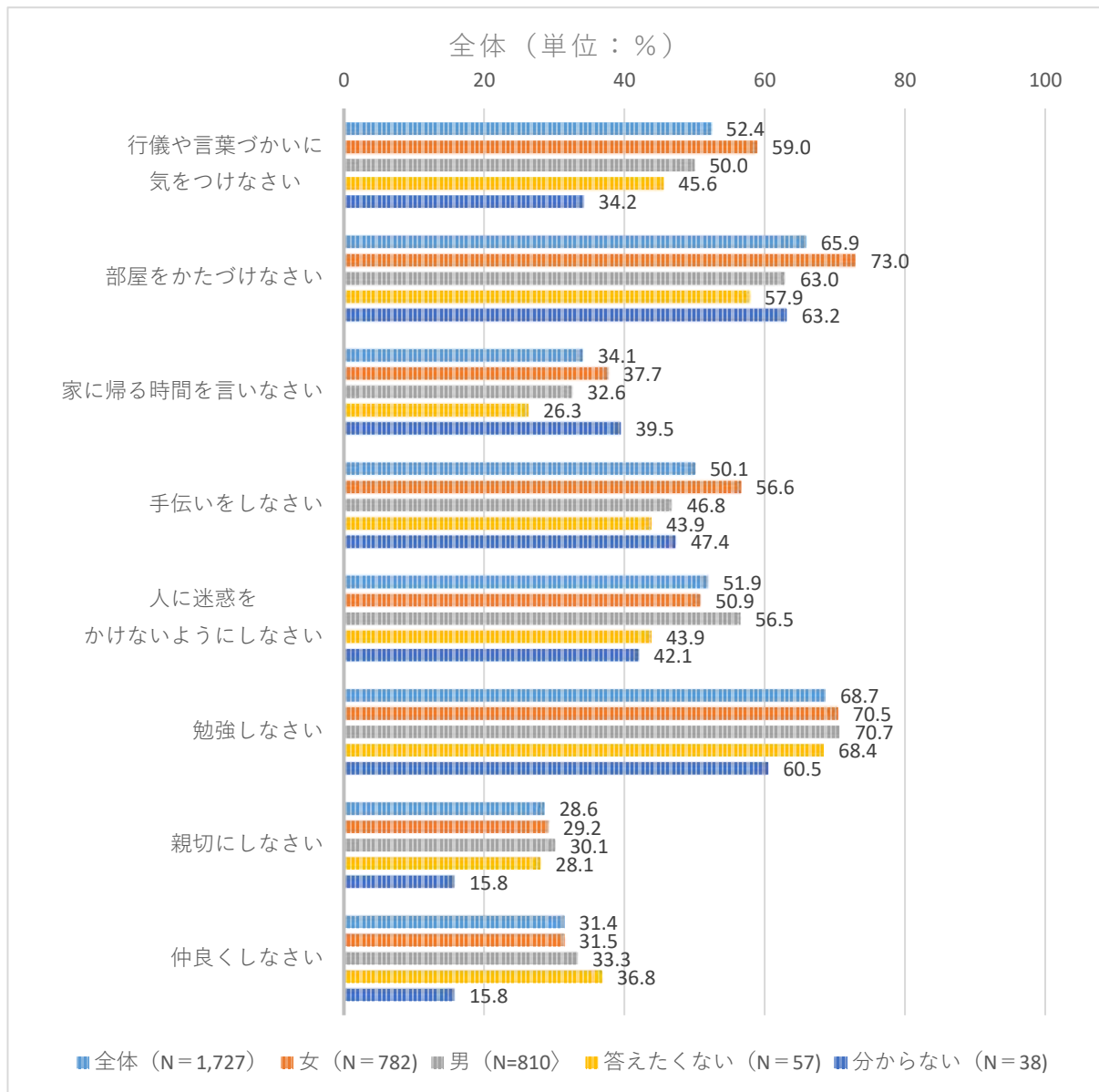
問9 あなたは家の食事のしたくや掃除、せんたくのような家事はだれがやるのが一番よいと思いますか。

全体では、「女の人と男の人が協力してやるのがよい」が 61.3%と最も高く、次いで「女の人が主にやるのがよい」が 14.5%となっています。学年ごとに性別でみると、小学5年生・中学3年生共に「男の人が主にやるのがよい」が非常に低くなっています。



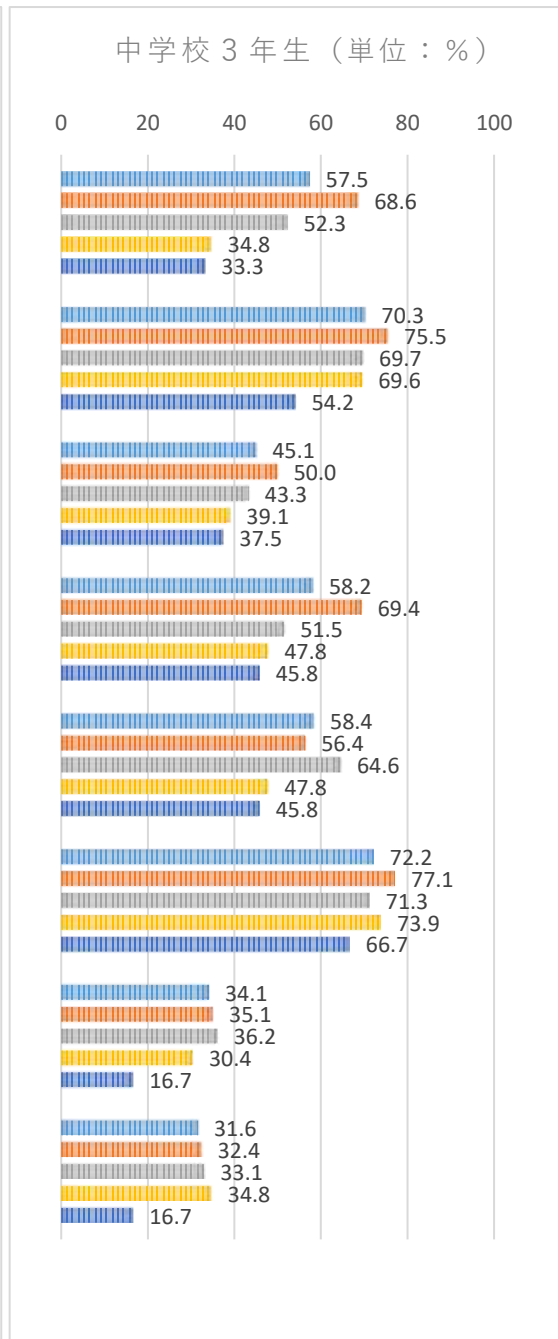
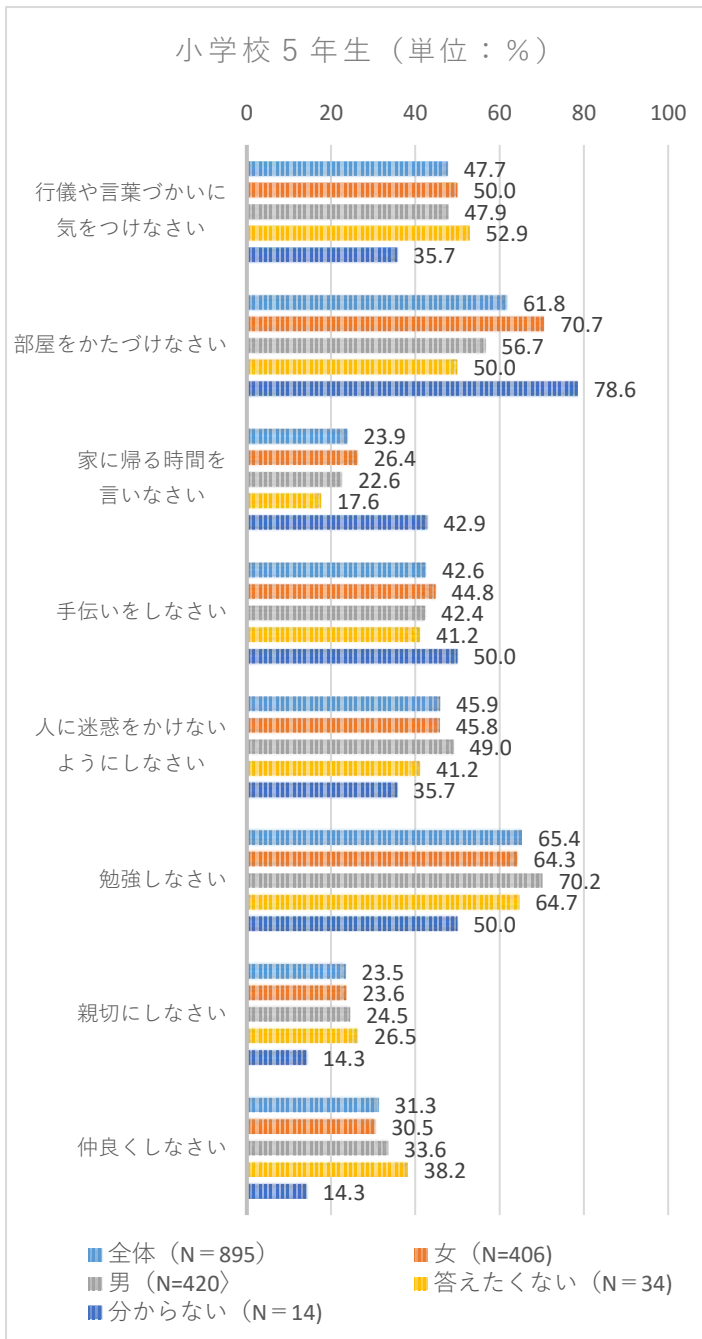
問 10 あなたは家の人から次のようなことを言われたことがありますか。

全体では、「勉強しなさい」が68.7%と高く、次いで「部屋をかたづけなさい」が65.9%となっています。小学校5年生では、「勉強しなさい」が65.4%と最も高く、次いで「部屋をかたづけなさい」が61.8%となっています。中学3年生では、「勉強しなさい」が72.2%と最も高く、次いで「部屋をかたづけなさい」が70.3%となっています。中学3年生について性別でみると、「行儀や言葉づかいに気をつけなさい」「手伝いをしなさい」について、性別によって差がみられます。



【上位3つ】

	全 体			
	女子	男子	答えたくない	分からない
1 位	部屋をかたづけなさい	勉強しなさい	勉強しなさい	部屋をかたづけなさい
2 位	勉強しなさい	部屋をかたづけなさい	部屋をかたづけなさい	勉強しなさい
3 位	行儀や言葉づかいに気をつけなさい	人に迷惑をかけないようにしなさい	行儀や言葉づかいに気をつけなさい	手伝いをしなさい



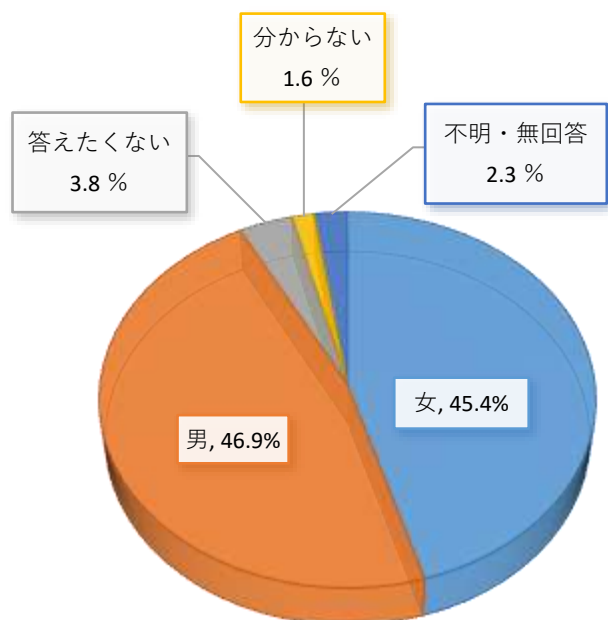
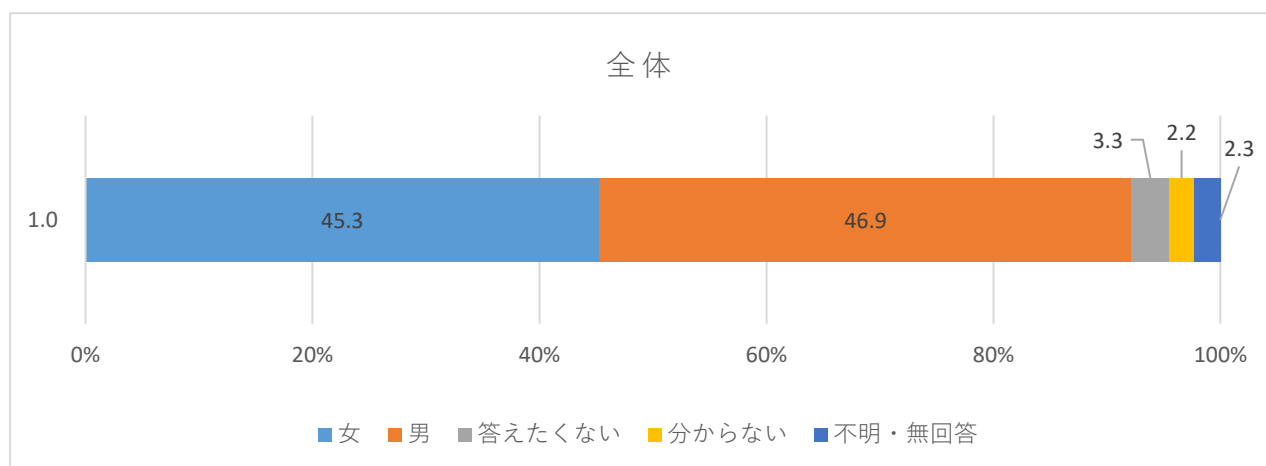
【上位3つ】

	小学5年生				中学3年生			
	女子	男子	答えたくない	分からない	女子	男子	答えたくない	分からない
1位	部屋をかたづけなさい	勉強しなさい	勉強しなさい	部屋をかたづけなさい	勉強しなさい			
2位	勉強しなさい	部屋をかたづけなさい	行儀や言葉づかいに気をつけなさい	・手伝いをしなさい ・勉強しなさい	部屋をかたづけなさい			
3位	行儀や言葉づかいに気をつけなさい	人に迷惑をかけないようにしなさい	部屋をかたづけなさい	家に帰る時間をいいなさい	手伝いをしなさい	人に迷惑をかけないようにしなさい	・手伝いをしなさい ・人に迷惑をかけないようにしなさい	・手伝いをしなさい ・人に迷惑をかけないようにしなさい

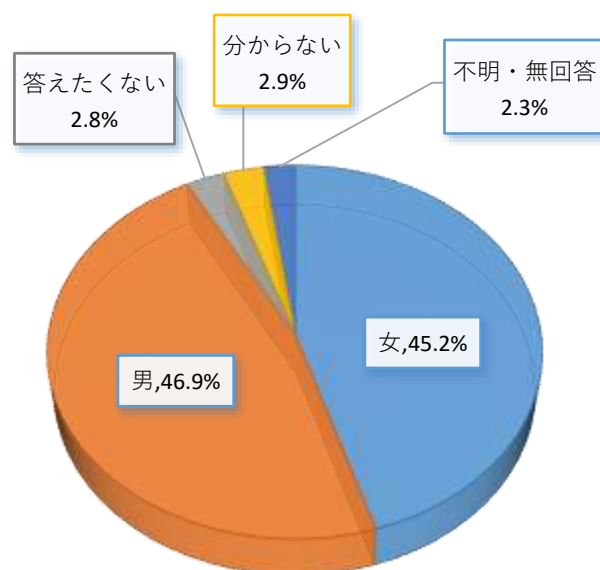
あなたの経験や考えについて教えてください。

問 11 あなたの性別について教えてください。

小学5年生では、「答えたくない」が 3.8%、「分からない」が 1.6%、中学3年生では「答えたくない」が 2.8%、「分からない」が 2.9%となっています。小学校5年生より、中学3年生では「答えたくない」と回答した生徒が1%減少し、「分からない」と回答した生徒が 1.3%増加しています。



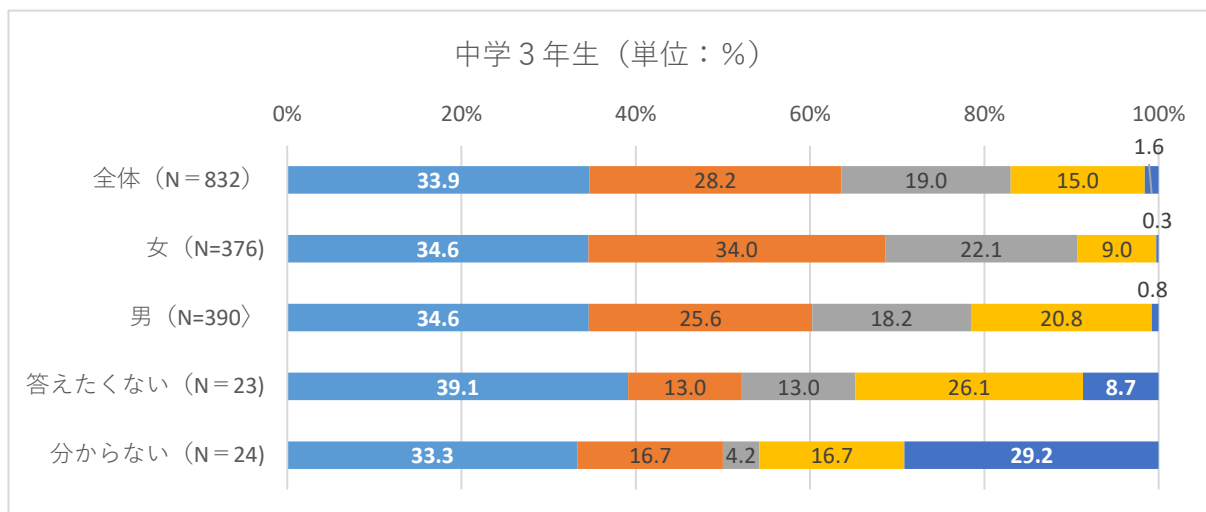
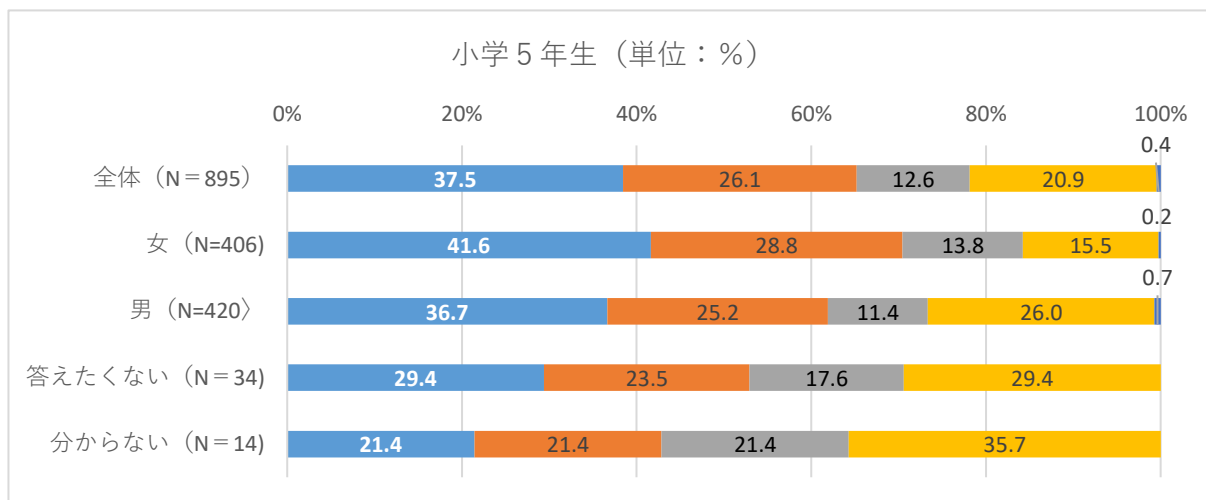
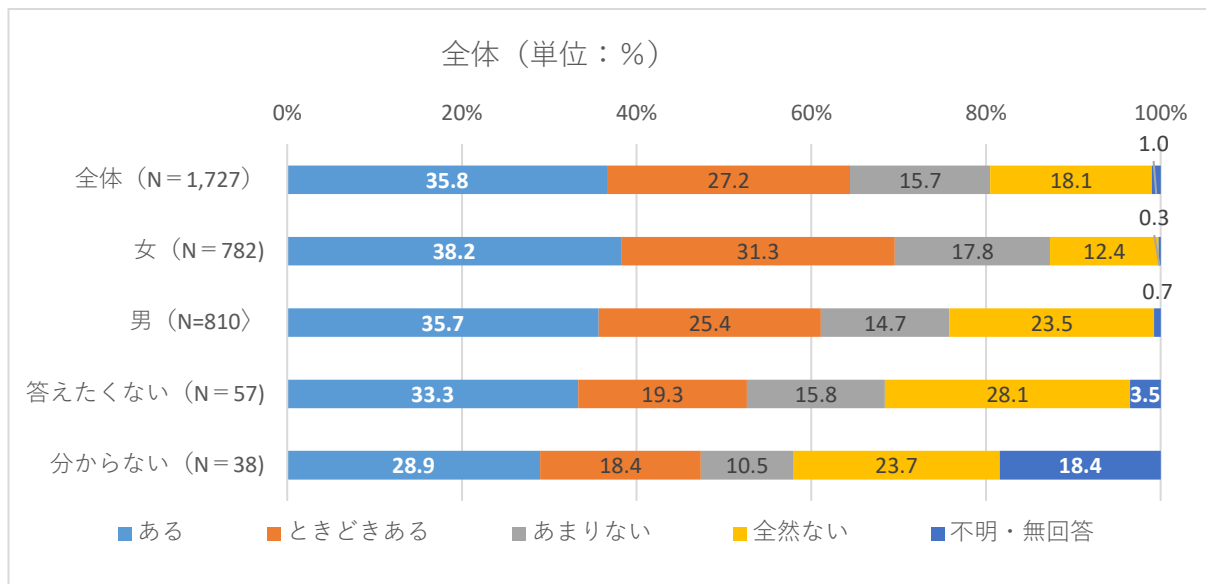
小学校5年生



中学校3年生

問 12 女に生まれて、男に生まれてよかったと思うことがありますか。

全体では「ある」が 35.8%と最も高く、次いで「ときどきある」が 27.2%となっています。学年で見ると、中学3年生より小学5年生で「ある」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると、小学5年生の女子で「ある」が41.6%と高くなっています。小学5年生・中学3年生ともに女子で「ときどきある」、男子で「あまりない」「全然ない」があわせて約 40%と高くなっています。



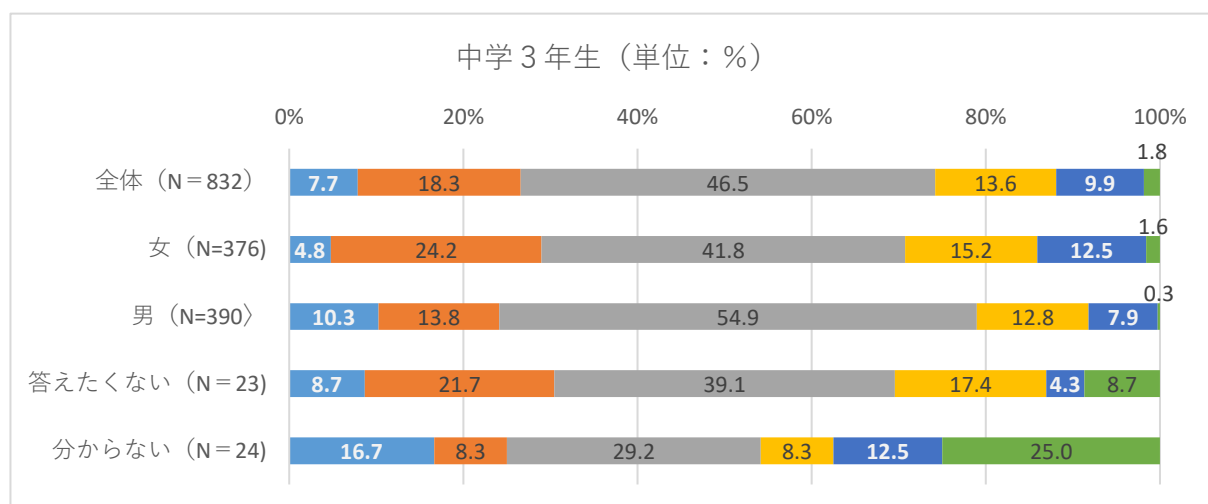
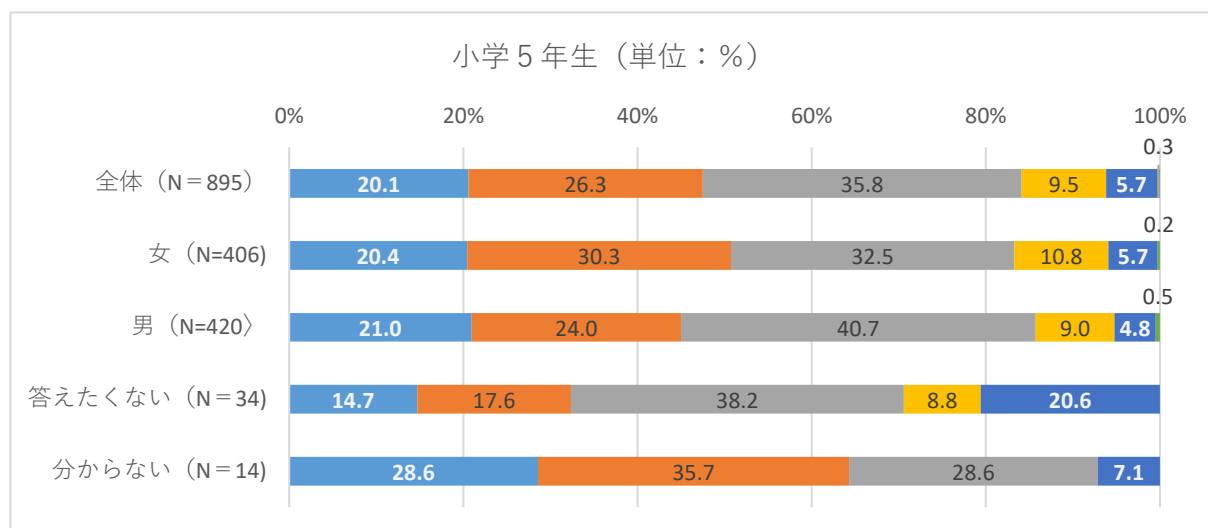
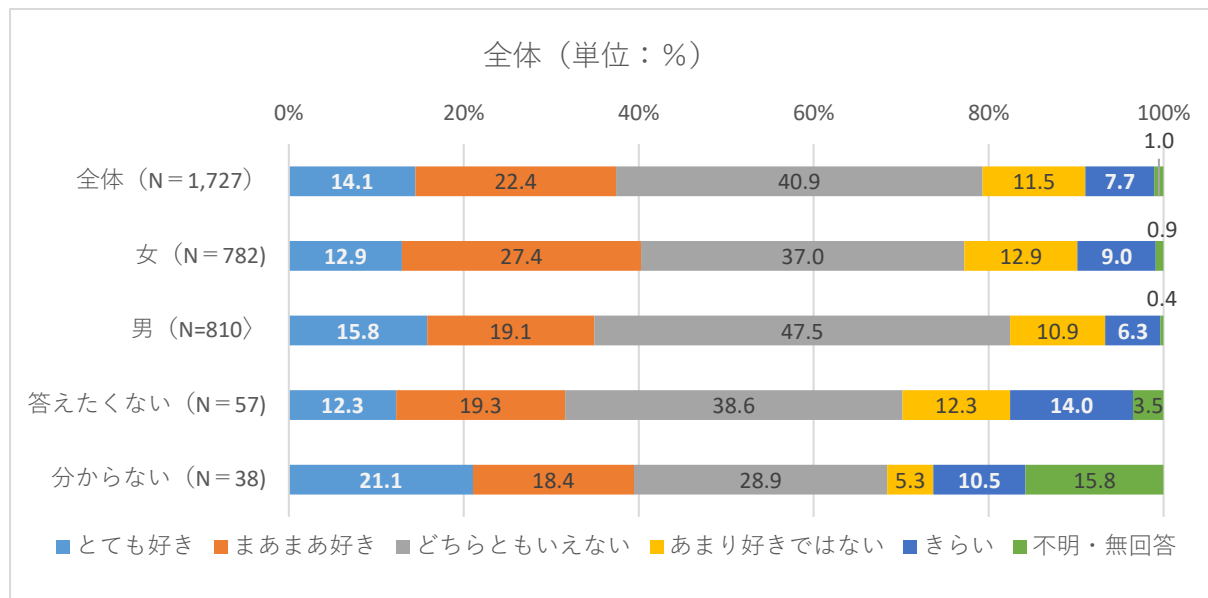
問 13 どんなときにそう思いますか。自由に書いてください。

主な意見

<p>女に生まれて よかった</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おしゃれが楽しめる（ファッション、ヘアスタイル、メイク） ・子どもを産み、育てることができる ・買い物が楽しい ・特別扱いしてもらえる（レディースデイ、女性専用車両、女子限定など） ・持久走の距離が男子より短い
<p>男に生まれて よかった</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身支度に時間がかからない（着替え、トイレ、髪の毛を乾かすこと） ・運動神経が良く体力があるため、スポーツを楽しめる ・重いものを運べる ・妊娠・出産のつらさを経験しなくてよい ・女子は人間関係が複雑で面倒
<p>よかったと思う ことがあまりない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男に生まれてよかった何て思ったことは一度もない ・私は男に生まれたかった
<p>よかったと思う ことが全然ない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男の子を見たときに、なんで「女の子」なんだろう男の子になりたいと思う ・考えたことない
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・性別は全く気にしてない。どちらも良いこと悪いことはある ・人間として基本的には同じ、男女関係ない

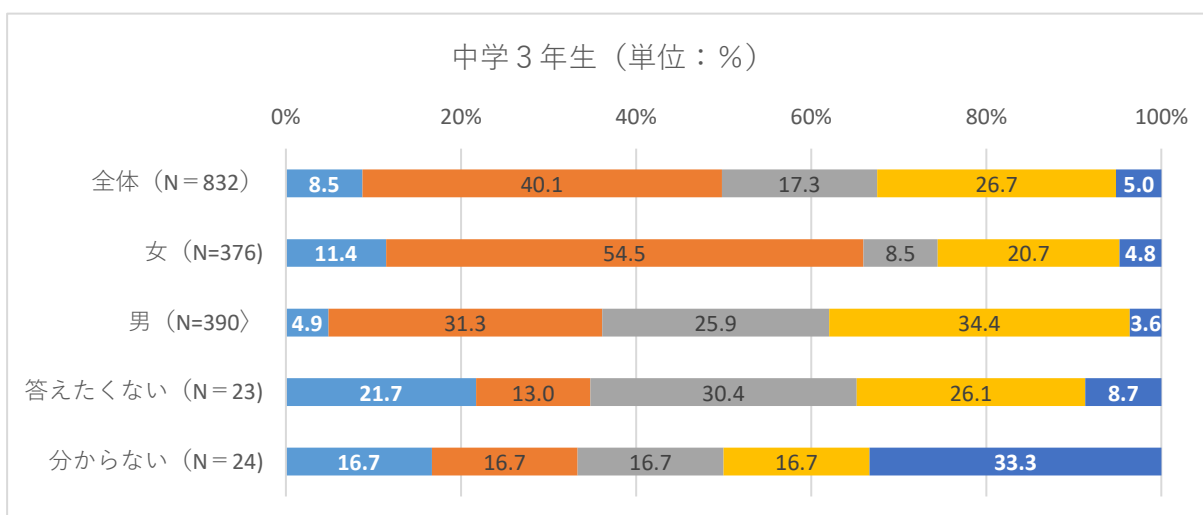
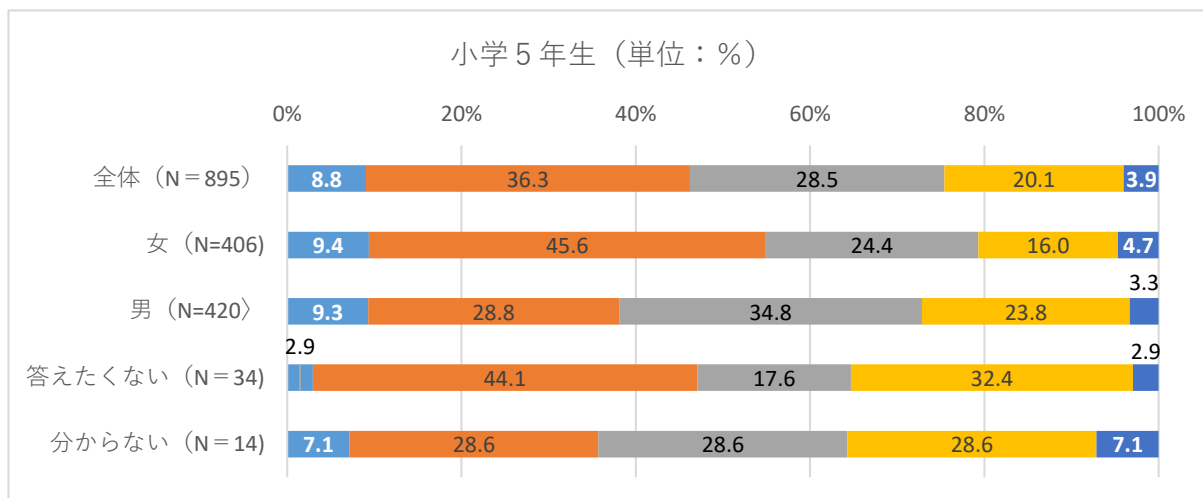
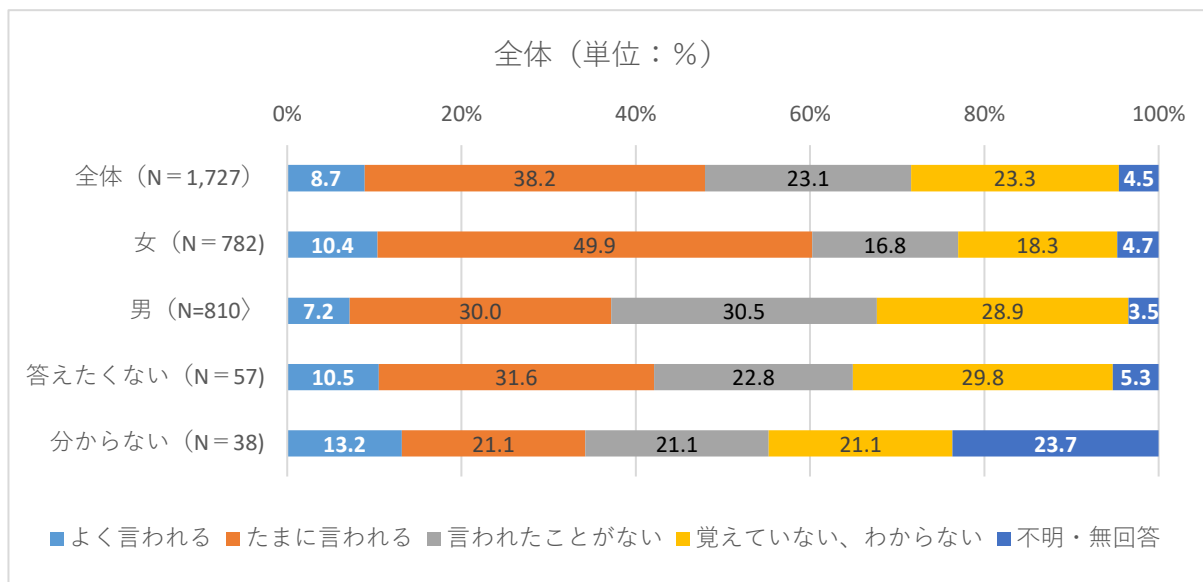
問 14 あなたは自分のことが好きですか。

全体では、「どちらともいえない」が 40.9%と最も高く、次いで「まあまあ好き」が 22.4%となっています。学年で見ると、中学3年生より小学5年生で「とても好き」「まあまあ好き」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると、中学3年生ともに女子で、「あまり好きではない」「きらい」をあわせると 27.7%と高くなっています。



問15 あなたは人から「女の子だから○○しなさい」「女の子のくせに○○」「男の子だから○○しなさい」「男の子のくせに○○」と言われたことがありますか。

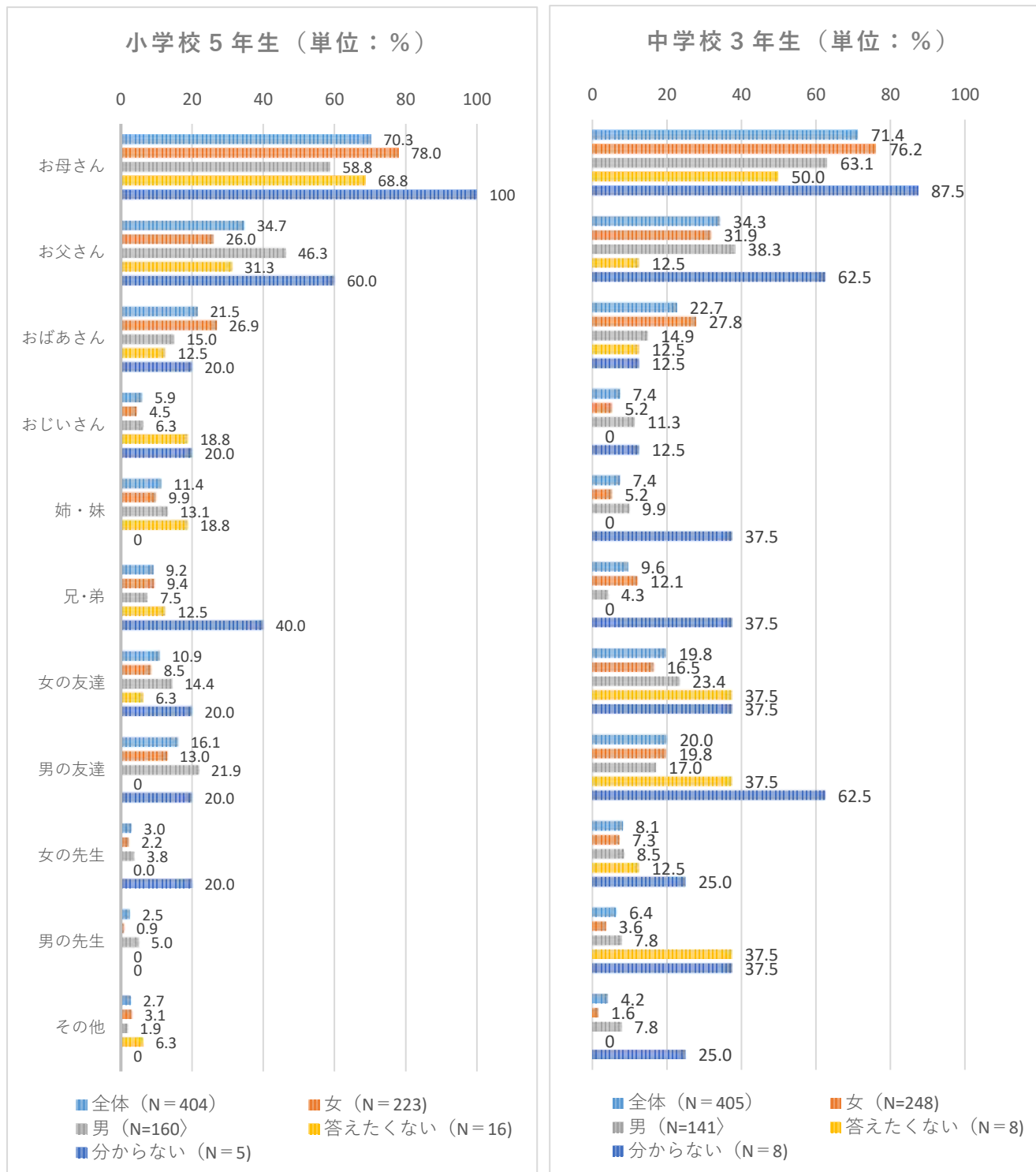
全体では、「たまに言われる」が38.2%と最も高く、次いで「覚えていない・わからない」が23.3%となっています。学年で見ると、中学3年生より小学5年生で「言われたことがない」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると、中学3年生の女子で「よく言われる」「たまに言われる」が合わせて65.9%と高くなっています。



問16 問15で「1.よく言われる」「2.たまに言われる」と答えた人に質問します。

だれから言われることが多いですか。

小学5年生・中学3年生ともに「お母さん」最も高くなっています。中学3年生の女子では、「男の友達」が高くなっています。

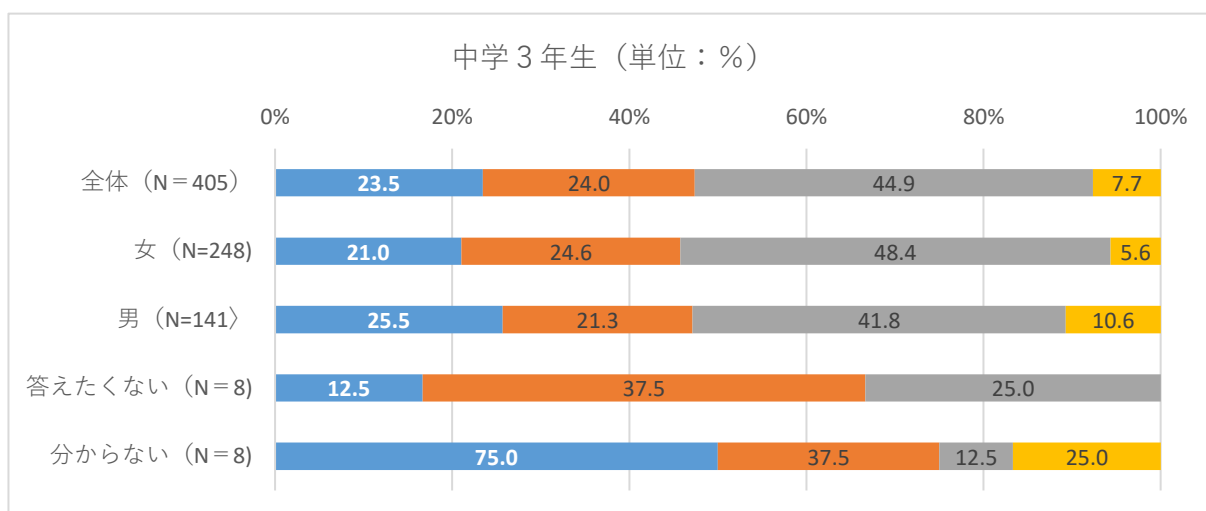
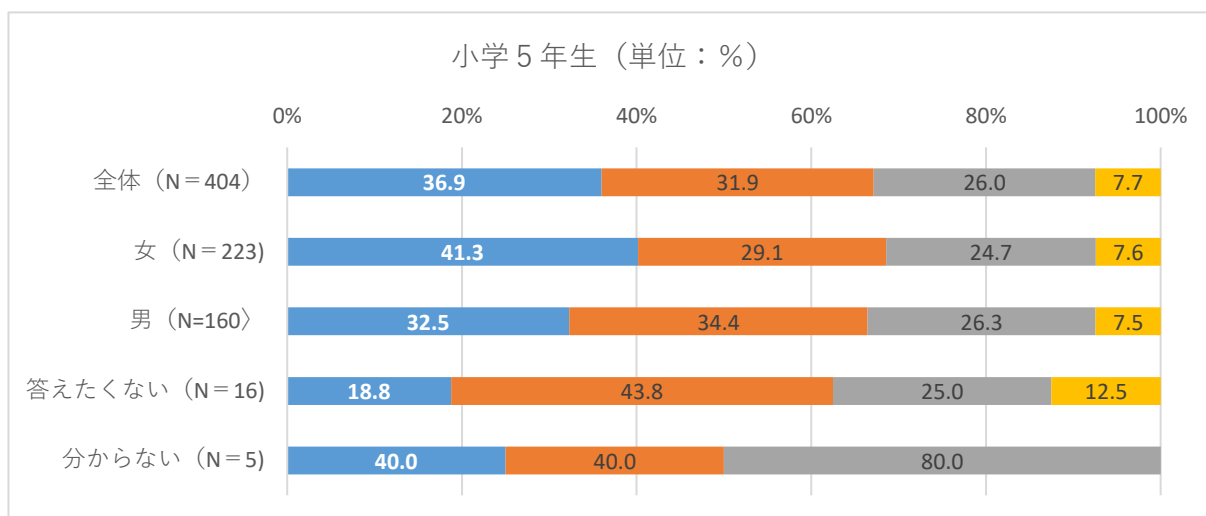
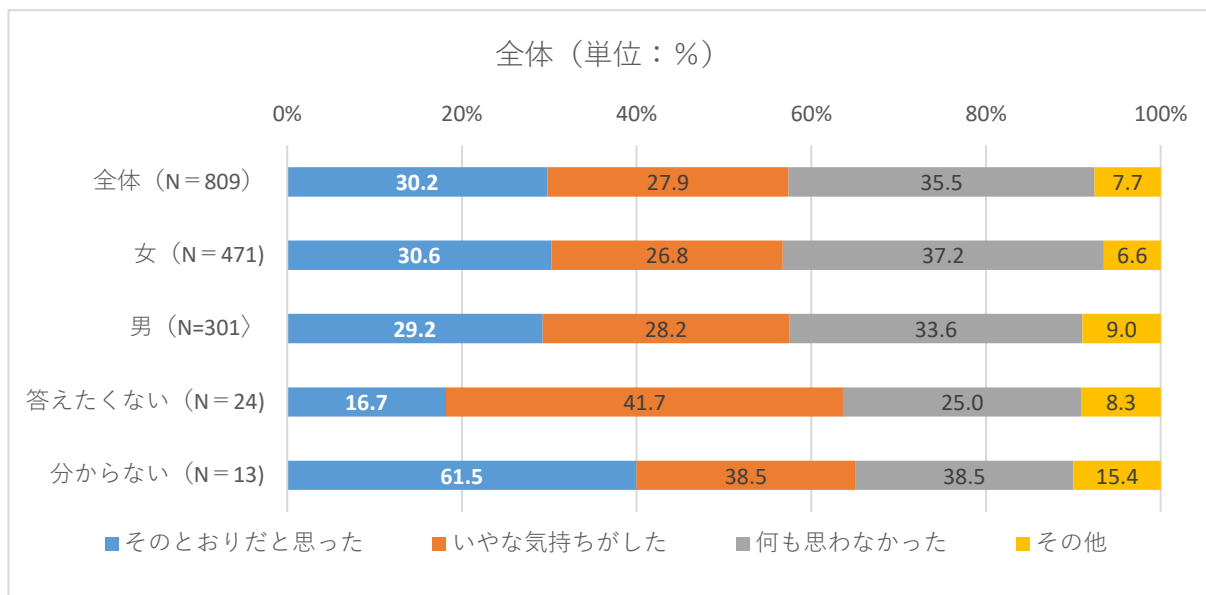


【上位3つ】

	小学5年生				中学3年生			
	女子	男子	答えたくない	分からない	女子	男子	答えたくない	分からない
1位	お母さん	お母さん	お母さん	お母さん	お母さん	お母さん	お母さん	お母さん
2位	おばあさん	お父さん	お父さん	お父さん	お父さん	お父さん	友達、男の先生	お父さん・男の友達
3位	お父さん	男の友達	おじいさん、姉・妹	兄・弟	おばあさん	女の友達	-	-

問 17 問 15で「1. よく言われる」「2. たまに言われる」と答えた人に質問します。
 そのときどんな気持ちでしたか。

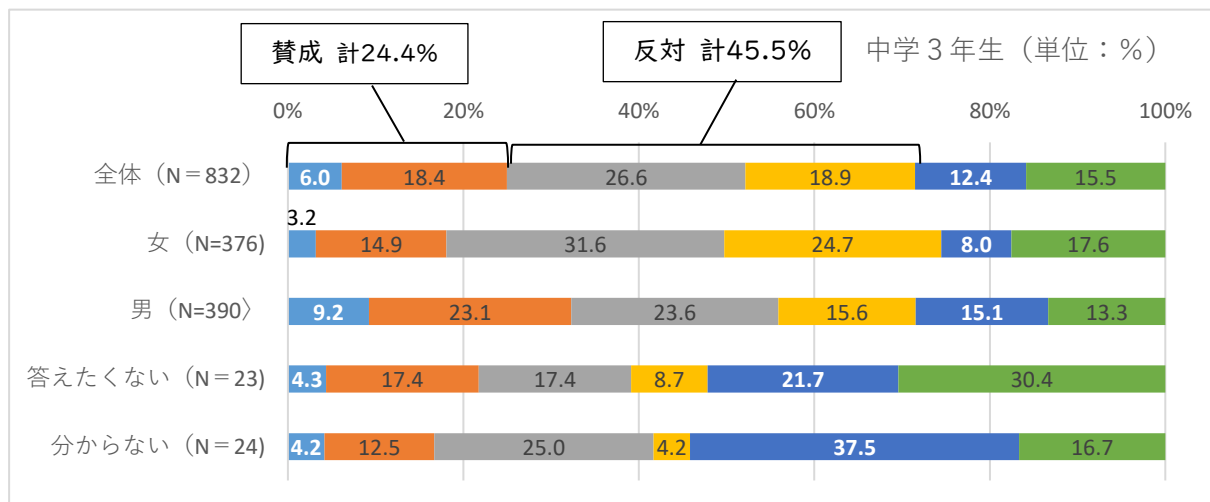
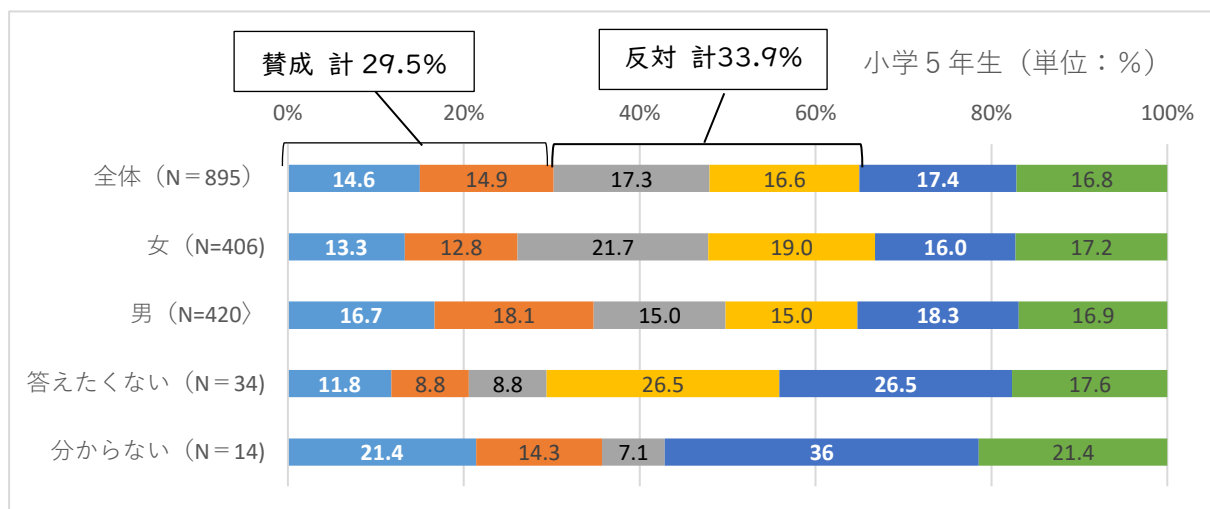
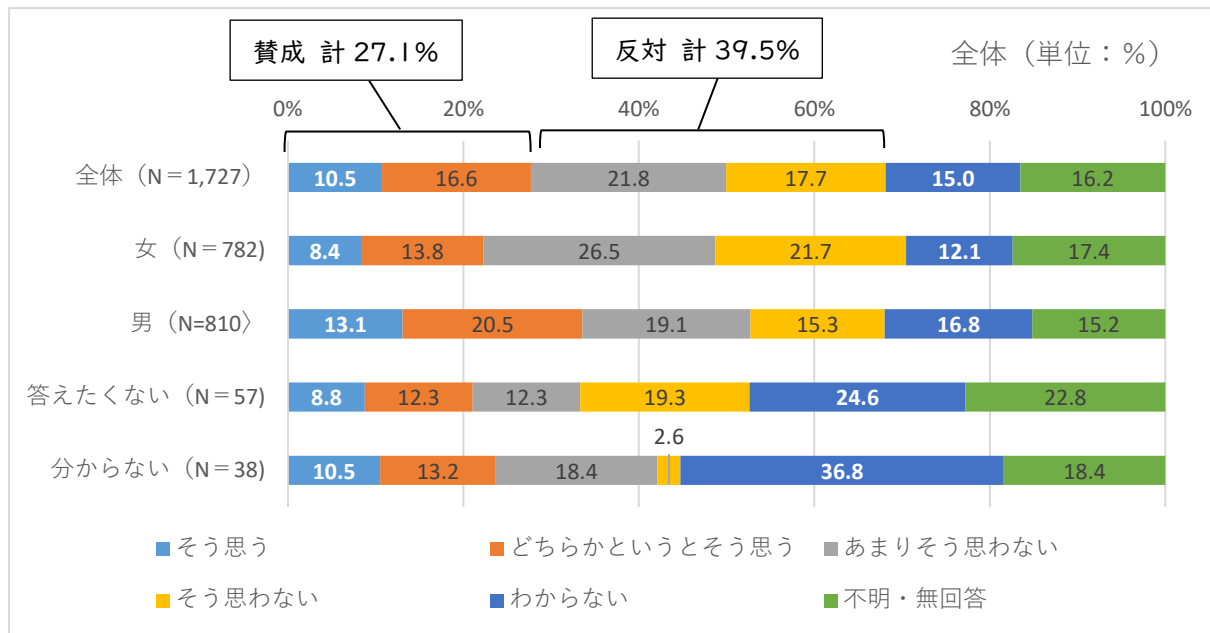
全体では、「何も思わなかった」が 35.5%と最も高く、次いで「そのとおりだと思った」が 30.2%と
 なっています。学年でみると、小学5年生より中学3年生で「何も思わなかった」が高くなっています。学
 年ごとに性別でみると、小学5年生の女性で「そのとおりだと思った」が高くなっています。



問 18 「女性は家庭で家の仕事を行い子どもを育て、男性は外で仕事をして収入を得る」という考えがありますが、あなたはこの考え方をどう思いますか。

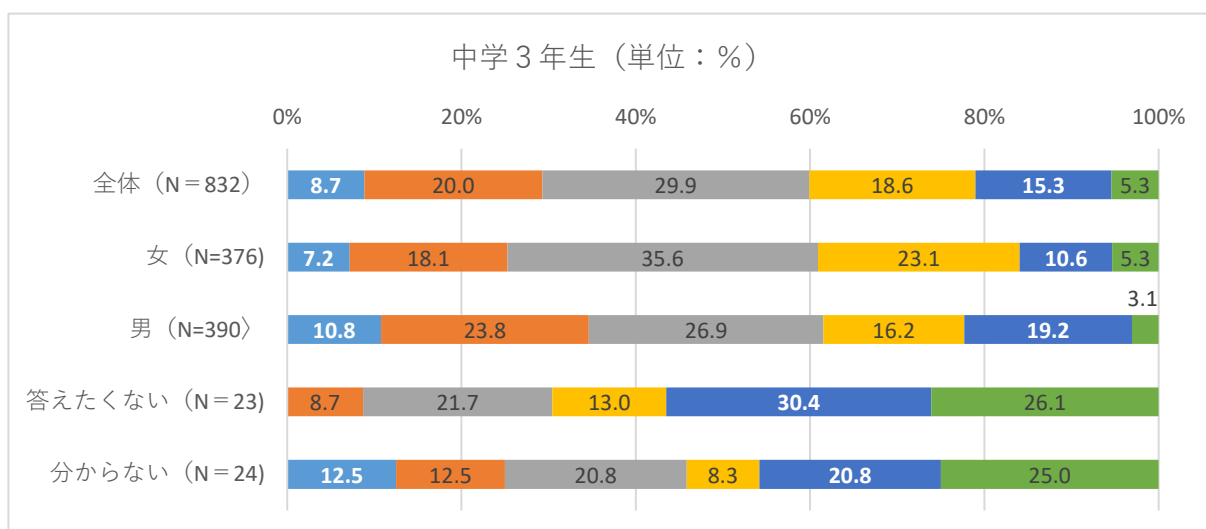
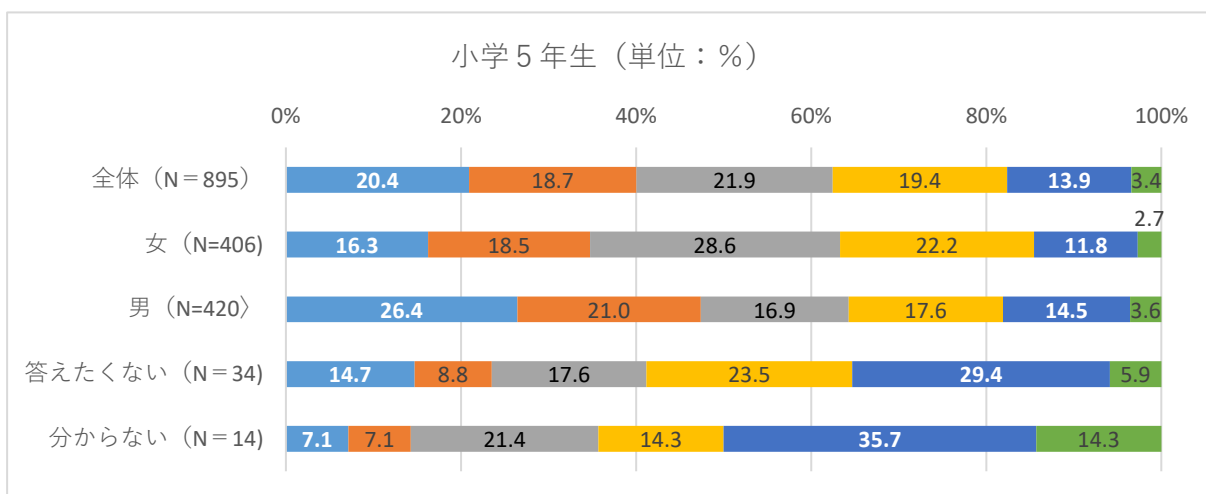
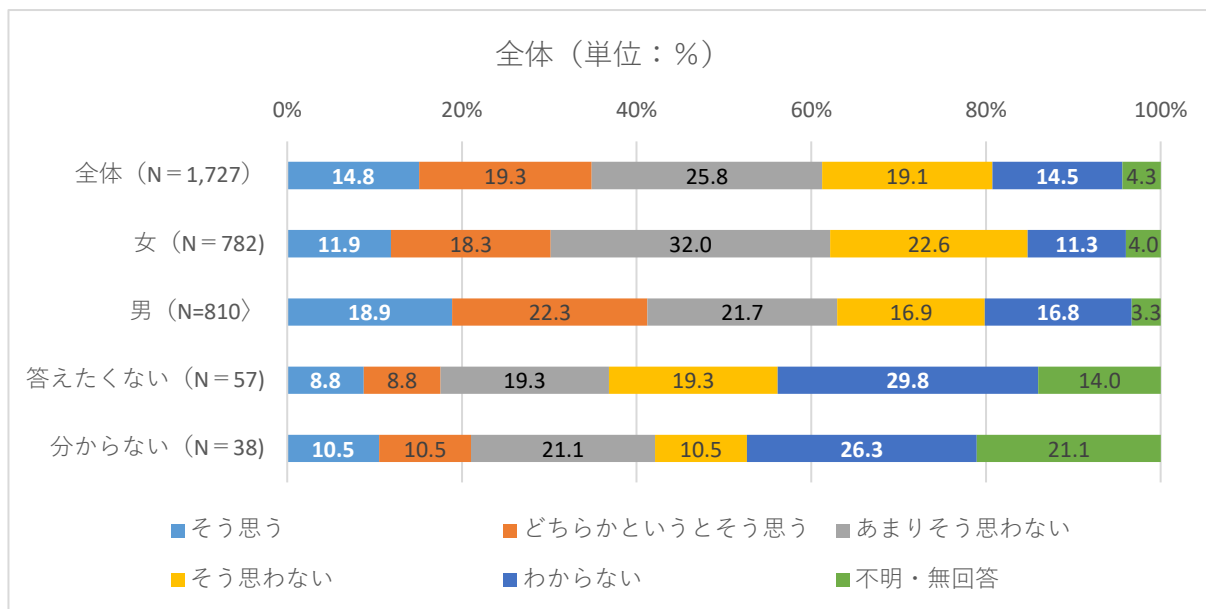
全体では、「そう思う」「どちらかというと思う」の「賛成」が合計 27.1%で、「あまりそう思わない」「そう思わない」の「反対」が合計 39.5%となっています。

学年で見ると、中学3年生より小学5年生で「賛成」が高くなっています。中学3年生では、女子の56.3%が「反対」と回答し、男子より17.1%高くなっています。



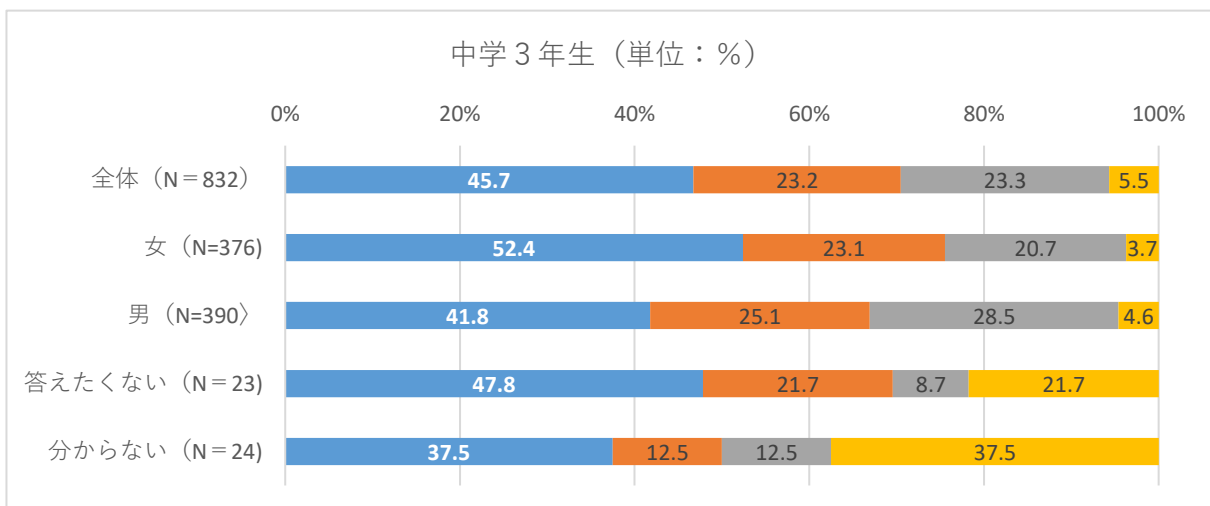
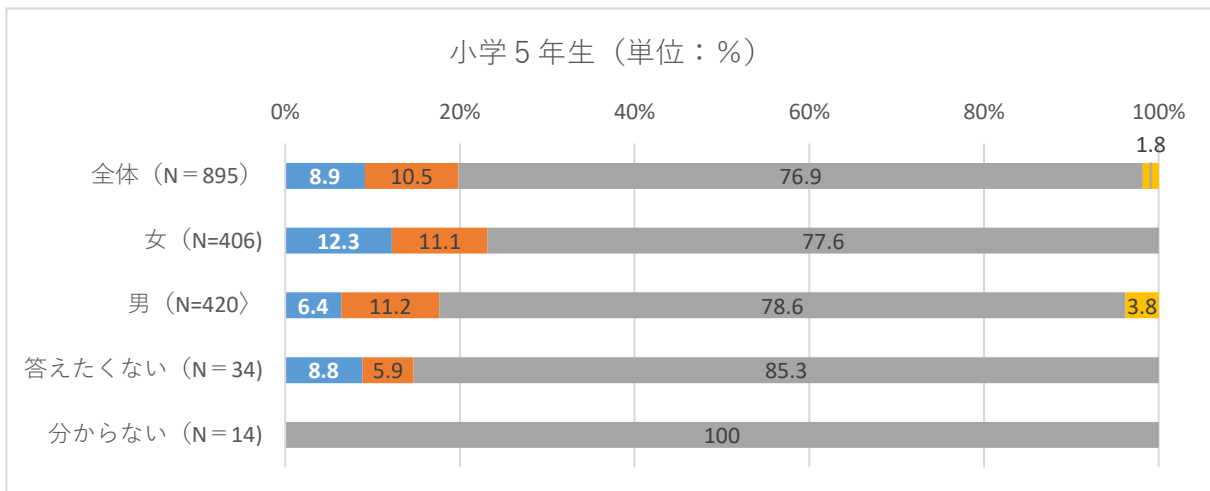
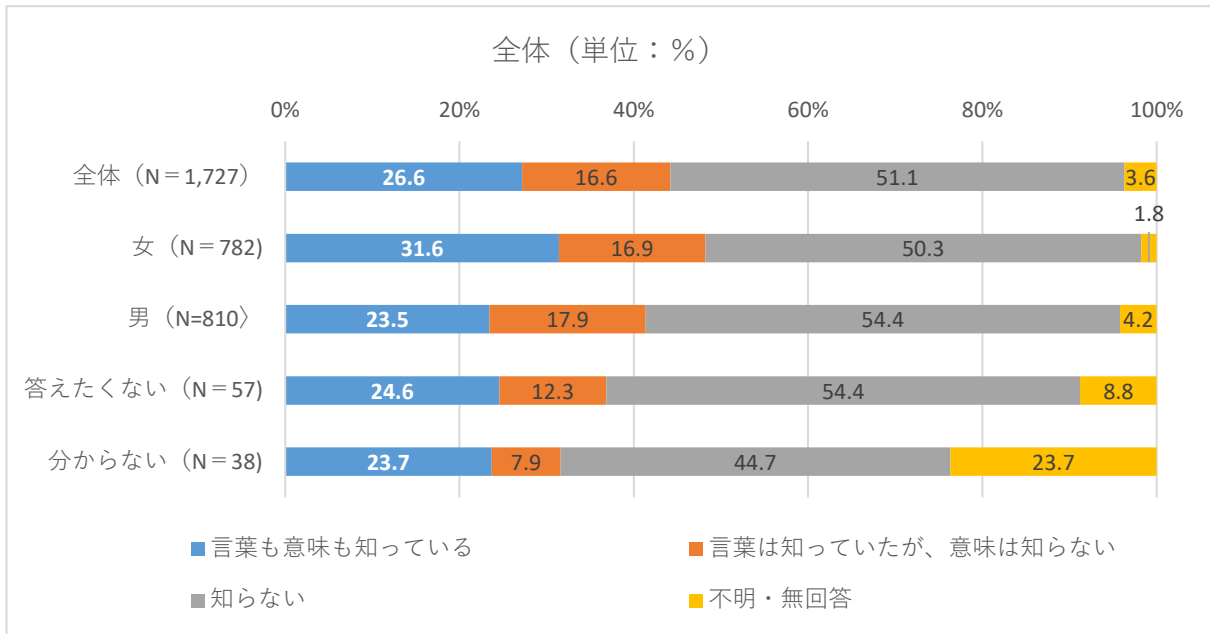
問19 「女は女らしく」「男は男らしく」という考え方について、あなたはどのように思いますか。

全体では、「あまりそう思わない」「そう思わない」があわせて44.9%と最も高く、次いで「そう思う」「どちらかというと思う」があわせて34.1%となっています。学年で見ると、中学3年生より小学5年生で「そう思う」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると、小学5年生の男子で「そう思う」「どちらかというと思う」が高くなっています。



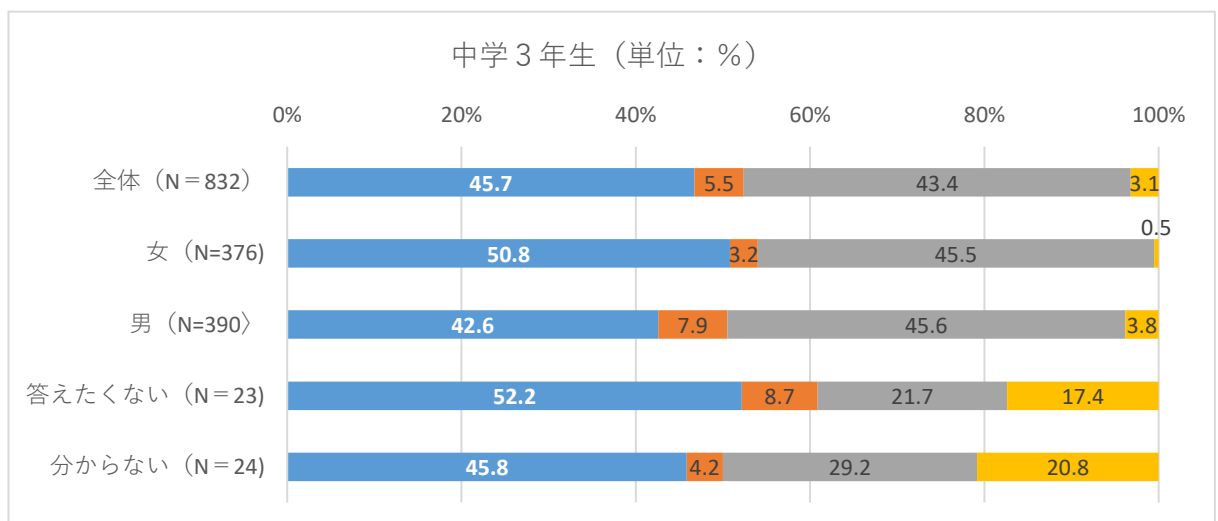
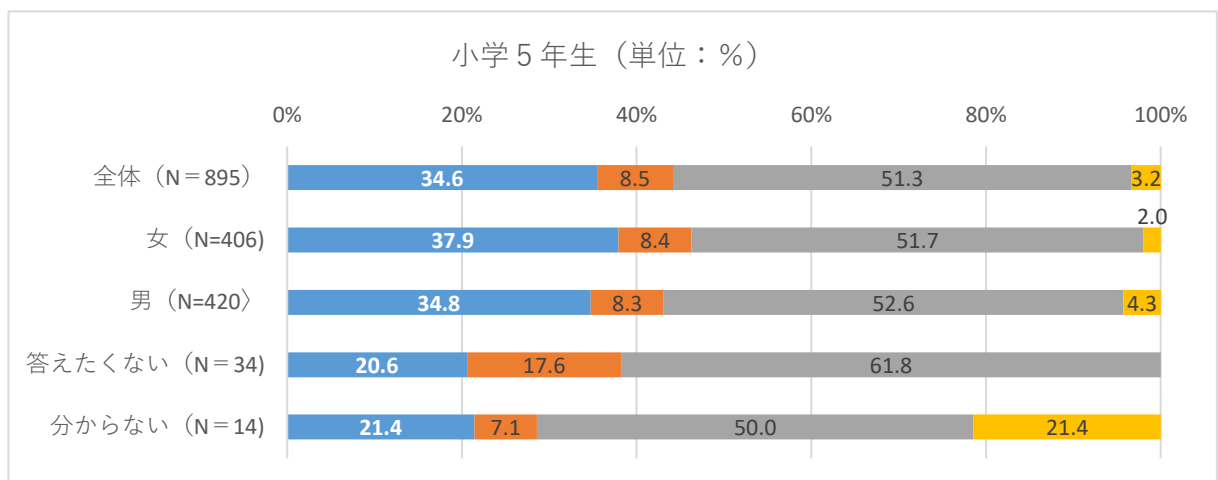
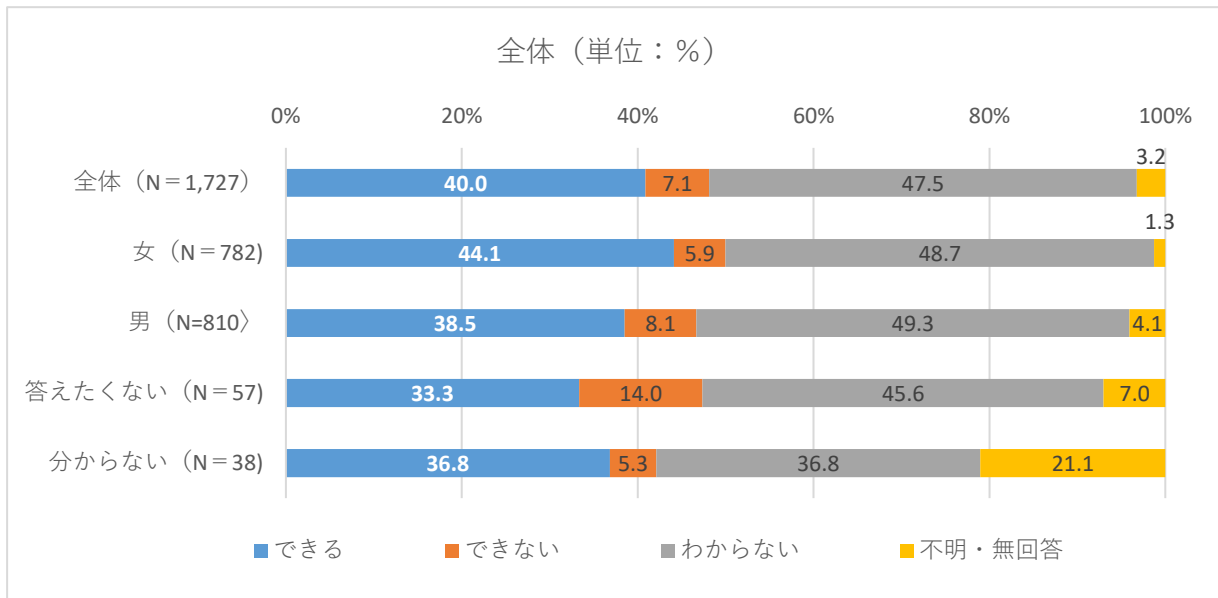
問 20 「LGBT (性的少数者)」という言葉を知っていますか。

全体では、「知らない」が 51.1%と最も高く、次いで「言葉も意味も知っている」が 26.6%となっています。学年で見ると、中学3年生より小学5年生で「知らない」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると中学3年生の女子で「言葉も意味も知っている」が高くなっています。



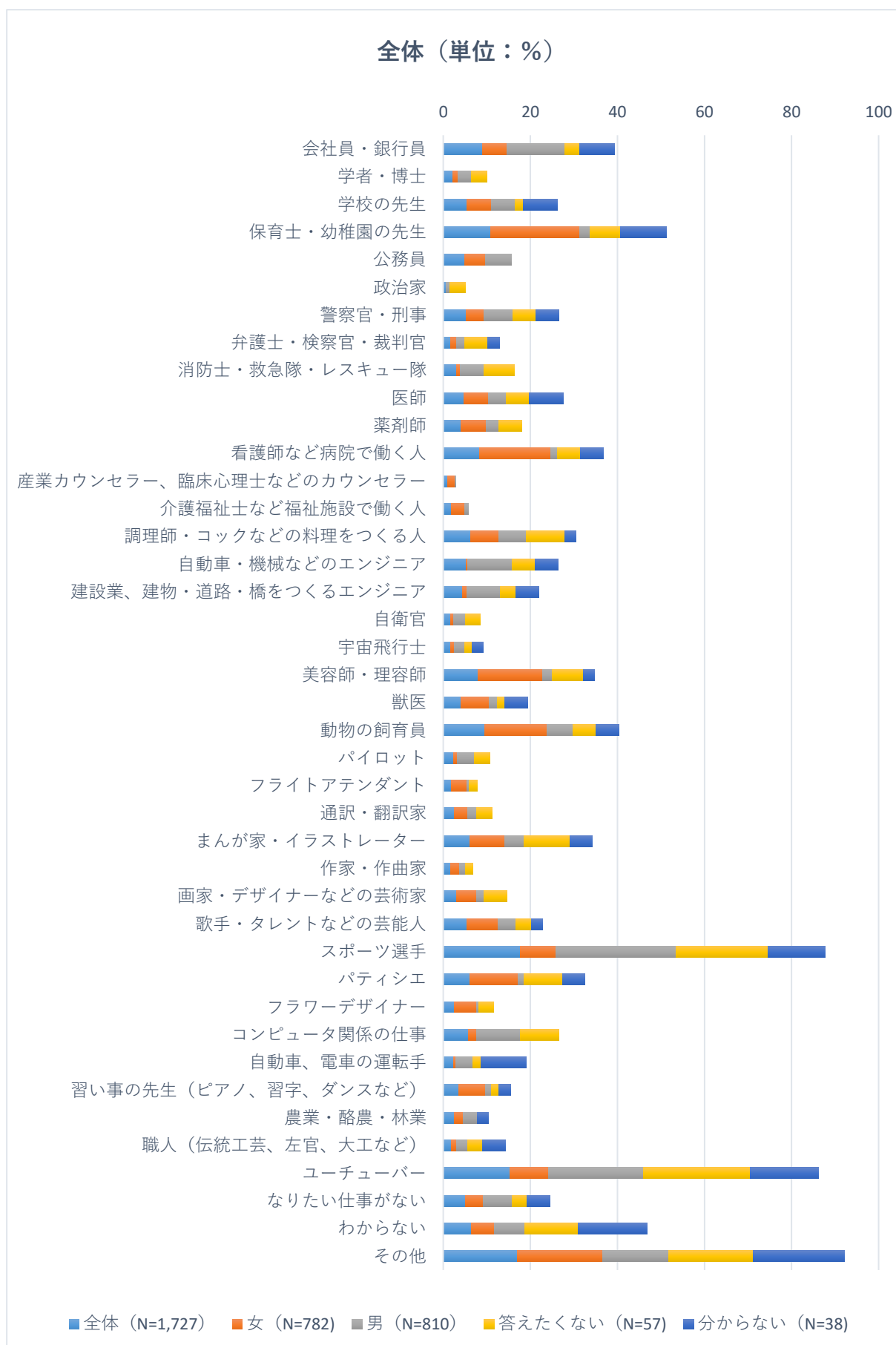
問 21 身近な人(家族、友人)が LGBT だった場合、あなたはこれまでと変わりなく接することができますか。

全体では、「わからない」が 47.5%と最も高く、次いで「できる」が 40%となっています。学年で見ると、小学5年生より中学3年生で「できる」が高くなっています。学年ごとに性別で見ると、小学5年生で「できない」が高くなっています。

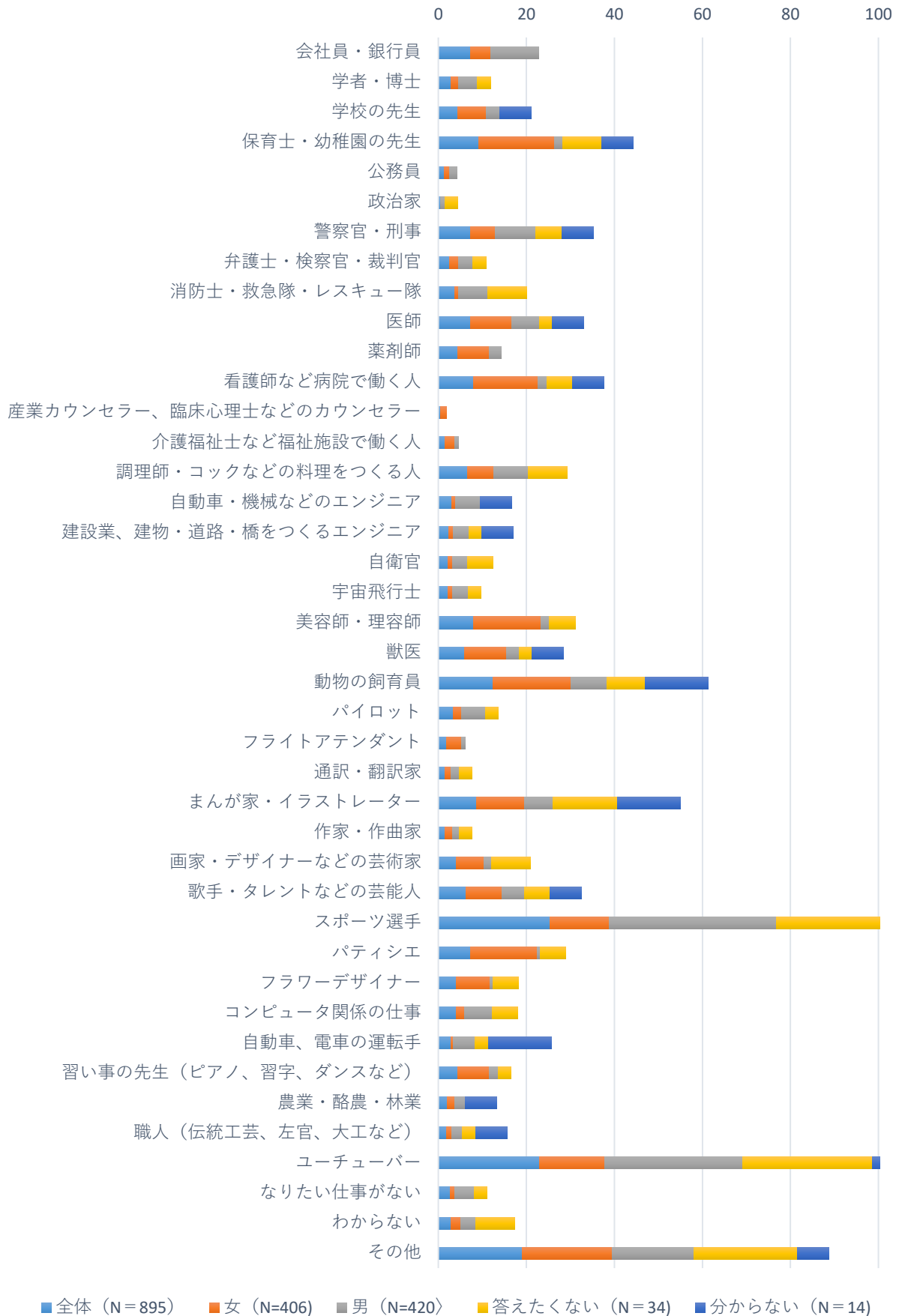


あなたの将来のことなどについて教えてください。

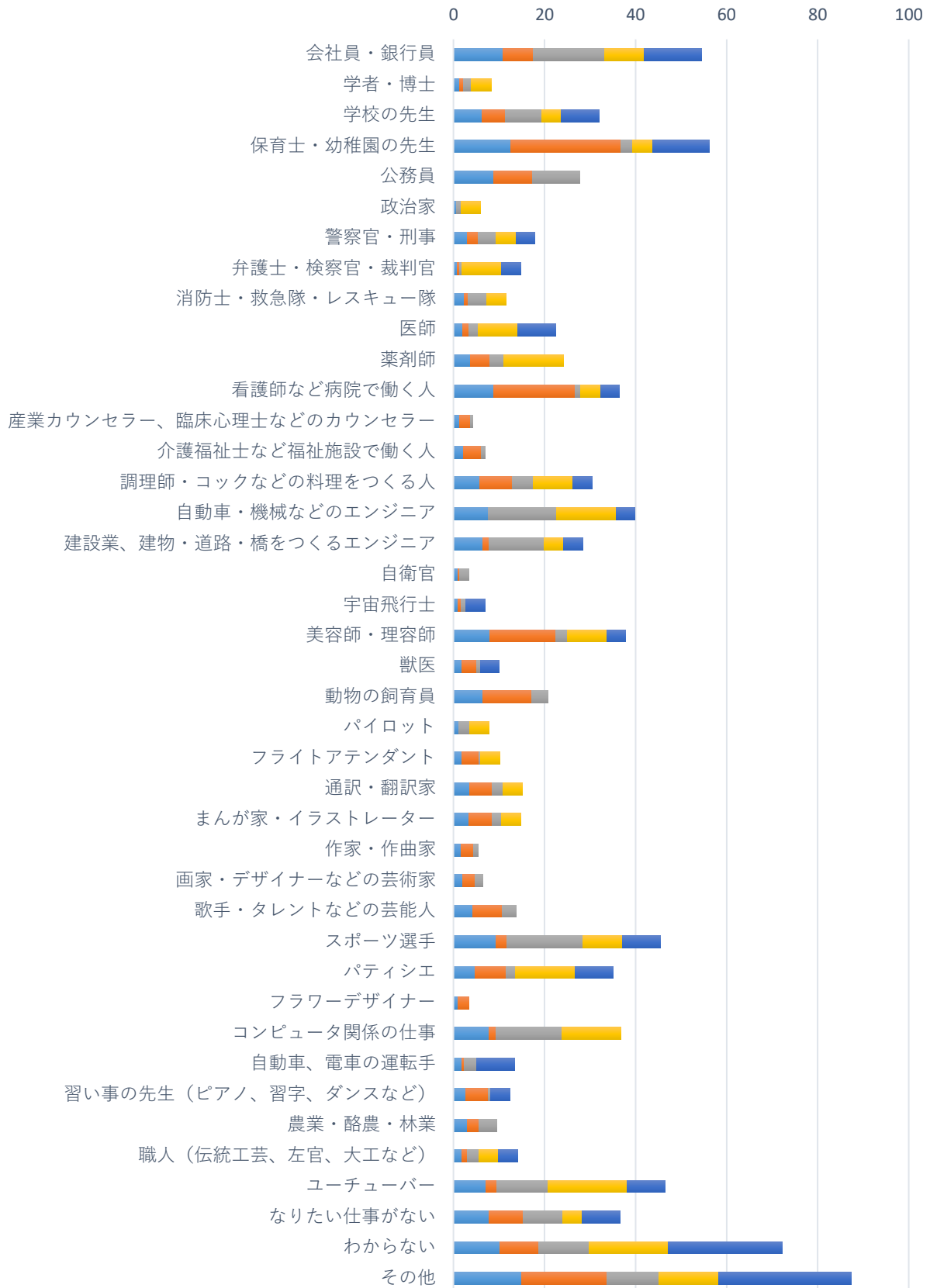
問 22 あなたは将来どんな仕事につきたいですか。



小学校5年生（単位：％）



中学校3年生（単位：％）



■全体 (N=832) ■女 (N=376) ■男 (N=390) ■答えたくない (N=23) ■分からない (N=24)

【上位15】 ※()単位%

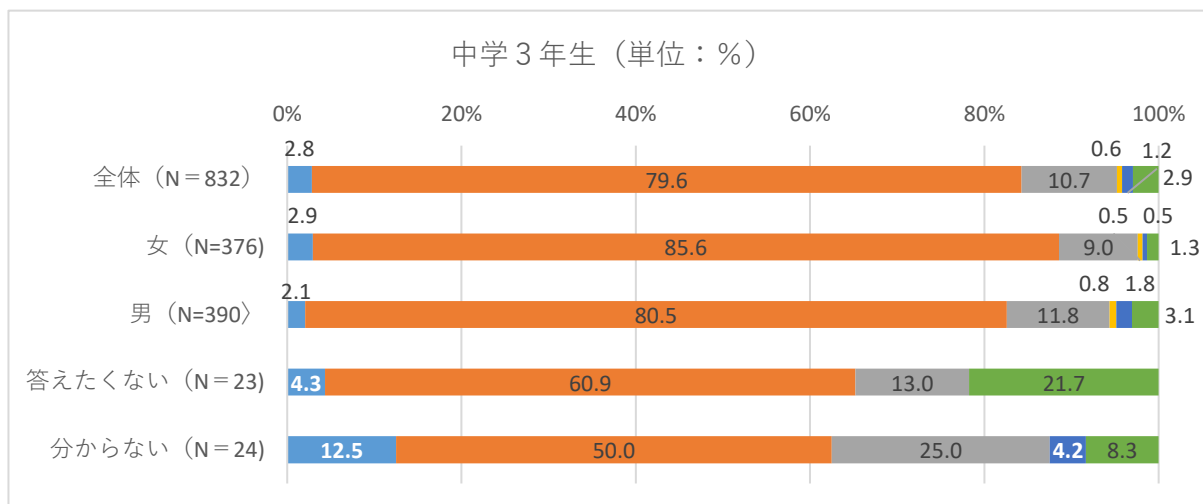
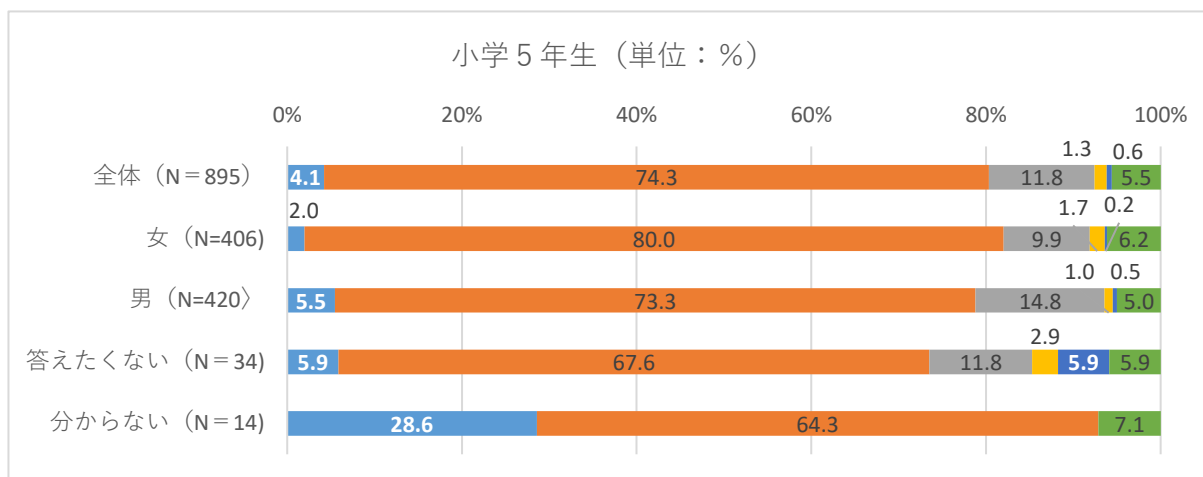
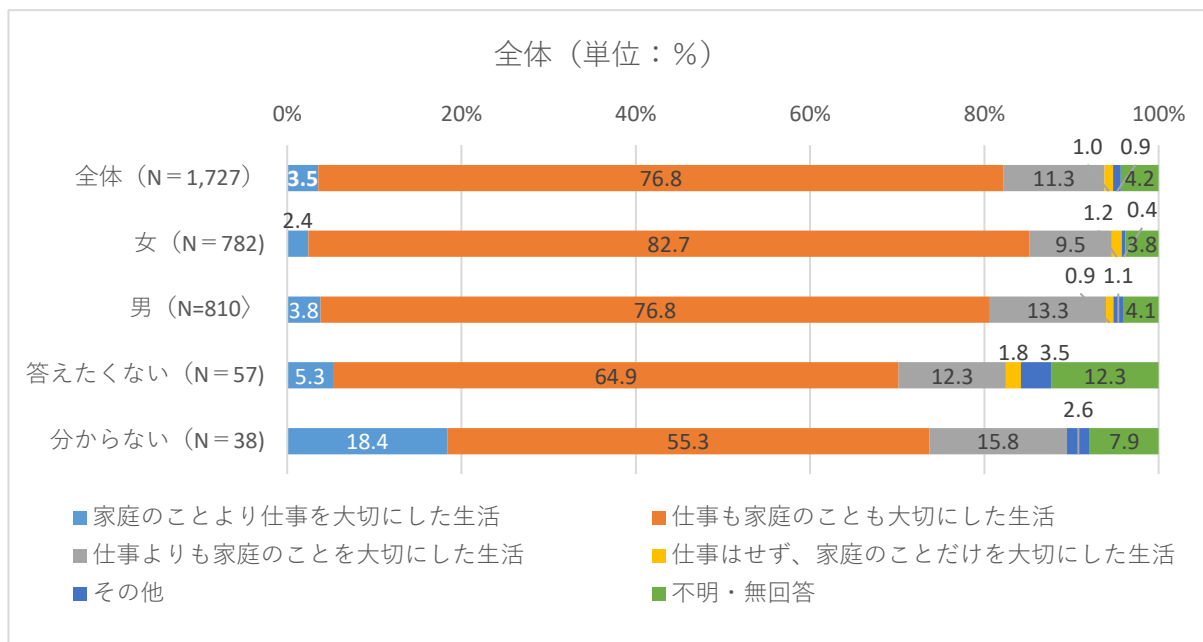
順位	全体	女	男	答えたくない	分からない
1	スポーツ選手 (17.7)	保育士・幼稚園の 先生(20.6)	スポーツ選手 (27.7)	ユーチューバー (24.6)	その他 (21.1)
2	その他 (17.1)	その他 (19.6)	ユーチューバー (21.7)	スポーツ選手 (21.1)	ユーチューバー (15.8)
3	ユーチューバー (15.3)	看護師など病院 で働く人(16.2)	その他 (15.2)	その他 (19.3)	わからない (15.8)
4	保育士・幼稚園 の先生(10.8)	美容師・理容師 (14.8)	会社員・銀行員 (13.2)	わからない (12.3)	スポーツ選手 (13.2)
5	動物の飼育員 (9.6)	動物の飼育員 (14.3)	自動車・機械など のエンジニア (10.2)	まんが家・イラスト レーター(10.5)	保育士・幼稚園 の先生(10.5)
6	会社員・銀行員 (9.0)	パティシエ (11.1)	コンピュータ関係 の仕事(10.1)	コンピュータ関係 の仕事(8.8)	自動車、電車の 運転手(10.5)
7	看護師など病院 で働く人(8.4)	ユーチューバー (8.8)	建物・道路・橋をつ くるエンジニア (7.7)	調理師・コックなど (8.8)	会社員・銀行員 (7.9)
8	美容師・理容師 (8.0)	スポーツ選手 (8.2)	わからない (7.0)	パティシエ (8.8)	学校の先生 (7.9)
9	わからない (6.4)	まんが家・イラスト レーター(8.1)	警察官・刑事 (6.7)	消防士・救急隊・レ スキュー隊(7.0)	医師 (7.9)
10	調理師・コックなど (6.3)	歌手・タレントなど の芸能人(7.3)	なりたい仕事がない (6.5)	美容師・理容師 (7.0)	警察官・刑事 (5.3)
11	まんが家・イラスト レーター(6.1)	調理師・コックなど (6.5)	調理師・コックなど (6.3)	保育士・幼稚園の 先生(7.0)	看護師など病院 で働く人(5.3)
12	パティシエ (6.1)	獣医(6.5)	公務員(5.9)	医師(5.3)	自動車・機械など のエンジニア (5.3)
13	コンピュータ関係 の仕事(5.8)	習い事の先生 (6.1)	動物の飼育員 (5.9)	画家・デザイナー などの芸術家 (5.3)	建物・道路・橋をつ くるエンジニア (5.3)
14	学校の先生 (5.4)	学校の先生 (5.8)	学校の先生 (5.4)	看護師など病院で 働く人(5.3)	獣医(5.3)
15	歌手・タレントなど の芸能人(5.4)	薬剤師 (5.8)	消防士・救急隊・ レスキュー隊 (5.4)	警察官・刑事 (5.3)	動物の飼育員 (5.3)

【その他を選択した児童・生徒の主な回答(順不同・原文)】

専業主婦	外務省
作業療法士	動物を保護する仕事
芸能事務所のマネージャー	視能訓練士
ジムの経営者	声優
ディズニーのキャスト	キャビンアテンダント
音楽、動物関係の仕事	ジャニーズのマネージャー
理学療法士	助産師
一流プレーヤー	食品サンプルを作る人
海外でできる職業	耳の不自由な人の学校の先生
美容関係の仕事	お笑い芸人
スポーツを教える人	空港で働く人
スポーツに関わる仕事	小説家
アスレティックトレーナー	害虫駆除業者
音楽関係の仕事	マッサージ師
声優	レゴビルダー
絵本作家	小説家
写真家	ティックトッカー
舞台スタッフや歌い手	お父さんの仕事をつぐ
トリマー	ゲームクリエイター
カフェの定員	漁師
スポーツトレーナー	一級建築士
キーボード奏者	ソプラノ歌手
管理栄養士	お坊さん
学芸員	鷹匠
気象予報士	キャビンアテンダント
ホテルマン	自然保存の科学者
写真家	お母さん
心理学者	ペットのブリーダー
ゲームをつくる人	漁師
結婚式場	レストラン経営
ウェディングプランナー	ピアニスト
考古学者	花屋
レーサー	アイスクリーム屋
美容部員	おもちゃ屋
プロゲーマー	不動産関係
義肢装具士	韓国アイドル
警備員	テーマパークのキャスト
	モデル、世界をまわる仕事

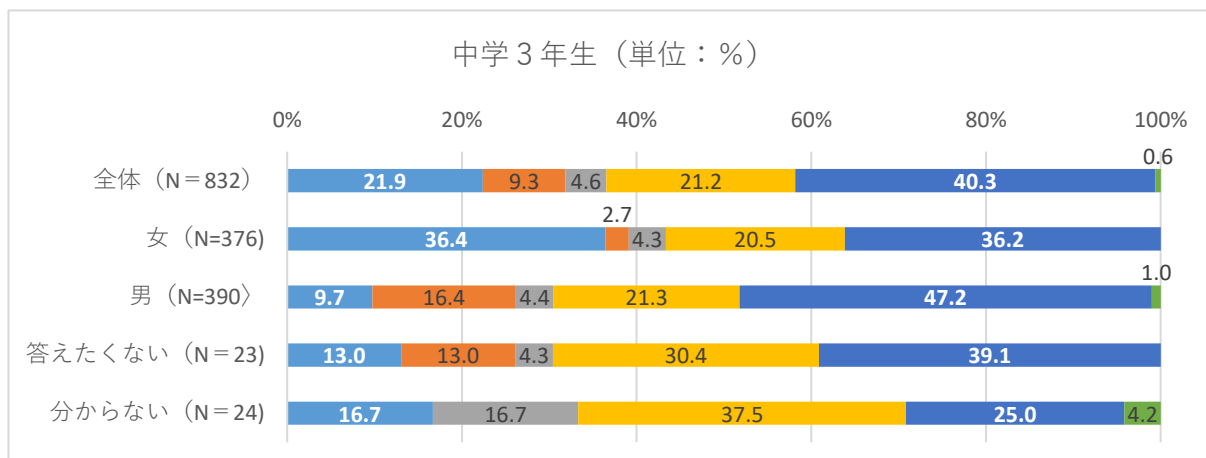
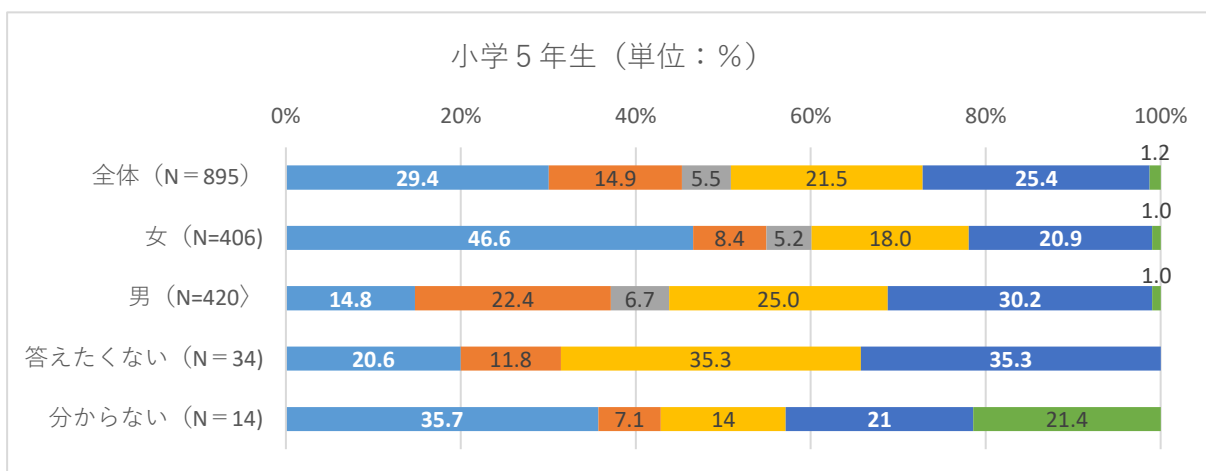
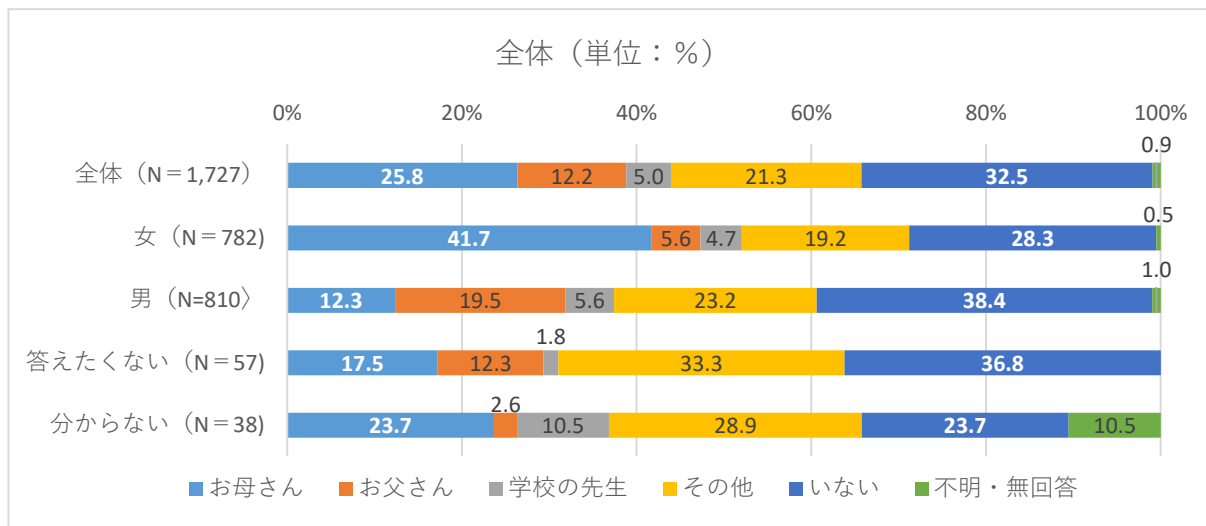
問 23 あなたは将来、仕事と家庭の生活について、どのようにしたいですか。

全体では、「仕事も家庭のことも大切にしたい生活」が76.8%と最も高く、次いで「仕事よりも家庭のことを大切にしたい生活」が11.3%となっています。学年で見ると、中学3年生より小学5年生で「家庭のことより仕事を大切にしたい生活」が高くなっています。性別で見ると、小学5年生・中学3年生ともに「分からない」で「家庭のことよりも仕事を大切にしたい生活」が高くなっています。



問 24 あなたは、あこがれの人やお手本にしている人はいますか。あてはまる番号1つに ○ をつけてください。

全体では、「いない」が 32.5%と最も高く、次いで「お母さん」が 25.8%となっています。学年で見ると、小学5年生で「お母さん」が 29.4%と高くなっています。学年ごと性別で見ると、小学5年生・中学3年生の女子で「お母さん」、男子で「いない」が高くなっています。



【その他を選択した児童・生徒の回答】

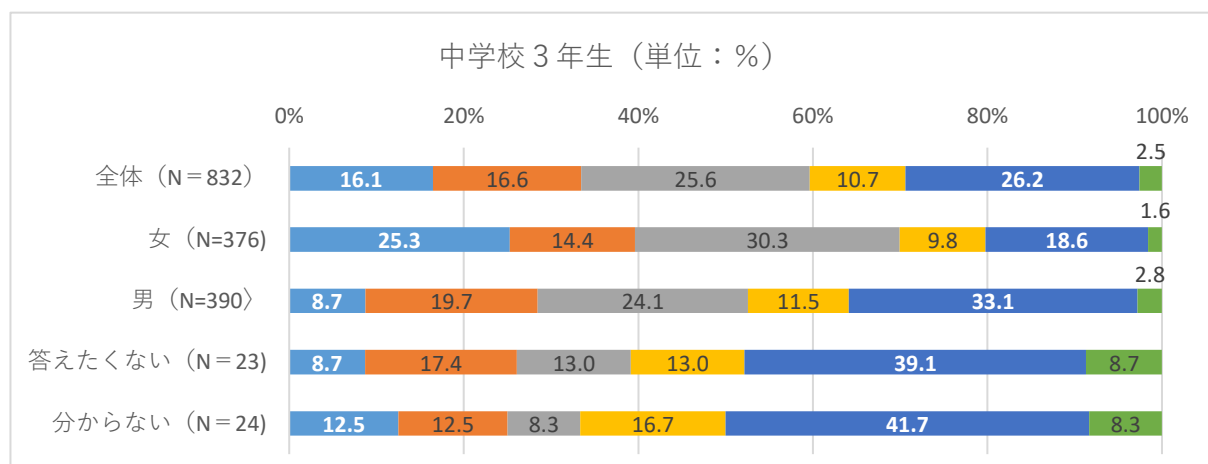
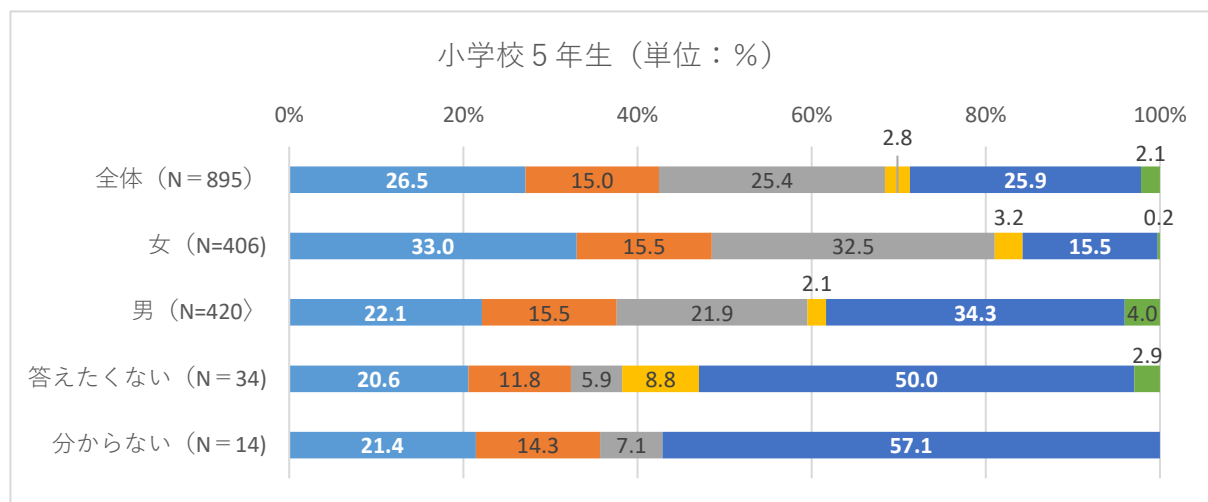
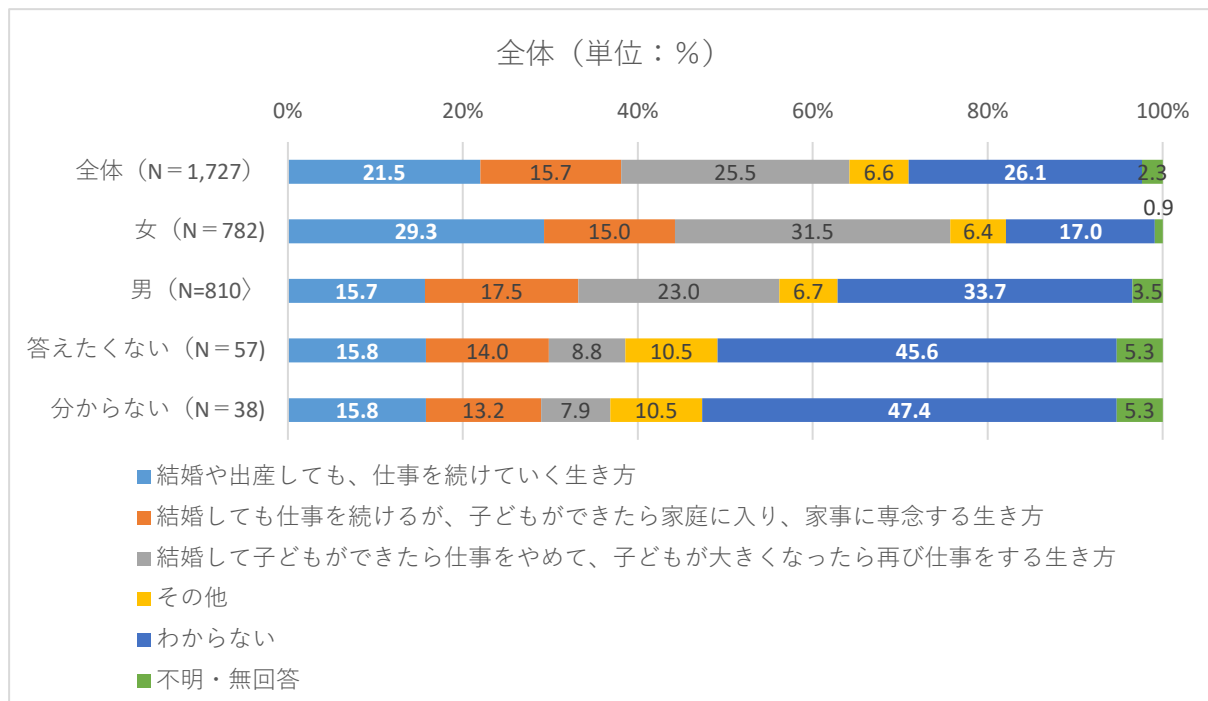
・先輩・友達(回答多数)

・お兄ちゃん、お姉ちゃん、おじいさん、おばあさん(回答多数)

(その他) ココ・シャネル、アインシュタイン、有名じゃなくても頑張っている人、
保育園の時の先生、ユーチューバー、スポーツ選手 など

問 25 あなたは、女性の生き方として、どれが望ましいと思いますか。

全体では、「分からない」が 26.1%と最も高く、次いで「結婚して子どもができたなら仕事をやめて、子どもが大きくなったら再び仕事をする生き方」が 25.5%となっています。性別で見ると、女子において、「結婚や出産しても、仕事を続けていく生き方」「結婚して子どもができたなら仕事をやめて、子どもが大きくなったら再び仕事をする生き方」が高くなっています。



【その他の主な意見】

小学校5年生

(女)

- ・離婚しないで、子どもを大切にする生き方。
- ・結婚して子どもができて、仕事をする生き方。
- ・結婚しない。家族と仕事を大切にする生き方
- ・結婚しても子どもを産まないで仕事をする。
- ・結婚して子どもができたら、保育園に入れて仕事をする。

(男)

- ・結婚しても仕事を続けるが、宝くじに当たったら辞める。
- ・結婚や出産しても仕事から帰ってきたら、家事を手伝う。
- ・結婚したら仕事をやめて、ゆっくりする。

(答えたくない)

- ・子どもも大事にして、仕事をやめない。

(分からない)

- ・子どもを出産したら3か月くらい家にいて、その後ちょいちょい休みを取って仕事を続ける。

中学校3年生

(女)

- ・旦那さんと話し合って、自分の好きなようにすればいい。
- ・出産はした方がいいと思うが、そのあとのことを自由に選択できる生き方。
- ・そもそも結婚せず、自由に生きる。
- ・就いた職業による。あまりにも子どもという時間が少なくなってしまうなら仕事をやめる。そうでないのなら続けて、子どもが大きくなったらできる限り仕事をする。
- ・自分にとっての幸せを見つけて、毎日笑顔で生きること。
- ・人にはそれぞれの生き方があるから、望ましいものなどない。
- ・出産はした方がいいと思うが、そのあとのことを自由に選択できる生き方。

(男)

- ・男性が決めるようなことではなく、女性が思うように生きるべきだと思う。
- ・結婚して子どもができたら育児休暇を取り、その期間が終わったら、仕事を続けていく生き方。
- ・その人のやりたいようにしていくのがいいと思う。子どもは女性だけでなく男性も育児する。
- ・夫を支えてくれる妻。どんな時も寄り添ってくれる。

(答えたくない)

- ・家庭の状況による。

(分からない)

- ・自分の好きなようにすればいい。

問 26 女性、男性といった性別に関係なく、一人ひとりの個性や能力をいかして、いろいろなことをみんなで協力しあっていくためには、どのようにしたらよいと思いますか。

【主な意見】

小学校5年生	中学3年生
<ul style="list-style-type: none"> ・男女仲良くみんなで協力し、助け合うことが大事。そのためにコミュニケーションをとることが必要。 ・男女の差別・区別をなくし、仕事・家事も平等に分担する。 ・「男らしく」「女らしく」ではなく「自分らしく」個性を認めて生きていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・偏見、差別をなくす。性別は違っても同じ人間として共に歩む。 ・得意分野や貢献できる分野を理解し、性別にかかわらず、その力を伸ばしていくことが大切。 ・仕事の内容が性別によって左右されない社会、子どもを育てながら男女共に働けるような社会をつくる。

【小学5年生の意見(抜粋)】

●女子

- ・仲良くして良い生活にしていけば、いいと思います。
- ・1人1人が男女関係なく仲良くし、仲間として協力し合えるようにすればよい。また男女関係なく優しく接し合い、他人のことをバカにしたりせずによい。
- ・男女関係なく優しく接する。
- ・男女1人ひとりの個性を気にせずしていけばいいと思う。男女関係なくやさしく接すればいいと思う。
- ・キャンペーンを作ったりする。話し合ったりしたりする。
- ・優しく接したり、いけない事を注意し、一回で聞いたりする。たとえばキャンプで男3人、女3人で木を運ぶのを男でやり、火を炊くのも協力したり、男は力仕事、女は料理をしたり協力することをすればいいと思います。
- ・法律を作る。みんなで仲良くする。
- ・みんながこれまで男性が当たり前、女性はこれが当たり前という事を、男女関係なくみんな補えるようにしたら、いいと思う。
- ・自分たちの意見をはっきりと伝えるように言えれば、少しでも協力していける。
- ・学校の校長先生は男の人が多いため、女の人でもいいと思う。
- ・「女のくせに」「男のくせに」をなくす。女の子でも歌舞伎役者になれるようにする。
- ・「LGBT」でも、恥ずかしくない世の中にする。
- ・パイロットなどの人は男の人ばかりだけど、女の人でもできるようにする。
- ・個性が似ている人と集まって一緒に仕事とかをする。
- ・社会的にもLGBTは、やめたくても好きになっちゃう人もいるし、その他の人の普通の人が決めつけないようにしたり、家庭でいろいろ好きなことをやったりして、いろんな人からも受け入れられるような世界になりたい。他にも家庭で暴力や虐待、そういう問題もあるからこそ命がなくなる人もいるから、もっと早く気づける社会になりたい。
- ・「お互いの事をよく知って、仲を深める」ということから、いろいろなことをみんなで協力し合うといいと思う。「お互いをよく知る」というのは、性格や好きな物、得意なこと、苦手なことを知ること。

- ・思いやりが必要。子どもができて仕事ばかりだったら、めちゃくちゃつまらないし、子どもとの時間がとれない。成長が楽しめないから、私なら、子どもができたらず育てに専念したい。立派な人に育て欲しいから。
- ・社会をもっとよくすること、AIが成長しているけどそれを悪いほうに使うのはよくない。

●男子

- ・協力するという意思を確かめるといいと思う。
- ・社会が女性と男性の関係を深め合って男女を区別しない。
- ・いろいろな性別や LGBT のような人がいられる社会を築いていく。
- ・臨機応変に生きる。
- ・男女関係なく働くには、どの人も自分の好きな仕事に入る。
- ・最初は声をかけることだと思う。声を掛け合い、コミュニケーションを大事にしていくことが良いと思う。そうしたらだんだんと協力していうようになる。
- ・女性は家事をして、男性は仕事が終わったら夜の仕事のお風呂や寝かしてあげてあげてあげれば良いと思う。
- ・女が台所に立つなどの考え方を無くして、男も女も家事をするような生活を普通にしていき、男も女も仕事をやるようにする。
- ・1人1人が頑張る。自分が頑張ったのに失敗などをしてしまったときや、仕事で困っていることがあったら皆で協力する。
- ・どうしたらいいのかなあとと思う。自分の個性や能力さえ知らない人はいるし、建物や環境は協力し合っていてできる物がいっぱいあるから、もうできていると思う。例えば、建物は設計図を作る人、レンガなどを作る人、それを運ぶ人、材料を使って建物を造る人、色々な人が協力し合って建物も造られているように、もう協力し合っているのではないかと思う。
- ・LGBT の人々を認めて、ゲイなどの人々も社会の枠組みに入れ、より良く生きていけるような社会をつくっていければよい。女性に一方的に仕事を押し付けるのではなく、平等にすればよい。可児市もそういう社会がよい。
- ・みんな違っていいから、自分のやりたいことをたくさんやれば良いと思う。
- ・相手が大変な時は自分が支える。分からないことを教え合う。相手を傷付けない言葉を使う。相手の気持ちを考える。

●答えたくない

- ・プロ野球選手は男しかできないけど、女子もやった方がいい。
- ・一人一人自由にやる、スポーツは女子もやればよい。
- ・そういう事自体に興味は一切ない。
- ・いろいろなことを好きになり、どんな人でも信じる、好きになる。
- ・お互いを信じあい、女性も男性も仲良くする。
- ・大きな声を出す。呼びかけをする。
- ・一人ひとりの個性や能力をいかせる仕事をして、男女関係なく接して協力したらよい。

●分からない

- ・仲良くして協力したらいい。
- ・男女関係なく協力し合うことが大切。

【中学3年生の意見(抜粋)】

●女子

- ・女性を積極的に企業にとりいれる。
- ・その人のことをよく見て、その人の個性や能力にあったことを考えながら、「〇〇さんはこれやってね」「〇〇さんはあれやってね」と誰かが指揮をとって、その人が指示して「その他の人」は、その指示に従えばいいと思う。その誰かが指示する前に、皆で意見を出しあって、その中からいい案をとって、指揮をとる人が、意見をまとめて指示すれば良いと思う。
- ・私は性別なんて気にしていないので、みんな気にすることなく生きていけばいいと思う。自分が女だと思うなら、身だしなみとか気を付けて、女の子らしく生きていけばいいし、自分が男だと思うなら男らしく、力強く生きていけばいいと思う。体力とかいろいろ男と女ではちがうところがあるけど、互いに支えあっていければそれでいいと思う。別に男の人が家事をしていたって女の人が力仕事をしてたって、できる人だからそれでいいと思う。こういう考えが、皆に伝わるようになんか講演したりして、教えていくと男女関係なく協力しあっていけると思う。
- ・相手のことをお互いに知った上で、支え合いながら 1 つの目標に向かって一丸となって頑張っていく。自己中心的に物事を進めるのではなく、全員の意見を尊重し合える関係づくりをしていく。
- ・女性も男性も育児をして、会社で男性が偉いというイメージをなくすとよいと思う。女性、男性が勉強、スポーツなどを平等に行えるようにする。女性はスカートをはかなくてもいいと思う。
- ・国民全員に義務付ける。
- ・自分は自分らしく生きる。人と比べない。
- ・宗教的な問題があるため無理だし、そこを変えていかないと、男女協力し合うことなんて無理。
- ・女性は家庭、男性は仕事という考え方をやめる。子どもを育てながら、働けるような社会にする。
- ・いじめや差別をしない。自分に合わせてもらうだけでなく、相手にも合わせる事。
- ・どんな性別だろうが、性格だろうが人の勝手だし、その人の個性があふれていて逆にいいと思うので、差別をしないことは当たり前で一人一人の個性をばかにするのではなく、友達と共感したりすることもいいことだと思う。
- ・LGBTについて「気持ち悪い」と言っている人が、もっと一人一人がLGBTの人に対して理解していくことが大切だと思う。女の方は結婚したら家のことに専念するという古い考えを改め、女性がもっと働きやすい環境とつくるといいと思う。
- ・先生方は、「男子何か運んで」「女子〇〇作って」とかいうのではなく、「やりたい人？」というようにきけばいいと思う。女だから、男だから〇〇をしないといけないという考えはやめた方がよい。
- ・女性優先、男性優先、女性だけ男性だけなどを減らしていくべき。それがあると、女性は男性を男性は女性をうらんでどんどん関係が悪くなるだけ。
- ・LGBTの人たちも自分たちと同じ人間で同じ人間を好きになっただけ同じことをしているのにその人達だけを差別するのは違うと思う。一人一人の意見を一人一人が理解して認めあえば、皆が楽な気持ちで生活ができていけると思う。性別によって得意、不得意があるけどその性別の人が「皆得意だ」と思って話さないで、一人一人の得意、不得意を理解してあげるべきだと思う。
- ・一人一人の個性や能力を認めあって、その人にできること、その人がやりたいことを任せて、できないところはお互いに補い合えばよいと思う。好きなことを我慢する必要は全くないし、それが許されないなら周りが大切に考えるべきだと思う。
- ・周りの目を気にせず、自分を信じて生きていけばいいと思う。
- ・女だから男を好きになる、男だから女を好きになる、女だから女らしくないといけない、男だから男らしくないといけない、という考え方をまずなくしたらいいと思う。女でも、その人が、女が好きだっていい

たらそれでいいと思うし、男だけど女の人の服を着たいと思えば着ればいいと思う。その事を笑ったり、バカにしたりしないで一人の人として受け止めればいいと思う。

- ・性別という言葉があるのだから男女は別に考えた方がいい。でも、必要以上に「女だから」「男だから」というのはよくない。女性はやはり出産を考えていかないと自分たちのあとの世代が衰退してしまふ。一人一人のことじゃなくこれからの社会について考える必要がある。
- ・その人に対する言葉が、その取り組みが、その特別な目が一番その人を傷つける。
- ・各家庭の保護者が「女の子だから△△に気をつけなさい」「男の子だけど△△に気をつけなさい」という言葉を言うのはいいけれど、「女のくせに」「男のくせに」という言葉を言っていたら、どうしても性別の壁が厚くなると思う。まず、大人の意識を変えていくことが大切。
- ・メディアなどで、女性・男性で協力し合い、個性を活かすという情報を共通して発信していき、大手企業の会社などが実践していけば、世の中に広がっていくと思う。もちろん、女性にしか、男性にしか出来ないことはあるが、“協力”はしていけるはずなので、まずは、小さいことから初めて、それをメディアが取り上げていくことが大切なのではないかと思う。
- ・男も女性と同じくらいの期間の育休を取れるようにする。それを企業がしっかり理解していけるようにする。子どもを持っている人には仕事を軽減できるようにする。
- ・LGBT で批判され、苦しんでいる人はたくさんいると思う。その人たちの気持ちに少しでも寄り添い、認めてあげられるよう、努力すればいいと思う。
- ・女性は必ず家事をする、男性は必ず仕事をするという考えを無くし、それぞれ自分に合った方法で家庭を築いていけばいいと思う。
- ・法律に違反しなければ、自由にしていればいいと思う。誰にも迷惑をかけないのなら…。

●男子

- ・個性・能力を出せる環境を作るべき。
- ・男の先生が女性には優しく男性には厳しいところをやめて欲しい。
- ・女性は特別に〇〇ルール、男性は特別に××ルールといった全人類に平等ではないルールを撤廃できるような真の平等になってほしい。
- ・性別の関係なく仕事を行えるようにする。
- ・互いの好きな分野や得意な分野、仲間のために貢献できる分野を探して理解して、その力を伸ばしていくことが大切だと思う。
- ・考えるだけムダ。1人1人自分の好きなことやればいい。そこに口出す方が問題。女性、男性関係なくは当たり前。みんなで協力したって、無理。
- ・性別はちがっていても、同じ人間として共に歩いていけばよい。
- ・役割を押し付けたりせず、協力し合う。
- ・相手の意見を耳にいれて、出来る限りの努力をする。
- ・この先30年は、そんなことは実現しないと思う。それを本来すすめていくはずの政府、市政の人間が（その中の多くの人）それへの偏見を持っているから、それらの人がその仕事を降りるまで変わらないと思う。さらにもっと根本的なことを言うのであれば、「本当に性別による差別をなんとかする必要はあるのか」という所も考えを直さなければならないと思う。LGBT の人達は、本当に助けを求めているのか。ほおっておいてほしいをいう人もいる。女性の不平・不満もあるが、それに対となる男性の不満もある。もっと根本的な所を考えなければ、足踏みを続けるだけだろう。
- ・それは難しい事である。何かはあきらめないといけないし、やらないといけない。
- ・自分ができることをやればいいと思う。

- ・限定された役割をなくす。その人に合った役割を与え、行う。
- ・男性の育児休暇をとりやすくする。女性が産休明けも働きやすくする。
- ・女性が多い会社などを立ち上げて、少しずつバランスのとれたルールと作っていく。男性の性に対する意識を低くする。会社などで女性だけの部署をつくったりする。パワハラやセクハラに対する罰を重くする。
- ・関係なくとは言っても、性別によって向き不向きがある。例えば、男性の方が力強かったり、立ち直りは女性の方が早かったりなど、不向きなことをしようとしている人がいたら、その人を支援できる環境をつくれればいい。
- ・日々責任を持ち、母や父任せにせず、ちゃんと自分で責任を持つ。
- ・女性の得意なところ、男性の得意なところ、女性の苦手なところ、男性の苦手なところ、いろいろあると思う。だ常日頃から互いの事を気にし合ったりして互いのことを認め合ったりしていけるようにしていきたい。
- ・大人の人達が男女平等に接して、協力できるような環境をつくっていく。
- ・女性専用車両をなくす。
- ・男性用車両をつくる。
- ・そこまで頑張っって平等にしようとしなくていいと思う。人権は大切だが、差別は今この世にないと思う。男女の少しの違いはしょうがない。
- ・自分の価値観をあまり押し付けすぎないこと。
- ・男性も家事などをしっかり手伝い、女性の苦しみなどを理解することが必要だと思う。手伝う時間のない男性は、それに見合った給料を持って帰らないと女性がちょっと怒る。
- ・みんな死ねば公平でいい、苦しみも悲しみもなく人間のあるべき場所に帰る。こんな取り組みをしても変わらない。金、時間、労力の無駄。
- ・性別による差別を無くせるように、内閣や上の人たちがそのような方針、スローガンをかかげないと協力するなんてことは無理。

● 答えたくない

- ・男子も女も家事や仕事をする。
- ・男性・女性は関係ないという考え方をもち、男性がするものだと思われているものを女性がやってみたり、女性がするものだと思われているものを男性がやってみたりすればいいと思う。
- ・人間が差別をしないこと。どんな動物(生き物)にも。
- ・男女の違いがあるから、個性や能力を活かせるのだから、関係を無くしたらそれらを活かせなくなる。
- ・スポーツ大会など、協力しなければいけないことをたくさんする。
- ・我慢をする。

● 分からない

- ・平等に生きていく。
- ・男や女といった性別による壁をぶち壊して、自由にお互いが接していくことが大事だと思う。日頃から異性の人たちとの関わりを深めていくことが大事だと思う。
- ・一人の人として、自分がやりたいことで、周りに迷惑が掛からなければそれでいいと思う。